



第5回仙台都市圏パーソントリップ調査

現況集計結果

(修正版)

令和元年5月

宮城県・仙台市

目次

第1章 概要	1
1.1 パーソントリップ調査の概要	1
第2章 現況集計	2
2.1 集計結果について	2
(1) トリップ調査データの概要	2
(2) 集計テーマの設定	7
(3) 集計カテゴリーの設定	8
(4) 調査精度の留意点	13
(5) 現況集計項目の設定	14
2.2 トリップの概況	19
(1) 都市圏総トリップ数	19
(2) 都市圏内々、内外、外内、外々トリップ数	20
2.3 主体から見た交通特性	21
(1) 性別年齢階層別にみた交通特性	21
(2) 世代別にみた交通特性	37
(3) 自動車運転免許有無別にみた交通特性	43
(4) 自動車保有の特性	51
2.4 目的から見た交通特性	52
(1) 目的種類別トリップ数、目的種類構成の推移	52
(2) 目的種類別代表交通手段別トリップ数、代表交通手段分担率	54
(3) 目的種類別発（着）時間帯構成	56
(4) 目的種類別平均所要時間、主要時間ランク別構成	60
2.5 交通手段から見た交通特性	62
(1) 代表交通手段別トリップ数、代表交通手段分担率の推移	62
(2) 代表交通手段別目的種類別トリップ数、目的種類構成	64
(3) 代表交通手段別発時間帯別トリップ数	66
(4) 代表交通手段別平均所要時間、所要時間ランク別代表交通手段分担率	68
(5) 鉄道駅利用状況	70
(6) 自動車運転トリップ数、平均乗車人数	76
(7) 駐車場利用状況	78
2.6 地域から見た交通特性	81
(1) 市町村別発生集中度	81
(2) 目的種類別・市町村別集中度	83

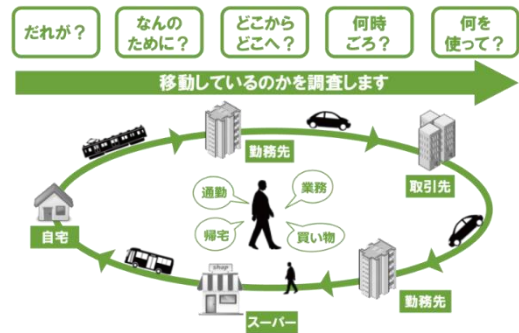
(3) 代表交通手段別・市町村別発生集中量	90
(4) 目的種別・市町村間トリップ数エラー! ブックマークが定義されていません。	
(5) 代表交通手段別・市町村間トリップ数エラー! ブックマークが定義されてい ません。	
2.7 その他（居住形態・着施設による交通特性）	112
(1) 住居形態からみた交通特性	112
(2) 着施設からみた交通特性	116
(3) 距離帯別代表交通手段分担率	117
2.8 （参考）山形広域都市圏パーソントリップ調査との比較	118
(1) 山形広域都市圏パーソントリップ調査について	118
(2) 基本的なトリップ特性の比較	119
(3) 互いの都市圏を来訪するトリップの特性	122
第3章 補完調査	124
3.1 調査の概要	124
(1) 調査の目的	124
(2) 実態調査の概要	124
3.2 調査結果の概要	129
(1) 調査対象地域居住者の特性	129
(2) 日頃最もよく行く行先への移動について	131
(3) この1年間での路線バスの利用状況	143
(4) この1年間でのタクシーの利用状況	146
(5) 今後の居留意向について	149
(6) 移動販売やネットショッピング等の利用について	151
(参考資料) 用語の説明	153

第1章 概要

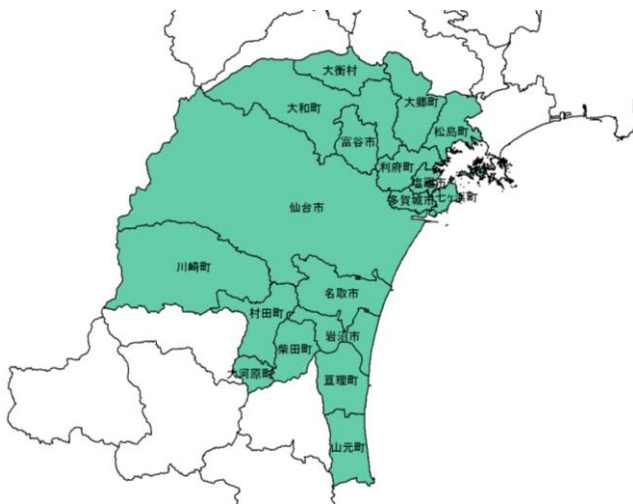
1.1 パーソントリップ調査の概要

<パーソントリップ調査とは>

調査対象地域内において「人の動き（パーソントリップ）」を調査するもので、「どのような人が」「いつ」「どこからどこへ」「どのような目的で」「どの交通手段で」といった様々な属性情報がひも付いた交通行動データを把握できる調査である。



<調査対象圏域>



仙塩広域 都市計画 区域	仙台市、塩竈市、名取市、 多賀城市、岩沼市、富谷市、 松島町、七ヶ浜町、利府町、 大和町、大衡村
上記以外	大河原町、村田町、柴田町、 川崎町、亶理町、山元町、 大郷町

計 18 市町村

<実態調査結果>

【調査実施期間】

- ・平成 29 年 10、11 月 ※一部地域は、12 月まで調査を実施

【調査結果】

- ・調査票発送数（世帯） 104,500 世帯※ ※予備、追加発送含む
- ・調査票発送数（個人） 234,400 人※ ※予備、追加発送含む
- ・有効回収数（世帯） 24,008 世帯
- ・有効回収数（個人） 50,932 人
- ・有効回収率（世帯） 23.0%
- ・有効票の Web 回答率* 15.3% *全回答のうち、Web で回答された割合
- ・有効抽出率（標本率） 3.28%※ ※都市圏内居住人口 155.1 万人
(5 歳以上, H29.10) に対する比率

第2章 現況集計

2.1 集計結果について

(1) トリップ調査データの概要

トリップ調査は住民基本台帳から無作為に抽出した世帯に対して、郵送によりアンケート調査の記入を依頼するものであり、約 5 万人から協力が得られた。

調査票は、世帯で共通する内容を質問する世帯票と、各個人の就業・通学状況と一日の交通行動を質問する個人票に分離している。この調査を通して、どのような人（性別、年齢、職業等）が、どのような目的（通勤、通学、業務、買物など）で、どこからどこへ、どのような交通手段（鉄道、バス、自動車、徒歩など）を使って、何時頃、移動したのかを把握できる。

なお、第 5 回調査では、同一世帯に対して平日・休日（日曜）それぞれの行動を調査した。

アンケート票の回収後、無作為抽出によるアンケート結果より都市圏居住者全体の交通行動を表現するため、拡大処理を行った。

表 2-1 調査票の構成

名称	世帯票	個人票
調査対象	1 世帯につき 1 枚	各世帯の 5 歳以上の方全員
調査票構成	A3 両面	
配色	カラー印刷	
主な調査項目	【世帯属性】 <ul style="list-style-type: none">・ 現住所・ 世帯構成・ 現在と転居前の住まいの状況・ 自動車保有 【世帯構成員ごとの個人属性】 <ul style="list-style-type: none">・ 性別・ 年齢・ 続柄・ 自動車運転免許有無・ 外出時支援必要性・ IC カード使用状況・ 就業・就学状況	【移動内容】 <ul style="list-style-type: none">・ 時間・ 目的・ 手段・ 場所・ 施設・ 利用した駅・バス停名称・ 自動車利用状況 ※調査項目は平日・休日共通

平成29年度 仙台都市圏パーソントリップ調査 平成29年度宮城県統計調査第3号

秘 世帯票 宮城県 仙台市 塩釜市 名取市 多賀城市 岩沼市 富谷市 大河原町 村田町 栗田町 川崎町 亘理町 山元町 松島町 七ヶ浜町 利府町 大和町 大郷町 大衡村

記入についてのお願い
 ①記入はなるべく黒の筆記用具をお願いします。
 ②回答は、**緑**等の色刷り部分(回答欄)に、数字や文字を記入してください。
 ③回答欄に番号がついている場合は、当てはまる番号を○で囲んでください。

※こちらは記入不要です。

世帯の代表者(世帯主)の方が回答してください。

問1 あなたの世帯の現住所をお答えください。

市区町村	町・丁目/字	番地・号
市 町 村	区	番地 号

問2 あなたの世帯の**方全員(5歳未満の方を含む)**についてお答えください。
 ※同じ住居にお住まいの方全員が対象です。
 ※裏面及び個人票では、この「個人の整理番号」が世帯の方それぞれの番号になります。

個人の整理番号	性別 年齢	世帯主との関係	自動車の運転免許	外出する際に、 家族等の付き添いを 必要としますか	公共交通のICカード (icscaやSuicaなど)を 日常的に使いますか
1人目	1.男 2.女 満 才	1.本人 2.配偶者 3.子供 4.子供の配偶者 5.孫 6.親 7.兄弟姉妹 8.親族 9.その他	1.持っている 2.持っていない 3.持っていたが返納した	1.常に必要 2.状況に応じて必要 3.不要	1.icsca 2.Suica 3.敬老乗車証 4.ふれあい乗車証 5.その他() 6.使っていない
2人目	1.男 2.女 満 才	1.本人 2.配偶者 3.子供 4.子供の配偶者 5.孫 6.親 7.兄弟姉妹 8.親族 9.その他	1.持っている 2.持っていない 3.持っていたが返納した	1.常に必要 2.状況に応じて必要 3.不要	1.icsca 2.Suica 3.敬老乗車証 4.ふれあい乗車証 5.その他() 6.使っていない
3人目	1.男 2.女 満 才	1.本人 2.配偶者 3.子供 4.子供の配偶者 5.孫 6.親 7.兄弟姉妹 8.親族 9.その他	1.持っている 2.持っていない 3.持っていたが返納した	1.常に必要 2.状況に応じて必要 3.不要	1.icsca 2.Suica 3.敬老乗車証 4.ふれあい乗車証 5.その他() 6.使っていない
4人目	1.男 2.女 満 才	1.本人 2.配偶者 3.子供 4.子供の配偶者 5.孫 6.親 7.兄弟姉妹 8.親族 9.その他	1.持っている 2.持っていない 3.持っていたが返納した	1.常に必要 2.状況に応じて必要 3.不要	1.icsca 2.Suica 3.敬老乗車証 4.ふれあい乗車証 5.その他() 6.使っていない
5人目	1.男 2.女 満 才	1.本人 2.配偶者 3.子供 4.子供の配偶者 5.孫 6.親 7.兄弟姉妹 8.親族 9.その他	1.持っている 2.持っていない 3.持っていたが返納した	1.常に必要 2.状況に応じて必要 3.不要	1.icsca 2.Suica 3.敬老乗車証 4.ふれあい乗車証 5.その他() 6.使っていない
6人目	1.男 2.女 満 才	1.本人 2.配偶者 3.子供 4.子供の配偶者 5.孫 6.親 7.兄弟姉妹 8.親族 9.その他	1.持っている 2.持っていない 3.持っていたが返納した	1.常に必要 2.状況に応じて必要 3.不要	1.icsca 2.Suica 3.敬老乗車証 4.ふれあい乗車証 5.その他() 6.使っていない
7人目	1.男 2.女 満 才	1.本人 2.配偶者 3.子供 4.子供の配偶者 5.孫 6.親 7.兄弟姉妹 8.親族 9.その他	1.持っている 2.持っていない 3.持っていたが返納した	1.常に必要 2.状況に応じて必要 3.不要	1.icsca 2.Suica 3.敬老乗車証 4.ふれあい乗車証 5.その他() 6.使っていない

問3 現在のお住まいについてお答えください。

あなたの現在の住居の形態は (集合住宅(選択肢3, 4, 5, 6.)にお住まいの方のみ)
 お住まいは建物の何階ですか

1.一戸建て(持ち家)	2.一戸建て(借家)	3.1~5階
3.マンション(持ち家)	4.アパート・マンション(賃貸)	2.6~10階
5.社宅・官舎・寮	6.高齢者集合住宅	7.その他()
		3.11階以上

いつから現在の住居にお住まいですか (同じ住所で建て替えている場合は、建て替え前からの年月をお答えください)

1. 昭和・平成・西暦 年 月から 2. (世帯主の方が) 生まれた時から住んでいる

問4 現在の住居に転居される前のお住まいについてお答えください。
 ※現在のお住まいに転居された方のみお答えください。

以前のお住まいの住所は

1. 国内のとき 都道府県 市町村 区 町・丁目/字
 2. 外国

以前のお住まいは、(世帯主の方の) ご実家ですか

1. 実家 2. 実家ではない

世帯主の方の
 実家・実家は 都道府県 市町村 区 町・丁目/字
 どちらですか

以前の住居の形態は

1.一戸建て(持ち家) 2.一戸建て(借家) 3.マンション(持ち家)
 4.アパート・マンション(賃貸) 5.社宅・官舎・寮 6.高齢者集合住宅 7.その他()

以前の住所から転居することになった理由は (当てはまる番号全てを○で囲んでください)

1.進学、就職、転職、転勤などのため 2.結婚・離婚などによる世帯の分離や独立のため
 3.家が手狭になったため 4.親または子供と同居するため
 5.家を相続したため 6.家の老朽化や管理が大変になったため
 7.災害のため 8.その他()

問5 (世帯主の方が) 5年前に同居されていた方についてお答えください。
 ※問2の「個人の整理番号」にあてはまる番号全てを○で囲んでください。

1. 1人目 2. 2人目 3. 3人目 4. 4人目 5. 5人目 6. 6人目 7. 7人目
 上記以外で同居されていた方 親()人、子()人、その他()人

問6 あなたの世帯で所有している自動車や自転車などの台数についてお答えください。

①乗用車	台	⑥自動二輪車(50ccを超える)	台
②軽乗用車	台	⑦原動機付自転車(50cc以下)	台
③貨物車(特種車含む)	台	⑧自転車	台
④軽貨物車(軽トラックなど)	台	⑨電動アシスト付自転車	台
⑤その他の自動車(送迎バスなど)	台	⑩シニアカー(電動カート)	台

裏面もお答えください。

図 2-1 世帯票 (オモテ)

問7 あなたの世帯の方全員の就業・就学状況について、お答えください。

※問2の「個人の整理番号」と同じ番号でお答えください。

個人の整理番号	問7-1 就業、就学状況		問7-2 就学先（通学先・通園先）		問7-3 就業先（主たる勤務先）					
	以下で、1. 2. 3. 4. 5. 7. と回答された方は、問7-2、問7-3をお答えください。		問7-1で「4. 学生・生徒・児童」「5. 園児・未就学児」と回答された方のみ、学校名または所在地のどちらかをお答えください。キャンパスが複数ある場合は、主な通学キャンパスをお答えください。		問7-1で「1～3. 有職者」「7. 休職中、長期休暇」と回答された方、または「4. 学生・生徒・児童」と回答された方のうち、アルバイトをされている方のみお答えください。自宅から直線現場などに向かわれる方は、所属している企業・事務所などの所在地をお答えください。					
		就業、就学状況		就学先（通学先・通園先）		主たる勤務先の所在地		産業	始業時刻	その他の勤務先
1人目	1. 有職者（正社員・正職員） 3. 有職者（自営業・役員・その他） 5. 園児・未就学児 7. 休職中、長期休暇	2. 有職者（派遣・契約・パート・アルバイト） 4. 学生・生徒・児童 6. 専業主婦・主夫 8. 無職	名称 学校名 住所 市 町 区 町・丁目/字	名称 学校名 住所 市 町 区 町・丁目/字	1. 自宅と同じ（自営業など） 2. 自宅以外の所在地	下の表から選択 （あてはまる産業の番号を記入）	1. 決まっている 午前・午後 時 分 2. 特に決まっていない （シフト制、交代制勤務を含む）	1. 決まっている 午前・午後 時 分 2. 特に決まっていない （シフト制、交代制勤務を含む）	1. ある （兼業農家を含む） 2. ない	
2人目	1. 有職者（正社員・正職員） 3. 有職者（自営業・役員・その他） 5. 園児・未就学児 7. 休職中、長期休暇	2. 有職者（派遣・契約・パート・アルバイト） 4. 学生・生徒・児童 6. 専業主婦・主夫 8. 無職	名称 学校名 住所 市 町 区 町・丁目/字	名称 学校名 住所 市 町 区 町・丁目/字	1. 自宅と同じ（自営業など） 2. 自宅以外の所在地	下の表から選択 （あてはまる産業の番号を記入）	1. 決まっている 午前・午後 時 分 2. 特に決まっていない （シフト制、交代制勤務を含む）	1. 決まっている 午前・午後 時 分 2. 特に決まっていない （シフト制、交代制勤務を含む）	1. ある （兼業農家を含む） 2. ない	
3人目	1. 有職者（正社員・正職員） 3. 有職者（自営業・役員・その他） 5. 園児・未就学児 7. 休職中、長期休暇	2. 有職者（派遣・契約・パート・アルバイト） 4. 学生・生徒・児童 6. 専業主婦・主夫 8. 無職	名称 学校名 住所 市 町 区 町・丁目/字	名称 学校名 住所 市 町 区 町・丁目/字	1. 自宅と同じ（自営業など） 2. 自宅以外の所在地	下の表から選択 （あてはまる産業の番号を記入）	1. 決まっている 午前・午後 時 分 2. 特に決まっていない （シフト制、交代制勤務を含む）	1. 決まっている 午前・午後 時 分 2. 特に決まっていない （シフト制、交代制勤務を含む）	1. ある （兼業農家を含む） 2. ない	
4人目	1. 有職者（正社員・正職員） 3. 有職者（自営業・役員・その他） 5. 園児・未就学児 7. 休職中、長期休暇	2. 有職者（派遣・契約・パート・アルバイト） 4. 学生・生徒・児童 6. 専業主婦・主夫 8. 無職	名称 学校名 住所 市 町 区 町・丁目/字	名称 学校名 住所 市 町 区 町・丁目/字	1. 自宅と同じ（自営業など） 2. 自宅以外の所在地	下の表から選択 （あてはまる産業の番号を記入）	1. 決まっている 午前・午後 時 分 2. 特に決まっていない （シフト制、交代制勤務を含む）	1. 決まっている 午前・午後 時 分 2. 特に決まっていない （シフト制、交代制勤務を含む）	1. ある （兼業農家を含む） 2. ない	
5人目	1. 有職者（正社員・正職員） 3. 有職者（自営業・役員・その他） 5. 園児・未就学児 7. 休職中、長期休暇	2. 有職者（派遣・契約・パート・アルバイト） 4. 学生・生徒・児童 6. 専業主婦・主夫 8. 無職	名称 学校名 住所 市 町 区 町・丁目/字	名称 学校名 住所 市 町 区 町・丁目/字	1. 自宅と同じ（自営業など） 2. 自宅以外の所在地	下の表から選択 （あてはまる産業の番号を記入）	1. 決まっている 午前・午後 時 分 2. 特に決まっていない （シフト制、交代制勤務を含む）	1. 決まっている 午前・午後 時 分 2. 特に決まっていない （シフト制、交代制勤務を含む）	1. ある （兼業農家を含む） 2. ない	
6人目	1. 有職者（正社員・正職員） 3. 有職者（自営業・役員・その他） 5. 園児・未就学児 7. 休職中、長期休暇	2. 有職者（派遣・契約・パート・アルバイト） 4. 学生・生徒・児童 6. 専業主婦・主夫 8. 無職	名称 学校名 住所 市 町 区 町・丁目/字	名称 学校名 住所 市 町 区 町・丁目/字	1. 自宅と同じ（自営業など） 2. 自宅以外の所在地	下の表から選択 （あてはまる産業の番号を記入）	1. 決まっている 午前・午後 時 分 2. 特に決まっていない （シフト制、交代制勤務を含む）	1. 決まっている 午前・午後 時 分 2. 特に決まっていない （シフト制、交代制勤務を含む）	1. ある （兼業農家を含む） 2. ない	
7人目	1. 有職者（正社員・正職員） 3. 有職者（自営業・役員・その他） 5. 園児・未就学児 7. 休職中、長期休暇	2. 有職者（派遣・契約・パート・アルバイト） 4. 学生・生徒・児童 6. 専業主婦・主夫 8. 無職	名称 学校名 住所 市 町 区 町・丁目/字	名称 学校名 住所 市 町 区 町・丁目/字	1. 自宅と同じ（自営業など） 2. 自宅以外の所在地	下の表から選択 （あてはまる産業の番号を記入）	1. 決まっている 午前・午後 時 分 2. 特に決まっていない （シフト制、交代制勤務を含む）	1. 決まっている 午前・午後 時 分 2. 特に決まっていない （シフト制、交代制勤務を含む）	1. ある （兼業農家を含む） 2. ない	

1121254511212#

1 農業、林業	2 漁業	3 鉱業	4 建設業	5 製造業	6 電気・ガス・熱供給・水道業	7 情報通信業	8 運輸業、郵便業	9 卸売業	10 小売業	11 金融業、保険業	12 不動産業、物品賃貸業	13 学術研究、専門・技術サービス業	14 宿泊業、飲食サービス業	15 生活関連サービス業、娯楽業	16 教育、学習支援業	17 医療、福祉	18 複合サービス業	19 その他サービス業	20 公務	21 その他	
農業、林業、農業サービス業、園芸サービス業、育林業など	漁業、水産養殖業など	金属鉱業、石炭・亜炭鉱業、原油・天然ガス鉱業、採石業、砂・砂利・玉石採取業など	土木工事業、建設工事業、建築工事業、建築リフォーム工事業、大工工事業、鉄骨・鉄筋工事業、左官工事業、電気工事業など	食料品製造業、飲料・たばこ・飲料製造業、繊維工業、木材・木製品製造業、家具・装飾品製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、印刷関連業、化学工業、石油製品・石炭製品製造業、窯業・土石製品製造業、鉄鋼業、金属製品製造業、情報通信機械器具製造業など	電気業、ガス業、熱供給業、水道業など	通信業、放送業、情報サービス業、映像情報制作・配給業、新聞業、出版業、広告制作業など	鉄道業、道路旅客運送業、道路貨物運送業、水運業、航空運輸業、倉庫業、郵便業など	繊維・衣服等卸売業、飲食料品卸売業、建築材料・鉱物・金属材料等卸売業、機械器具卸売業など	百貨店、総合スーパー、織物・衣服・身の回り品小売業、飲食料品小売業、機械器具小売業、無店舗小売業など	銀行業、貸金業、クレジットカード業等非営利信用機関、保険業（保険媒介代理業、保険サービス業を含む）など	不動産取引業、不動産賃貸業・管理業、物品賃貸業など	学術・開発研究機関、法律事務所、著述・芸術家業、経営コンサルタント業、純粋株式会社、広告業、獣医療業など	宿泊業、飲食店、持ち帰り・配達飲食サービス業など	洗濯・理容・美容・浴場業、旅行業、冠婚葬祭業、娯楽業など	学校教育、学習塾など	医療業、保健衛生、社会保険・社会福祉・介護事業など	郵便局、農林水産業協同組合など	商業物販理業、自動車整備業、職業紹介・労働者派遣業、政治・経済・文化団体、宗教など	国家公務、地方公務、警察、消防など（1～19の事業を行う官公庁、院局（学校、水産庁など）は公務ではなく、それぞれの分野で回答してください）		

図 2-2 世帯票（ウラ）

平成29年度 仙台都市圏パーソントリップ調査 平成29年度宮城県統計調査第3号

あなたの調査日は 月 日 (曜日) 記入についてのお願い

①回答は、等の色刷り部分(回答欄)に、数字や文字を記入してください。
②回答欄に番号がついている場合は、当てはまる番号を○で囲んでください。

※世帯票のうち、5歳以上の方(平成29年10月1日現在)一人ひとりについて、お答えください。
※調査日(上の赤枠内の日付)の1日に訪れた場所(自宅含め)とその間の移動を全て順番にお答えください。

世帯票を回答した後に記入してください。
世帯票で、あなたは何人目に記入されましたか。 人目

反対面の休日もお答えください。

7番目以降がある方は、同封の個人票準備をお使いいただくかサポートセンターまでご連絡ください。

反対面の休日もお答えください。

1日のはじめにいた場所(午前3時にいた場所)
1.自宅 2.勤務先 3.通学・通園先
4.1~3以外の場所(所在地を記入)

1番目に行った場所は
1.自宅 2.勤務先 3.通学・通園先
4.番目に行った場所と同じ
5.1~4以外の場所(所在地を記入)

2番目に行った場所は
1.自宅 2.勤務先 3.通学・通園先
4.番目に行った場所と同じ
5.1~4以外の場所(所在地を記入)

3番目に行った場所は
1.自宅 2.勤務先 3.通学・通園先
4.番目に行った場所と同じ
5.1~4以外の場所(所在地を記入)

4番目に行った場所は
1.自宅 2.勤務先 3.通学・通園先
4.番目に行った場所と同じ
5.1~4以外の場所(所在地を記入)

5番目に行った場所は
1.自宅 2.勤務先 3.通学・通園先
4.番目に行った場所と同じ
5.1~4以外の場所(所在地を記入)

6番目に行った場所は
1.自宅 2.勤務先 3.通学・通園先
4.番目に行った場所と同じ
5.1~4以外の場所(所在地を記入)

出発時刻と到着時刻
交通手段表4から公共交通を利用した場合
利用した交通手段は

あなたが運転しましたか
何人乗車しましたか
どこに駐車しましたか
高速道路を利用しましたか

表2 施設
1.住宅・寮 8.図書館・博物館・美術館 14.スーパー・デパート 21.工場・倉庫
2.学校・幼稚園・保育園 9.劇場・ホールなど 22.交通施設(駅・バス・空港など) 2.2.シニアセンター
3.その他の教育施設(塾・予備校・習字塾・児童クラブなど) 10.公民館・集会所 15.コンビニエンスストア 23.研究所・試験所
4.病院・診療所・整体院など 11.事務所・会社・銀行 16.その他小売店(コンビニを除く) 24.公園・緑地・海・山・川
5.福祉施設(高齢者・障がい者・老人ホームなど) 12.官公庁・警察・消防 17.産直市場 25.遊園地・動物園・水族館
6.温泉・浴場(自噴り) 13.開業・卸売市場 18.飲食店 26.スポーツ施設
7.美容院・クリーニング店など 19.娯楽施設 20.娯楽施設 27.農林漁業の現場 28.その他

表3 目的
1.仕事 8.送迎(付き添いなどを含む) 1.徒歩(車いすを含む) 10.路線バス(仙台市営、宮城交通など) 16.乗用車
2.通学先・通園先への登校 9.治療・診察 11.シニアカー(電動カート) 17.軽乗用車
3.買い物 10.散歩・ジョギング 12.自走車 18.貨物車(特種車含む)
4.習い事 11.その他私事(家事・介護など) 13.電動アシスト付自転車 19.軽貨物車(軽トラックなど)
5.飲食 12.勤務先へ戻る 14.自動二輪車(50ccを超える) 20.レンタカー 21.船・飛行機
6.交際 13.通学先・通園先へ戻る 15.原動機付自転車(50cc以下) 22.レンタカー・カーシェアリング車庫
7.娯楽・行楽・レクリエーション・スポーツ 14.帰宅 16.タクシー・ハイヤー・運転代行 21.船舶・飛行機
8.JR在来線など 17.地下鉄 17.タクシー・ハイヤー・運転代行 22.その他
9.新幹線 18.デマンドタクシー

表4 交通手段
1.徒歩(車いすを含む) 10.路線バス(仙台市営、宮城交通など) 16.乗用車
2.シニアカー(電動カート) 11.その他路線バス(宮城交通など) 17.軽乗用車
3.自走車 12.自走車 18.貨物車(特種車含む)
4.電動アシスト付自転車 13.送迎バス(学校や企業、商業施設が運行するバス・貸切バスなど) 19.軽貨物車(軽トラックなど)
5.自動二輪車(50ccを超える) 14.タクシー・ハイヤー・運転代行 20.レンタカー
6.原動機付自転車(50cc以下) 15.地下鉄 21.船・飛行機
7.地下鉄 16.タクシー・ハイヤー・運転代行 22.その他
8. JR在来線など 17.地下鉄 21.船舶・飛行機
9.新幹線 18.デマンドタクシー

表5 駐車場
1.駐車しなかった(停車を含む) 2.路上駐車 3.自宅駐車場 4.月極駐車場(自宅駐車場以外) 5.日貸し・時間貸し駐車場 6.勤務先の駐車場 7.事務所・店舗・訪問先の駐車場 8.その他

図 2-3 個人票 (オモテ、平日)

※質問項目は平日・休日でも共通

平成29年度 仙台都市圏パーソントリップ調査 平成29年度宮城県統計調査第3号

個人票 休日 宮城県 仙台市 塩釜市 名取市 多賀城市 岩沼市 富谷市 大河原町 村田町 柴田町 川崎町 亶理町 山元町 松島町 七ヶ浜町 利府町 大和町 大郷町 大衡村

あなたの調査日は 月 日 (曜日) 午前3時から翌日午前3時までです。

記入についてのお願い ①回答は、等の色刷り部分(回答欄)に、数字や文字を記入してください。②回答欄に番号がついている場合は、当てはまる番号を○で囲んでください。

※世帯票のうち、5歳以上の方(平成29年10月1日現在)一人ひとりについて、お答えください。
※調査日(上の赤枠内の日付)の1日に訪れた場所(自宅含め)とその間の移動を全て順番にお答えください。

反対面の平日もお答えください。

7番目以降がある方は、同封の個人票予備をお使いいただくかサポートセンターまでご連絡ください。

反対面の平日もお答えください。

1日のはじめにいた場所(午前3時にいた場所)
1.自宅 2.勤務先 3.通学・通園先
4.1~3以外の場所(所在地を記入)

1番目に行った場所は
1.自宅 2.勤務先 3.通学・通園先
4.番目に行った場所と同じ
5.1~4以外の場所(所在地を記入)

2番目に行った場所は
1.自宅 2.勤務先 3.通学・通園先
4.番目に行った場所と同じ
5.1~4以外の場所(所在地を記入)

3番目に行った場所は
1.自宅 2.勤務先 3.通学・通園先
4.番目に行った場所と同じ
5.1~4以外の場所(所在地を記入)

4番目に行った場所は
1.自宅 2.勤務先 3.通学・通園先
4.番目に行った場所と同じ
5.1~4以外の場所(所在地を記入)

5番目に行った場所は
1.自宅 2.勤務先 3.通学・通園先
4.番目に行った場所と同じ
5.1~4以外の場所(所在地を記入)

6番目に行った場所は
1.自宅 2.勤務先 3.通学・通園先
4.番目に行った場所と同じ
5.1~4以外の場所(所在地を記入)

出発時刻と到着時刻
交通手段表4から 公共交通を利用した場合
乗車料(円/分) 降車料(円/分)

あなたが運転しましたか
何人乗車しましたか
どこに駐車しましたか
高速道路を利用しましたか

表2 施設
1.住宅・寮 8.図書館・博物館・美術館 14.スーパー・デパート 21.工場・倉庫
2.学校・幼稚園・保育園 9.劇場・ホールなど 22.交通施設(駅・バス停・空港など) 23.コンビニエンスストア
3.その他の教育施設(塾・予備校・習字塾・児童クラブなど) 10.公民館・集会所 24.公園・緑地・海・山・川 25.研究所・試験所
4.病院・診療所・整骨院など 11.事務所・会社・銀行 12.産直市場 26.遊園地・動物園・水族館
5.福祉施設(高齢者・障がい者・老人ホームなど) 12.郵便局・農協 18.飲食店 26.スポーツ施設
6.温泉・浴場(自噴り) 12.官公庁・警察・消防 19.宿泊施設 27.農林漁業の現場
7.美容院・クリーニング店など 13.問屋・卸売市場 20.娯楽施設 28.その他

表3 目的
1.仕事 8.送迎(付き添いなどを含む) 1.徒歩(車いすを含む) 10.路線バス(仙台市営、宮城交通など) 16.乗用車
2.通学先・通園先への登校 9.治療・診察 11.シニアカー(電動カート) 11.その他路線バス(仙台市営以外) 17.軽乗用車
3.買い物 10.散歩・ジョギング 12.自走車 12.高速バス 18.貨物車(特種車含む)
4.習い事 11.その他私事(家事・介護など) 13.電動アシスト付自転車 13.送迎バス(学校や企業、商業施設が運行するバス・貸切バスなど) 19.軽貨物車(軽トラックなど)
5.飲食 6.原動機付自転車(50cc以下) 14.送迎バス(学校や企業、商業施設が運行するバス・貸切バスなど) 20.レンタカー・カーシェアリング/車両
6.交際 7.地下鉄 14.タクシー・ハイヤー・運転代行 21.船舶・飛行機
7.娯楽・行楽・レクリエーション・スポーツ 8.JR在来線など 15.デマンドタクシー 22.その他

表4 交通手段
1.徒歩(車いすを含む) 10.路線バス(仙台市営、宮城交通など) 16.乗用車
2.シニアカー(電動カート) 11.その他路線バス(仙台市営以外) 17.軽乗用車
3.自走車 12.高速バス 18.貨物車(特種車含む)
4.電動アシスト付自転車 13.送迎バス(学校や企業、商業施設が運行するバス・貸切バスなど) 19.軽貨物車(軽トラックなど)
5.自動二輪車(50ccを超える) 6.原動機付自転車(50cc以下) 14.タクシー・ハイヤー・運転代行 20.レンタカー・カーシェアリング/車両
7.地下鉄 8. JR在来線など 15.デマンドタクシー 21.船舶・飛行機
9.新幹線 22.その他

表5 駐車場
1.駐車しなかった(停車を含む) 2.路上駐車 3.自宅駐車場 4.月極駐車場(自宅駐車場以外) 5.日貸し・時間貸し駐車場 6.勤務先の駐車場 7.事務所・店舗・訪問先の駐車場 8.その他

図 2-4 個人票 (ウラ、休日)

※質問項目は平日・休日でも共通

(2) 集計テーマの設定

現況集計では、サンプルとして得られたトリップデータの拡大処理を行った結果の検証や、各種設問項目の回答状況、さらに都市交通計画のための基礎的なデータを整理することを目的とする。

現況集計項目の設定にあたっては、トリップの概念に基づき「①主体」、「②目的」、「③交通手段」、「④地域」に分類し、集計テーマとして設定した。

① 主体	どのような人が	} 移動するのか
② 目的	どのような目的で	
③ 交通手段	どのような交通手段で	
④ 地域	どこからどこへ	

(3) 集計カテゴリーの設定

現況集計を行うにあたって、あらかじめクロス集計に必要な目的や交通手段などの各種集計カテゴリーを設定する必要がある。

集計カテゴリーは調査票の選択肢を集約したものであり、複数の集計カテゴリー分類（分類Ⅰ、分類Ⅱ、…）を作成し、集計内容に応じてこれらを使い分けている。

なお、第5回調査では、第4回調査から調査票を大きく変更したものの、過年度調査との比較分析に対応するため、共通する調査項目については、第4回調査の現況集計で用いた集計カテゴリーを基本に設定した。

※ゾーンについては、第5回調査で見直したゾーン区分を適用した。

1) 世帯票関連のカテゴリー分類

表 2-2 世帯票関連のカテゴリー分類

性別

分類 I	
1.	男性
2.	女性

年齢階層

分類 I	
1.	5～9歳
2.	10～14
3.	15～19
4.	20～24
5.	25～29
6.	30～34
7.	35～39
8.	40～44
9.	45～49
10.	50～54
11.	55～59
12.	60～64
13.	65～69
14.	70～74
15.	75～79
16.	80～84
17.	85～

世代

分類 I	
1.	学生・生徒・児童
2.	就業者
3.	主婦・主夫
4.	高齢者（有職）
5.	高齢者（無職）
9.	その他・不明

自動車の運転免許

分類 I		分類 II	
1.	持っている	1.	免許あり
2.	持っていない	2.	免許なし
3.	持っていたが返納した		
9.	不明	9.	不明

現在の住居形態

分類 I	
1.	一戸建て（持ち家）
2.	一戸建て（借家）
3.	マンション（持ち家）
4.	アパート・マンション（賃貸）
5.	社宅・官舎・寮
6.	高齢者集合住宅
7.	その他
9.	不明

自動車の保有台数

分類 I	
1.	1台
2.	2台
3.	3台
4.	4台
5.	5台以上
9.	不明

2) 個人票関連のカテゴリ分類

表 2-3 個人票関連のカテゴリ分類 (1/3)

目的種類

分類Ⅰ	分類Ⅱ	分類Ⅲ	分類Ⅳ
1. 通勤	1. 通勤	1. 通勤	1. 通勤
2. 通学	2. 通学	2. 通学	2. 通学
3. 帰宅-1	3. 帰宅	3. 帰宅	3. 帰宅
4. 帰宅-2			
5. 買物	4. 買物	4. 買物	4. 私事
6. 通院	5. 通院	5. 私事	
7. 習い事・塾	6. 私事		
8. 食事・交際			
9. 娯楽・遊戯			
10. 送迎			
11. 散歩・ジョギング			
12. その他私用			
13. 業務	7. 業務	6. 業務	5. 業務
14. 帰社			
99. 不明	9. 不明	9. 不明	9. 不明

代表交通手段分類

分類Ⅰ (調査票の選択肢順)	分類Ⅱ	分類Ⅲ
9. 新幹線	1. 鉄道	1. 鉄道
8. JR・在来線など		
7. 地下鉄		
12. 高速バス	2. バス	2. バス
10. 路線バス (仙台市営、宮城交通など)		
11. その他路線バス (自治体運行バスなど)		
15. デマンドタクシー		
14. タクシー・ハイヤー・運行代行	3. 自動車	3. 自動車
16. 乗用車		
17. 軽乗用車		
13. 送迎バス		
18. 貨物車 (特種車含む)		
19. 軽貨物車 (軽トラックなど)		
80. 自動車 (車種不明)		
20. レンタカー・カーシェアリング車両		
5. 自動二輪車 (50ccを超える)	4. 自動二輪	4. 二輪車
6. 原動機付き自転車 (50cc以下)		
4. 電動アシスト付自転車	5. 自転車	
3. 自転車		
2. シニアカー (電動カート)	6. 徒歩	5. 徒歩
1. 徒歩 (車いすを含む)		
21. 船舶・飛行機	7. その他	6. その他
22. その他		
99. 不明	9. 不明	9. 不明

着施設

分類Ⅰ (調査票の選択肢順)	分類Ⅱ
1. 住宅・寮	1. 住宅・寮
2. 学校・幼稚園・保育園	2. 学校・教育施設
3. その他の教育施設	
4. 病院・診療所・整体院など	3. 病院・福祉施設
5. 福祉施設 (高齢者・障がい者・老人ホームなど)	
6. 温泉・浴場 (日帰り)	4. 商業施設
7. 美容院・クリーニング店など	
14. スーパー・デパート・ショッピングセンター	
15. コンビニエンスストア	
16. その他の小売店 (コンビニを除く)	
17. 産直市場	
18. 飲食店	
19. 宿泊施設	
20. 娯楽施設	
8. 図書館・博物館・美術館	5. 文化施設・公共施設
9. 劇場・ホールなど	
10. 公民館・集会所・コミュニティーセンター	
25. 遊園地・動植物園・水族館	
26. スポーツ施設	
11. 事務所・会社・銀行・郵便局・農協	6. 事務所・事業所
12. 官公庁・警察・消防	
13. 問屋・卸売市場	
21. 工場・倉庫	
23. 研究所・試験所	
22. 交通施設 (駅・バス停・空港など)	7. その他
24. 公園・緑地・海・山・川	
27. 農林漁業の現場	
28. その他	
99. 不明	9. 不明

表 2-4 個人票関連のカテゴリ分類 (2/3)

発着時間帯

分類 I		分類 II	
1. 3:00～		1. 3～5時未満	
2. 4:00～			
3. 5:00～		2. 5～7時未満	
4. 6:00～			
5. 7:00～		3. 7～8時未満	
6. 8:00～		4. 8～9時未満	
7. 9:00～		5. 9～10時未満	
8. 10:00～		6. 10～12時未満	
9. 11:00～			
10. 12:00～		7. 12～14時未満	
11. 13:00～			
12. 14:00～		8. 14～16時未満	
13. 15:00～			
14. 16:00～		9. 16～17時未満	
15. 17:00～		10. 17～18時未満	
16. 18:00～		11. 18～19時未満	
17. 19:00～		12. 19～20時未満	
18. 20:00～		13. 20～22時未満	
19. 21:00～			
20. 22:00～		14. 22～24時未満	
21. 23:00～			
22. 24:00～		15. 24時以降	
23. 25:00～			
24. 26:00～			
99. 不明		99. 不明	

所要時間

分類 I		分類 II	
1. 1～5分		1. 1～5分	
2. 6～10分		2. 6～10分	
3. 11～15分		3. 11～15分	
4. 16～20分		4. 16～30分	
5. 21～25分			
6. 26～30分			
7. 31～40分		5. 31～60分	
8. 41～50分			
9. 51～60分			
10. 61～90分		6. 61～90分	
11. 91～120分		7. 91～120分	
12. 121分～		8. 121分～	
99. 不明 (出発・到着時刻が不明)		9. 不明 (出発・到着時刻が不明)	

距離帯

分類 I	
1. ～0.5km	
2. ～1km	
3. ～2km	
4. ～3km	
5. ～4km	
6. ～5km	
7. ～10km	
8. 10km～	
9. 不明	

表 2-5 個人票関連のカテゴリ分類 (3/3)

鉄道端末手段分類

分類Ⅰ (調査票の選択肢順)	分類Ⅱ	分類Ⅲ
9. ー	1. ー	1. ー
8. ー		
7. ー		
12. 高速バス	2. バス	2. バス
10. 路線バス (仙台市営、宮城交通など)		
11. その他路線バス (自治体運行バスなど)		
15. デマンドタクシー	3. 自動車	3. 自動車
14. タクシー・ハイヤー・運行代行		
16. 乗用車		
17. 軽乗用車		
13. 送迎バス		
18. 貨物車 (特種車含む)		
19. 軽貨物車 (軽トラックなど)		
80. 自動車 (車種不明)		
20. レンタカー・カーシェアリング車両		
21. 船舶・飛行機		
22. その他		
5. 自動二輪車 (50ccを超える)	4. バイク	4. 徒歩・二輪車
6. 原動機付き自転車 (50cc以下)		
4. 電動アシスト付自転車	5. 自転車	4. 徒歩・二輪車
3. 自転車		
2. シニアカー (電動カート)	6. 徒歩	4. 徒歩・二輪車
1. 徒歩 (車いすを含む)		
99. 不明	9. 不明	5. その他・不明

※7.～9. は欠番

※1. は欠番

運転の有無

分類Ⅰ
1. 運転した
2. 運転しなかった
9. 不明

駐車場所

分類Ⅰ	分類Ⅱ
1. 駐車はしなかった	1. 駐車しなかった
2. 路上駐車	2. 路上駐車
3. 自宅駐車場	3. 自宅
4. 月極駐車場 (自宅駐車場以外)	4. 有料駐車場
5. 日貸し・時間貸し駐車場	
6. 勤務先の駐車場	5. 訪問先・空地等
7. 事務所・店舗・訪問先の駐車場	
8. その他	6. その他
9. 不明	9. 不明

(4) 調査精度の留意点

パーソントリップ調査はサンプリング調査によって実施されているため、データには統計的な誤差を有している。そのため、クロスカテゴリー数が多い集計や、トリップ数が少ないデータ（例えば鉄道駅へのバス利用トリップ）を取り扱う場合には、データ精度に留意が必要である。

＜第5回仙台都市圏パーソントリップ調査の精度保証カテゴリー＞

- ・調査精度を確保しているとみなせるカテゴリーあたりのトリップ数は、約 2,800 トリップであり、このトリップ数以上については精度の目安（相対誤差 20%）を概ねクリアしているといえる。

＜参考：精度保証される1カテゴリーあたりのトリップ数＞

- ・第5回PT調査において実態調査対象数を設定するための抽出率の算定には、下式を用いている。（「総合都市交通体系調査の手引き 解説書 2007年版、平成19年10月、国土交通省都市・地域整備局都市交通調査室（現都市局都市計画調査室）監修」より）

$$r = \frac{1}{\frac{RSD^2 \times N}{1.96^2(ZK-1)} + 1}$$

- r : 抽出率
RSD : 相対誤差 (20%)
N : 母集団の大きさ (トリップ数)
ZK : カテゴリー数
1.96 : 信頼度係数 (信頼度 95%)

- ・今回の調査結果である総トリップ約 369 万トリップを上式に適用すると、カテゴリー数 ZK は、1,315 と算定される。
- ・総トリップ数をこの精度保証されているカテゴリー数 1,315 で除した値が、精度保証される1カテゴリーあたりのトリップ数とみなせる。

$$3,690,000 / 1,315 = 2,806$$

(5) 現況集計項目の設定

現況集計項目を設定するときに、都市交通データとしての分析作業を進めていく上で
の必要性とともに、抽出時の精度保証カテゴリー数（1,315）を考慮しながら、現況集計
項目の設定作業を行った。

現況集計を行った集計表一覧を次ページ以降に示す。

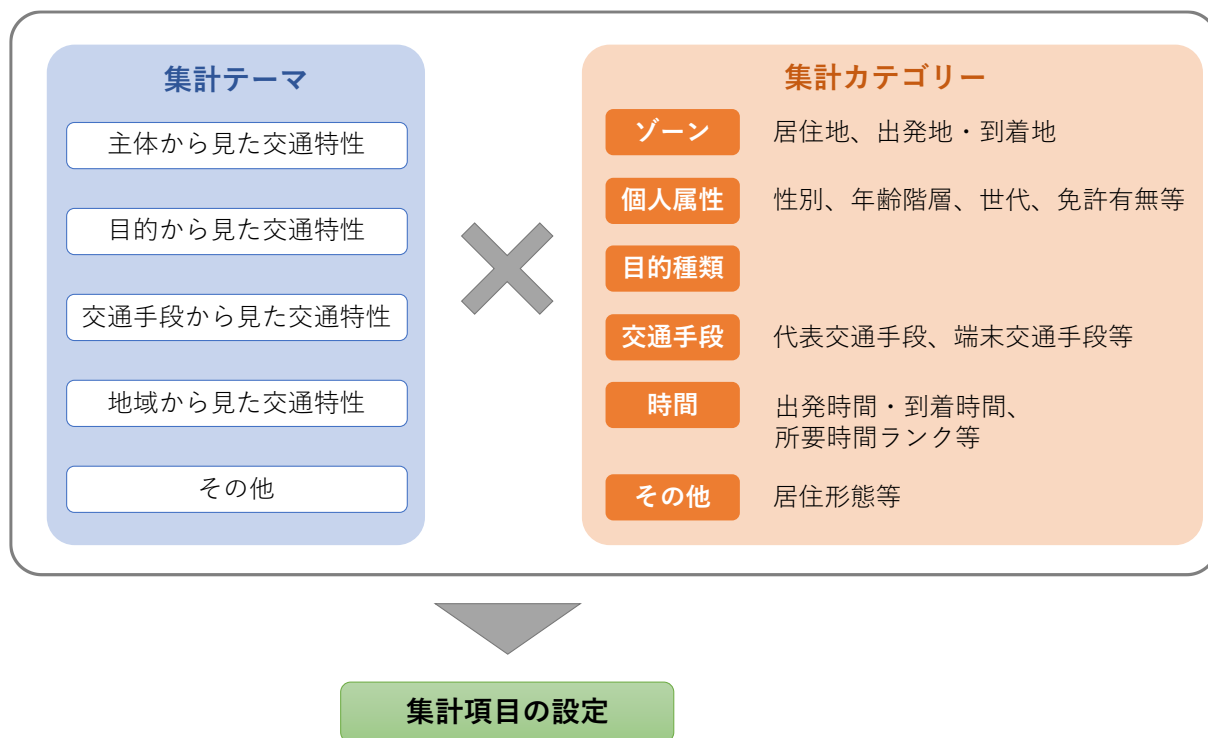


図 2-5 現況集計項目の設定フロー

表 2-6 現況集計項目一覧 (1/2)

第2章 節番号	現況集計項目名	経年 比較※1	平休 比較	トリップの 単位※2	地域区分	トリップ属性										個人属性				世帯属性				
						目的	代表手段	時間帯	所要時間	鉄道 駅等	鉄道端末	乗降	運転 有無	駐車場所	着施設	距離帯	性別	年齢	世代	運転免許	自動車 保有台数	住居 形態		
◇トリップの概況																								
2.2 (1)	都市圏総トリップ数	第2~4 回	●	トリップ	都市圏	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
2.2 (2)	都市圏内々、内外、外内、外々トリップ数	第4回	●	トリップ	都市圏	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
◇主体から見た交通特性																								
2.3 (1) 1)	性別年齢階層別にみた交通特性	第4回	●	-	都市圏	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	-	-	-	-	
2.3 (1) 2)	性別年齢階層別1人あたりトリップ数	第4回	●	トリップ	都市圏	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	-	-	-	-
2.3 (1) 3)	性別年齢階層別目的種別1人あたりトリップ数、目的種類構成	第4回	●	トリップ	都市圏	分類 II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	-	-	-	-
2.3 (1) 4)	性別年齢階層別代表交通手段別1人あたりトリップ数、代表交通手段分担率	第4回	●	トリップ	都市圏	-	分類 III	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	●	●	-	-	-	-
2.3 (2) 1)	世代別にみた交通特性	-	●	トリップ トリップ	都市圏	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-
2.3 (2) 2)	世代別目的種別1人あたりトリップ数、目的種類構成	-	●	トリップ	都市圏	分類 II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-
2.3 (2) 3)	世代別交通手段別トリップ数、代表交通手段分担率	-	●	トリップ	都市圏	-	分類 II	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-
2.3 (3) 1)	自動車運転免許有無別にみた交通特性	-	●	-	都市圏	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	-	分類 II	-	-
2.3 (3) 2)	自動車運転免許有無別1人あたりトリップ数	-	●	トリップ	都市圏	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	-	分類 II	-	-
2.3 (3) 3)	自動車運転免許有無別目的種別トリップ数、目的種類構成	-	●	トリップ	都市圏	分類 II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	分類 II	-	-
2.3 (3) 4)	自動車運転免許有無別代表交通手段別トリップ数、代表交通手段分担率	-	●	トリップ	都市圏	-	分類 II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	分類 II	-	-
2.3 (4)	自動車保有の特性	-	-	-	都市圏	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-
	市区町村別自動車平均保有台数(1世帯あたり)	-	-	-	市区町村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
◇目的から見た交通特性																								
2.4 (1)	目的種別トリップ数、目的種類構成の推移	第2~4 回	●	トリップ	都市圏	分類 IV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4 (2)	目的種別代表交通手段別トリップ数、代表交通手段分担率	-	●	トリップ	都市圏	分類 III	分類 II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4 (3)	目的種別発(着)時間帯構成(発生量/集中量)	(第4回)	●	トリップ	都市圏	分類 III	-	分類 I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4 (4)	目的種別平均所要時間	第4回	●	トリップ	都市圏	分類 IV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	主要時間ランク別構成	-	●	トリップ	都市圏	分類 III	-	-	分類 II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 第2回(1982年)、第3回(1992年)、第4回(2002年)

※2 「T.E.」はトリップエンドの略称

白紙

※1 第2回（1982年）、第3回（1992年）、第4回（2002年）

※2 「T.E.」はトリップエンドの略称

白紙

2.2 トリップの概況

(1) 都市圏総トリップ数

- ・ 都市圏における平日の1日あたり総トリップ数は、約369万トリップで、第4回調査に対し、この15年間で4%上昇している。
- ・ 今回初調査となった休日の1日あたり総トリップ数は約308万トリップで、平日の約83%である。

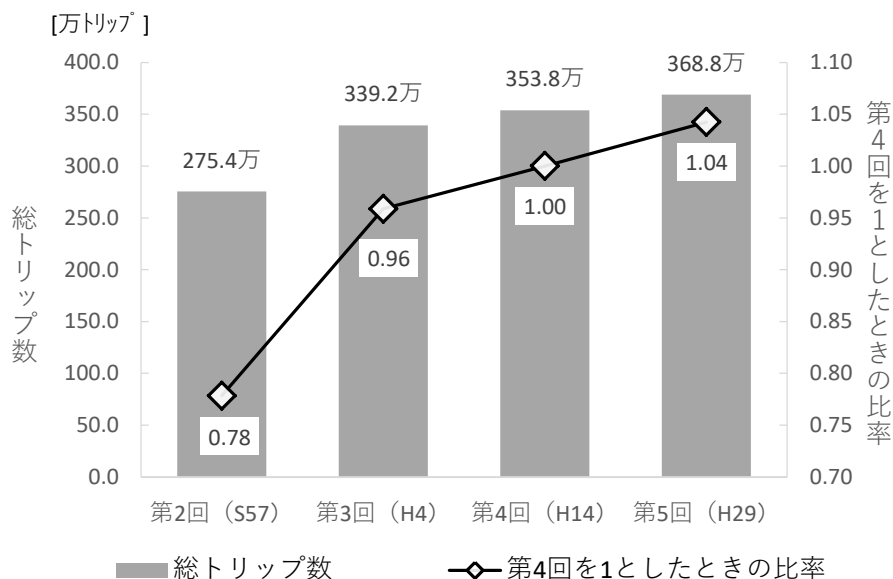


図 2-6 総トリップ数の推移（平日）

※第5回の圏域で再集計したもの

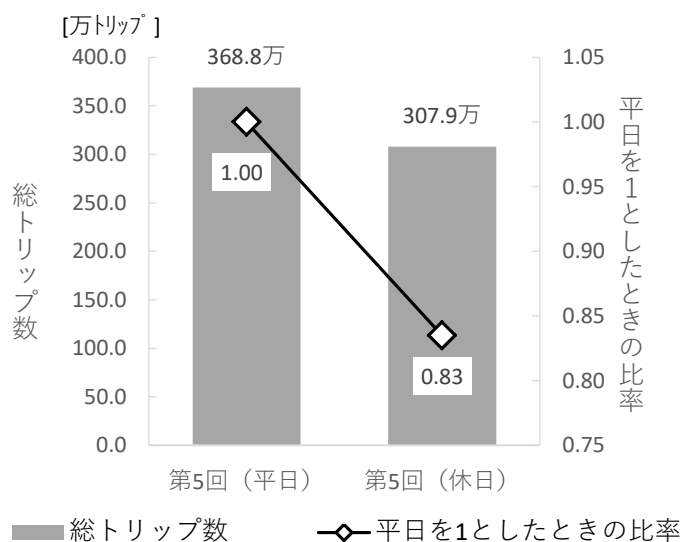
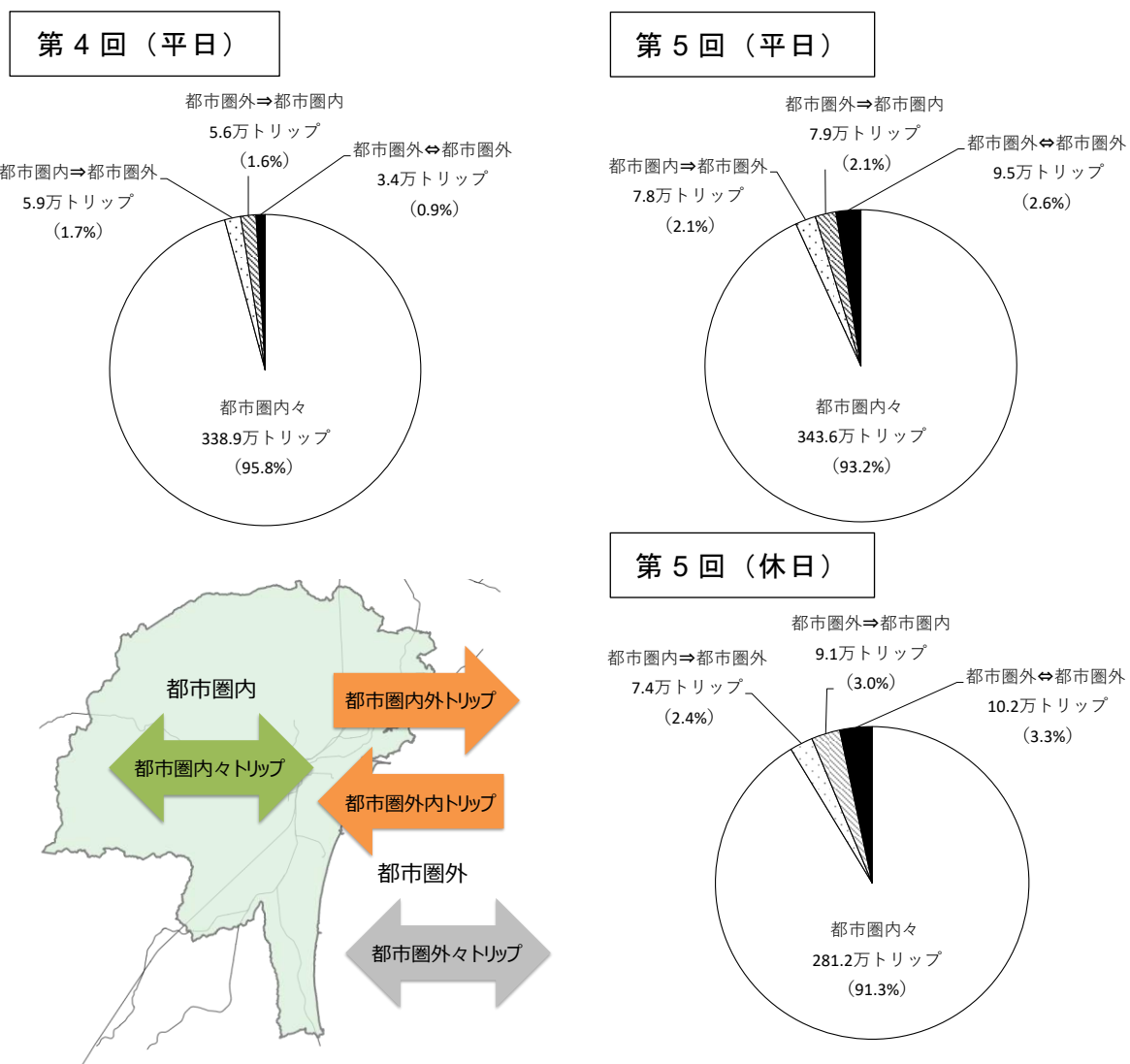


図 2-7 平日と休日の総トリップ数の比較

(2) 都市圏内々、内外、外内、外々トリップ数

- 平日における都市圏と都市圏外とのトリップの関係をみると、15年前と比較してトリップ全体に占める都市圏内々トリップ数の割合は低下し、都市圏内外・外内・外々トリップ数の割合は上昇している。
- 全てのトリップは増加しているが、都市圏内外・外内・外々トリップの増加率が高い。



都市圏内⇒都市圏内	都市圏内で移動するトリップ
都市圏内⇒都市圏外	都市圏内から都市圏外へ出ていくトリップ
都市圏外⇒都市圏内	都市圏外から都市圏内へ入ってくるトリップ
都市圏外⇒都市圏外	都市圏外で移動するトリップ

(単位：万トリップ)

	都市圏内⇒ 都市圏内	都市圏内⇒ 都市圏外	都市圏外⇒ 都市圏内	都市圏外⇄ 都市圏外
第4回(平日)	338.9	5.9	5.6	3.4
第5回(平日)	343.6	7.8	7.9	9.5
第4回に対する 第5回トリップ数の増減	+4.6 (+1%)	+1.9 (+33%)	+2.3 (+41%)	+6.1 (+183%)

図 2-8 都市圏内々、内外、外内、外々トリップ数

2.3 主体から見た交通特性

(1) 性別年齢階層別にみた交通特性

1) 性別年齢階層別外出率

- ・ 都市圏居住者の平日における外出率は、この15年間で男女ともに低下している。
- ・ 休日の外出率は、男女ともに平日を下回っている。

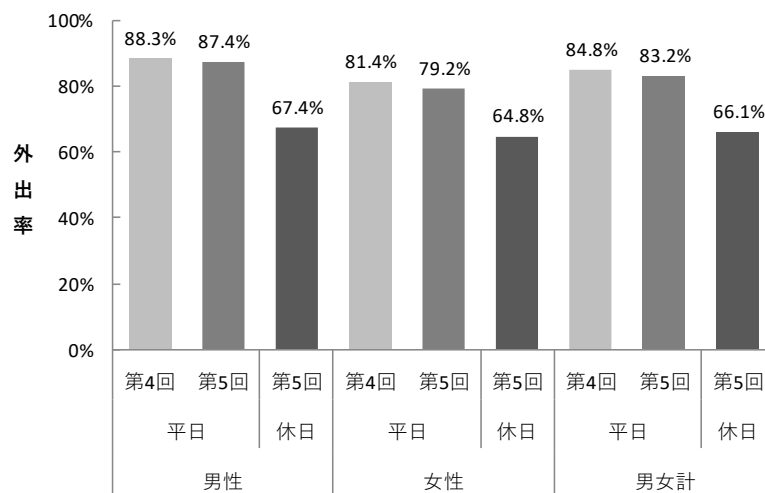
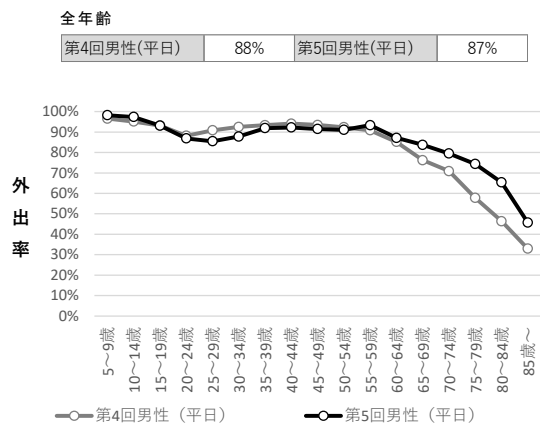


図 2-9 男女別外出率の推移

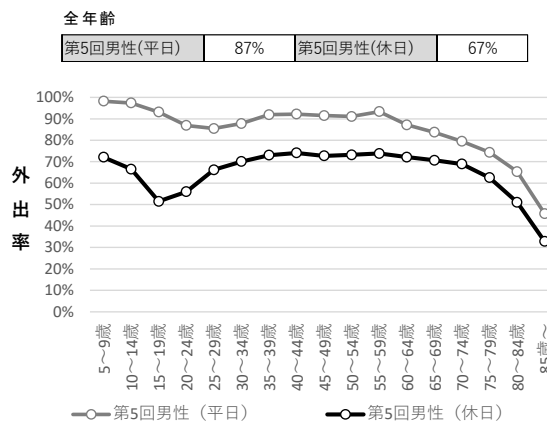
※居住人口に占める、調査対象日に外出した人口の割合を外出率と言う。

- ・ 平日の外出率は、25～34歳の男性で15年前より低下し、65歳以上で上昇している。一方、女性では、25～49歳で15年前より低下し、60歳以上で上昇している。
- ・ 休日の外出率は、男女ともに全ての年代で平日より低く、特に5～24歳の若い層における差が大きい。

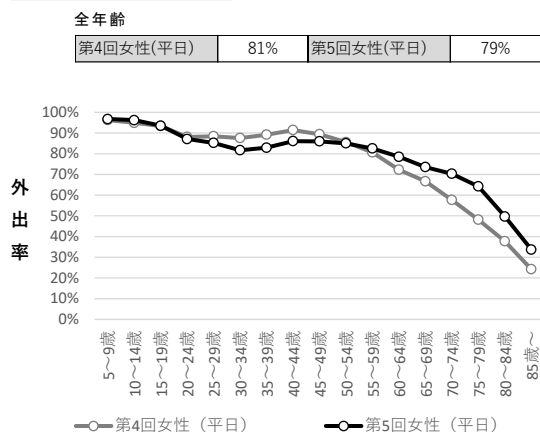
男性（平日）



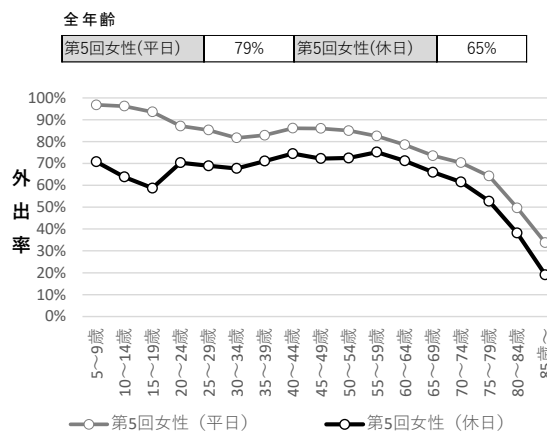
男性（休日）



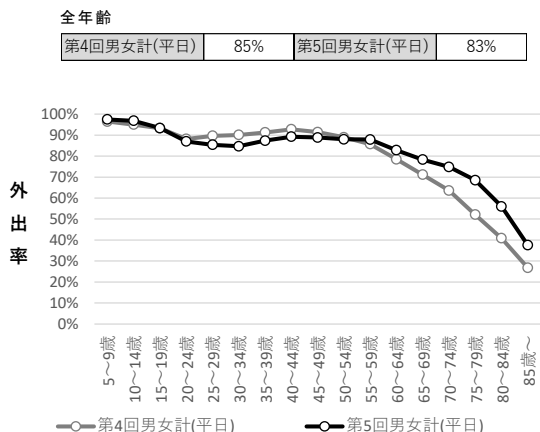
女性（平日）



女性（休日）



男女計（平日）



男女計（休日）

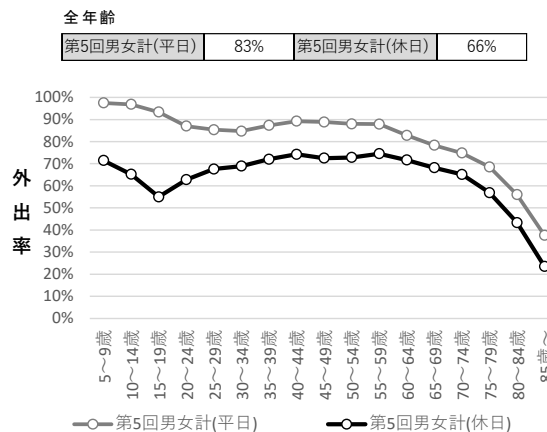


図 2-10 性別年齢階層別外出率の推移

2) 性別年齢階層別 1人あたりトリップ数

- ・ 都市圏居住者の平日における 1人あたりトリップ数は、男女ともに 15年前と比べ低下している。
- ・ 休日の 1人あたりトリップ数は、男女ともに平日を下回っている。

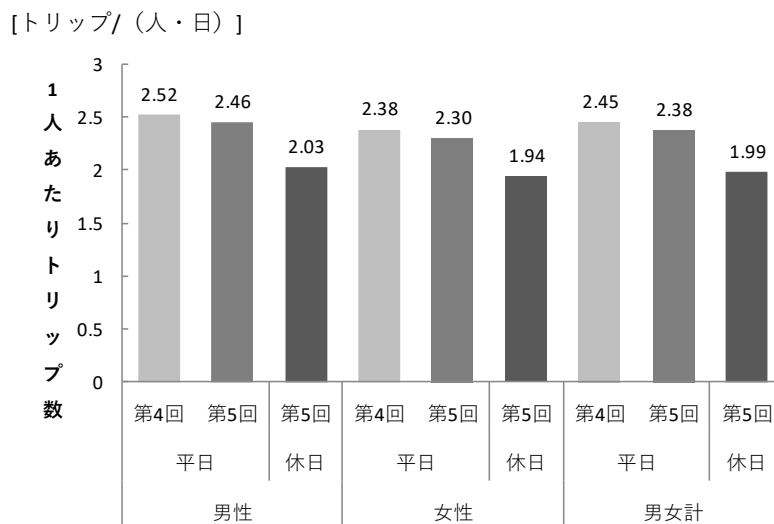


図 2-11 男女別 1人あたりトリップ数の推移

※1人あたりトリップ数は、トリップ数を居住人口で除して算出。以降同様。

- ・ 平日の1人あたりトリップ数は、20～54歳の男性で15年前から減少し、65歳以上で増加している。一方、女性では、20～49歳で15年前より減少し、55歳以上で増加している。
- ・ 休日の1人あたりトリップ数は、男女ともに全ての年代で平日を下回り、特に15～19歳の若い層における差が比較的大きい。

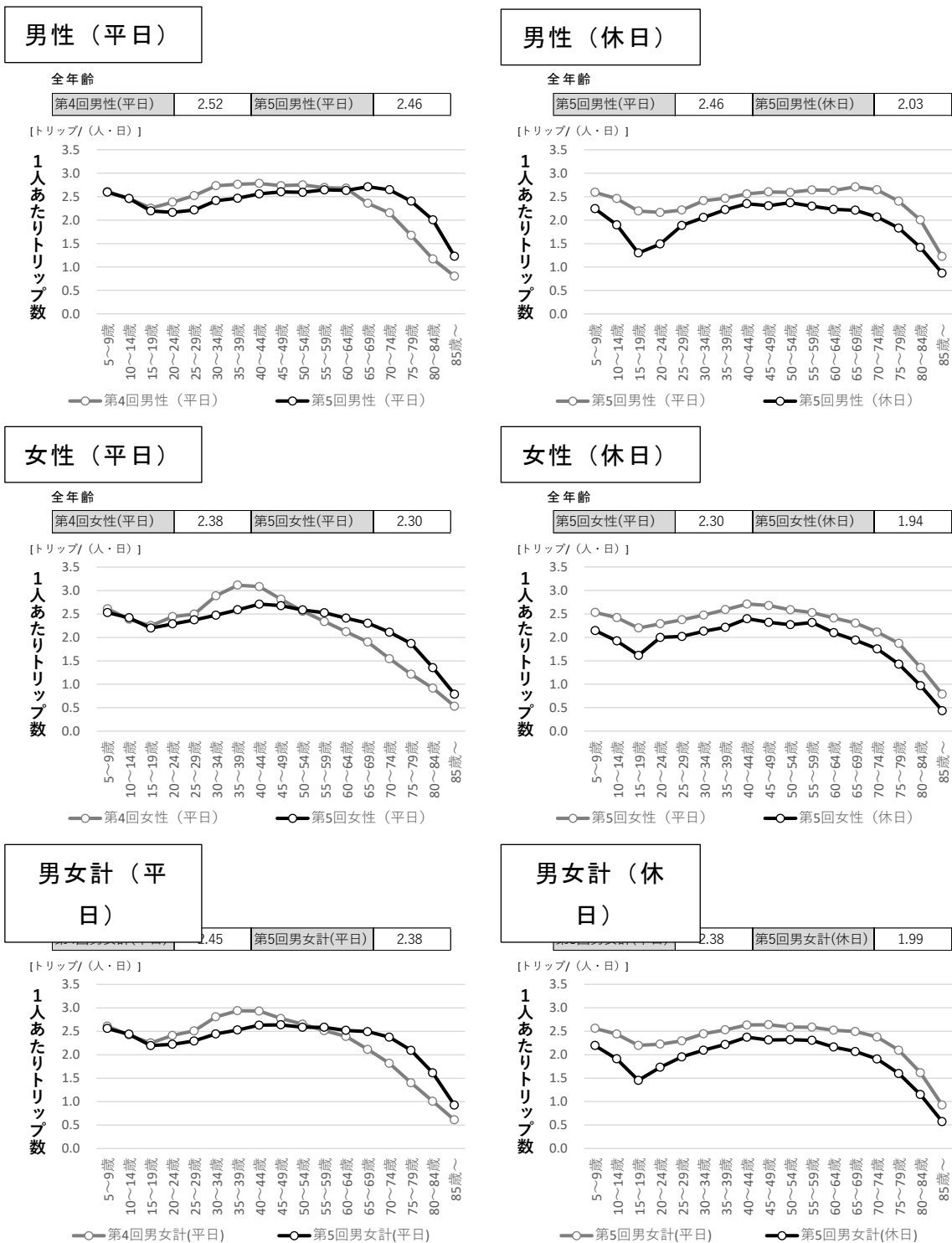


図 2-12 性別年齢階層別 1人あたりトリップ数の推移

3) 性別年齢階層別目的種類別 1人あたりトリップ数、目的種類構成

- ・ 平日における男性の年齢階層別目的種類別 1人あたりトリップ数は、25～64歳の通勤目的、30～64歳の業務目的、60～84歳の買物目的、65～84歳の私事目的で、全年齢における1人あたりトリップ数を上回る。
- ・ 平日における男性の年齢階層別目的種類構成では、25～64歳で通勤・業務目的の構成比、60歳以上で買物・私事目的の構成比が、全年齢における構成比を上回る。

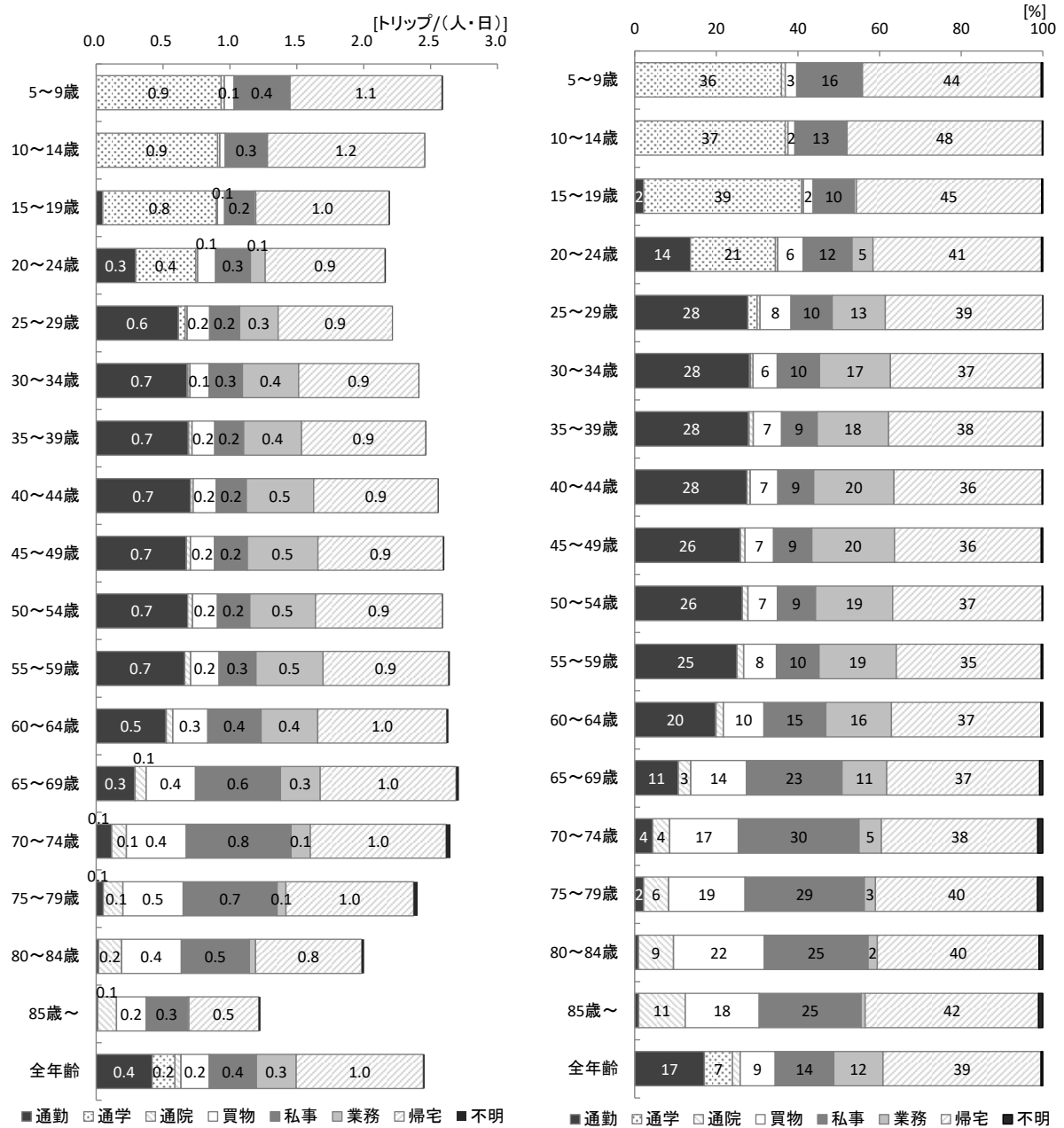


図 2-13 男性の年齢階層別目的種類別 1人あたりトリップ数、目的種類構成（平日）

- ・ 休日における男性の年齢階層別目的種類別 1人あたりトリップ数は、5～9歳・40～64歳の買物目的、5～14歳・65～69歳の私事目的で、全年齢における1人あたりトリップ数を上回る。
- ・ 休日における男性の年齢階層別目的種類構成では、5～9歳・35～64歳・70歳以上で買物目的の構成比、5～19歳・65～84歳で私事目的の構成比が、全年齢における構成比を上回る。

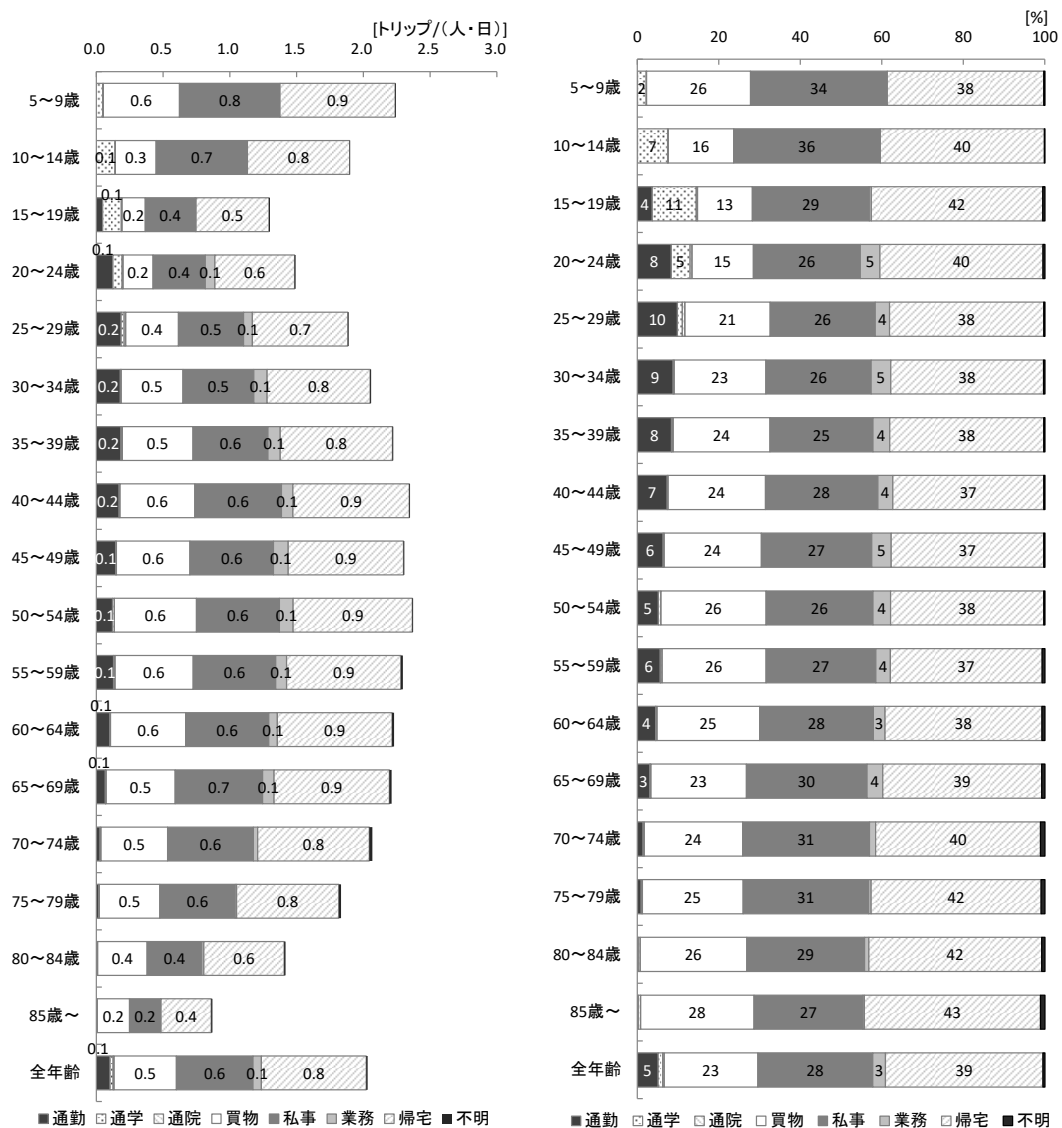


図 2-14 男性の年齢階層別目的種類別 1人あたりトリップ数、目的種類構成（休日）

- ・ 平日における女性の年齢階層別目的種類別 1人あたりトリップ数は、20～59歳の通勤目的、35～79歳の買物目的、30～49歳・55～79歳の私事目的で、全年齢における1人あたりトリップ数を上回る。
- ・ 平日における女性の年齢階層別目的種類構成では、20～59歳で通勤目的、45～84歳で買物目的、30～44歳・55歳以上で私事目的の構成比が、全年齢における構成比を上回る。

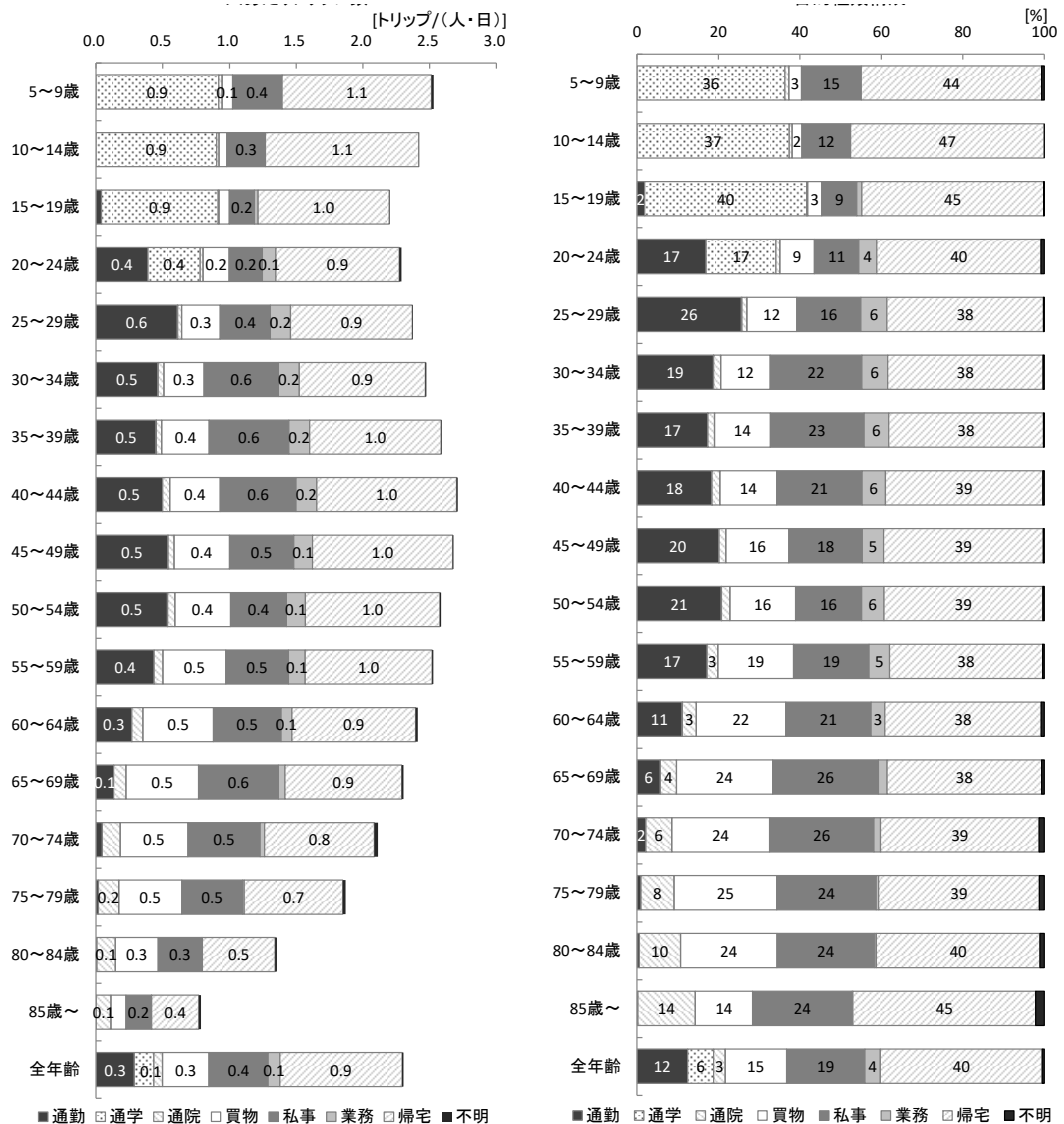


図 2-15 女性の年齢階層別目的種類別 1人あたりトリップ数、目的種類構成（平日）

- ・ 休日における女性の年齢階層別目的種類別 1人あたりトリップ数は、30～69歳の買物目的、5～14歳・30～44歳・55～59歳の私事目的で、全年齢における1人あたりトリップ数を上回る。
- ・ 休日における女性の年齢階層別目的種類構成では、30～34歳・40～84歳で買物目的、5～14歳・30～39歳・85歳以上で私事目的の構成比が、全年齢における構成比を上回る。

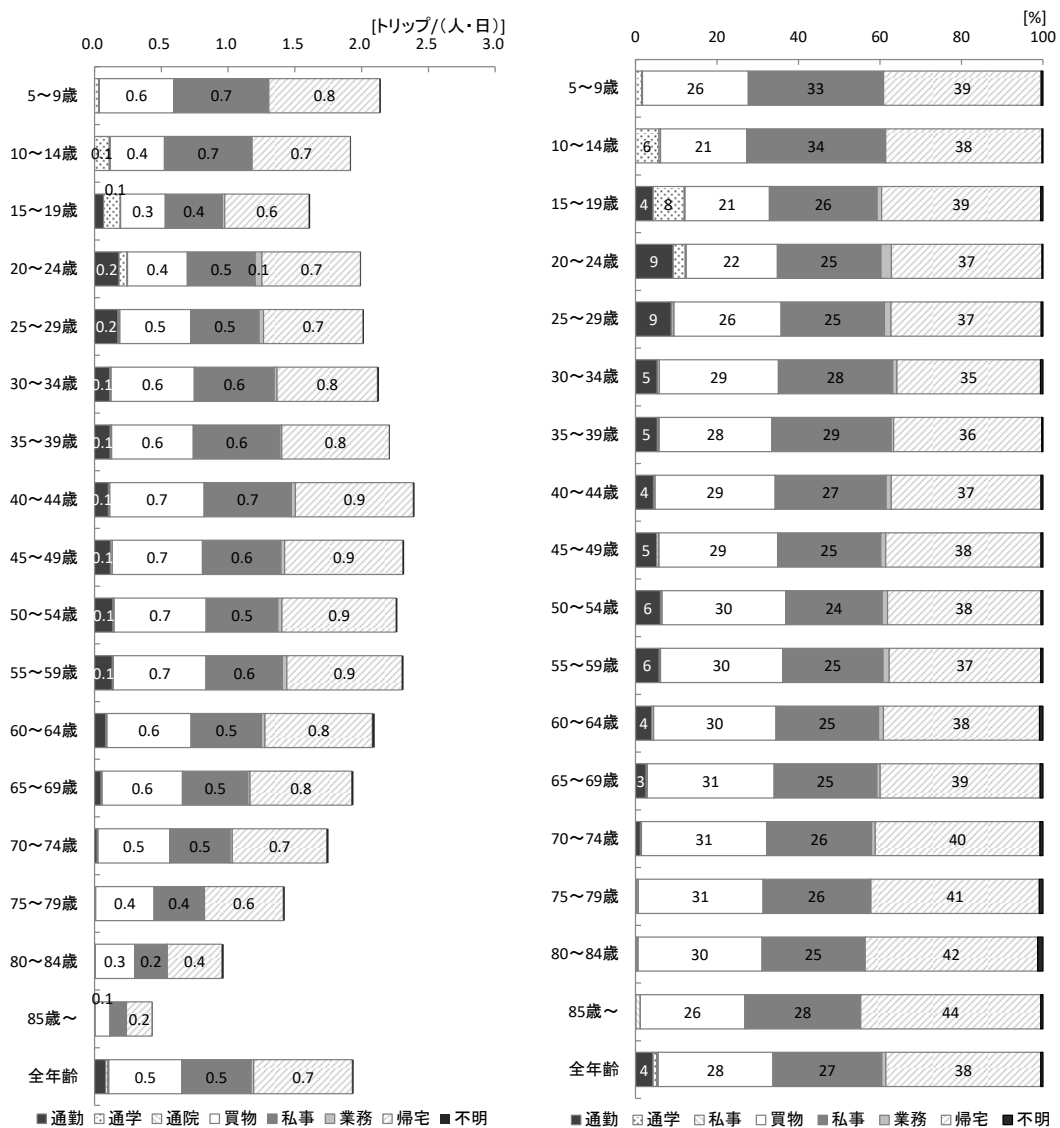


図 2-16 女性の年齢階層別目的種類別 1人あたりトリップ数、目的種類構成（休日）

- ・ 平日における年齢階層別目的種別 1人あたりトリップ数は、25～59歳の通勤目的、30～64歳の業務目的、60～84歳の買物目的、60～79歳の私事目的で、全年齢における1人あたりトリップ数を上回る。
- ・ 平日における年齢階層別目的種類構成では、25～64歳で通勤・業務目的、55歳以上で買物目的、60歳以上で私事目的の構成比が、全年齢における構成比を上回る。

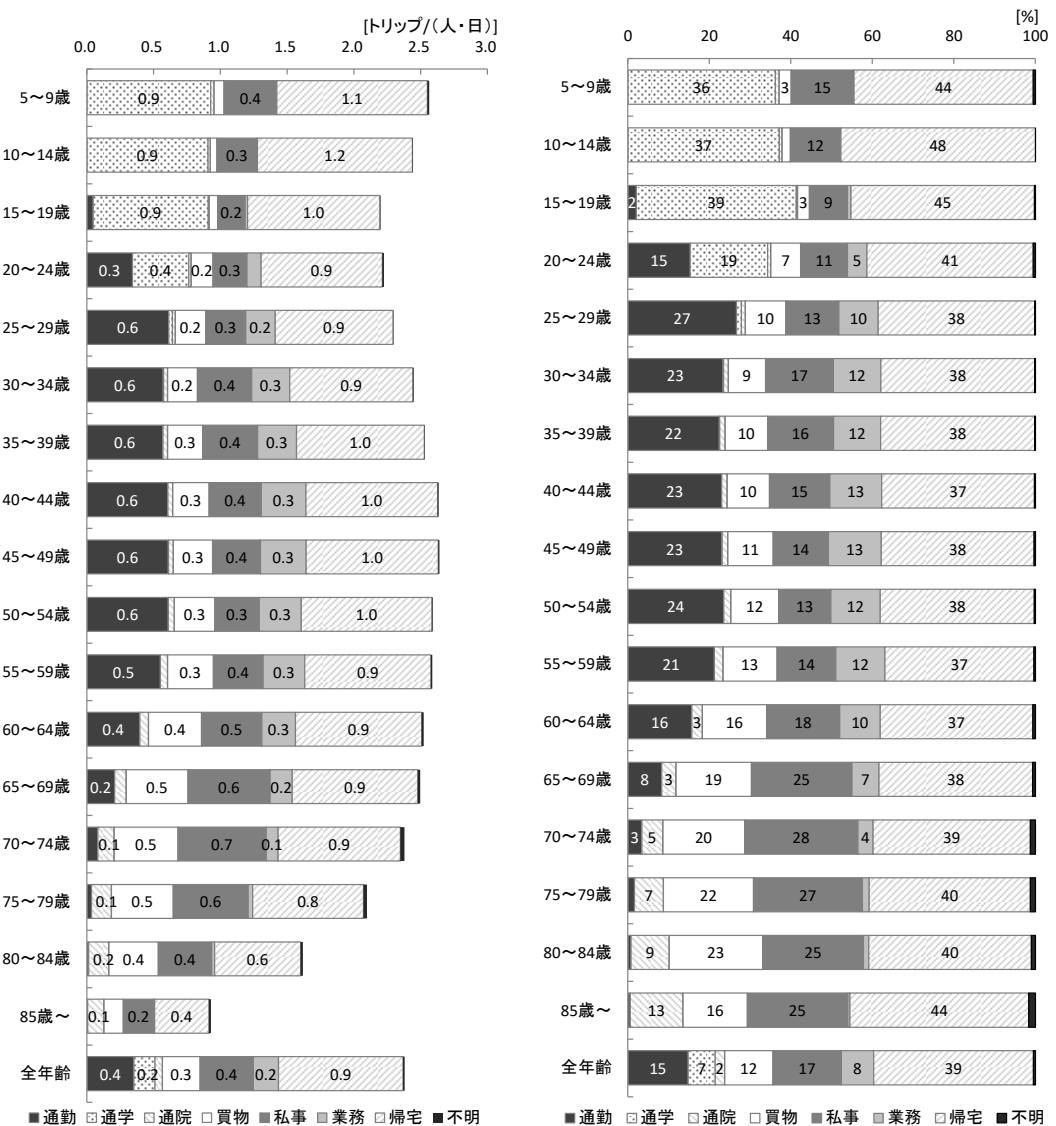


図 2-17 男女計の年齢階層別目的種別 1人あたりトリップ数、目的種類構成（平日）

- ・ 休日における年齢階層別目的種類別 1人あたりトリップ数は、5～9歳・35～69歳の買物目的、5～14歳・30～69歳の私事目的で、全年齢における1人あたりトリップ数を上回る。
- ・ 休日における年齢階層別目的種類構成では、40～44歳・50歳以上で買物目的、5～14歳・70～79歳・85歳以上で私事目的の構成比が、全年齢における構成比を上回る。

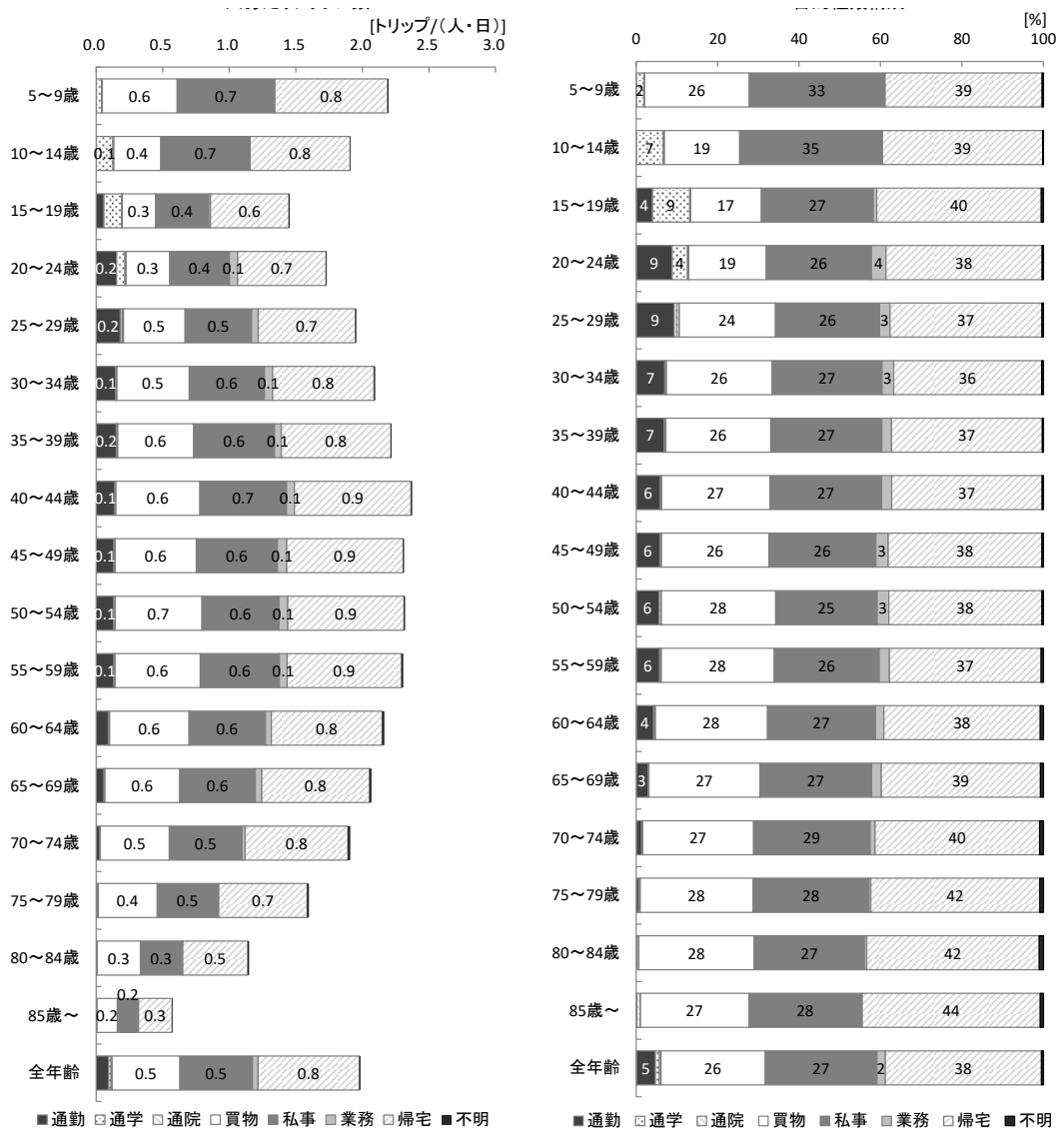


図 2-18 男女計の年齢階層別目的種類別 1人あたりトリップ数、目的種類構成（休日）

4) 性別年齢階層別代表交通手段別 1人あたりトリップ数、代表交通手段分担率

- ・ 平日における男性の年齢階層別代表交通手段別 1人あたりトリップ数は、15～24歳・45～59歳の鉄道利用、30～79歳の自動車（運転）利用、10～34歳の二輪車利用、5～14歳の徒歩利用で、全年齢における 1人あたりトリップ数を上回る。
- トリップの年齢階層別代表交通手段では、構成について、全年齢と各年齢階層を比較すると、15～39歳・45～59歳で鉄道分担率の利用割合、30～79歳で自動車（運転）分担率の利用割合、10～34歳・85歳以上で二輪車分担率の利用割合、5～14歳・75歳以上で徒歩分担率の利用割合が全年齢平均を上回る。

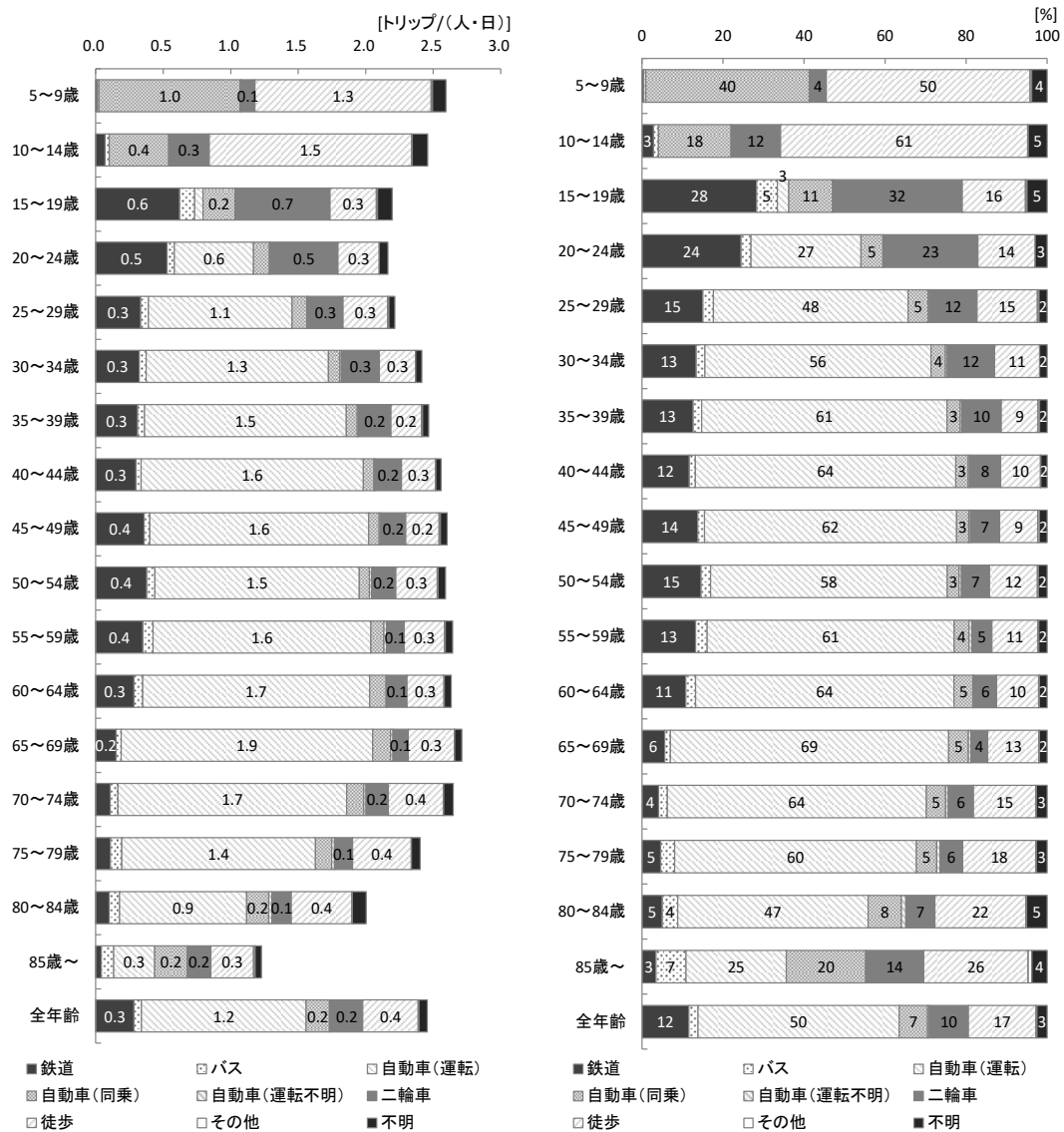


図 2-19 男性の年齢階層別代表交通手段別 1人あたりトリップ数、代表交通手段分担率 (平日)

- ・ 休日における男性の年齢階層別代表交通手段別 1 人あたりトリップ数は、30～74 歳の自動車（運転）、5～19 歳の自動車（同乗）、70～79 歳の徒歩で、全年齢における 1 人あたりトリップ数を上回る。
- ・ トリップの年齢階層別代表交通手段では、30～75 歳で自動車（運転）分担率、5～24 歳・85 歳以上で自動車（同乗）分担率、10～14 歳・20～29 歳・70 歳以上で徒歩分担率が全年齢平均を上回る。
- ・ 20 歳以上の全ての年代において、自動車（運転）分担率が自動車（同乗）分担率を上回っている。

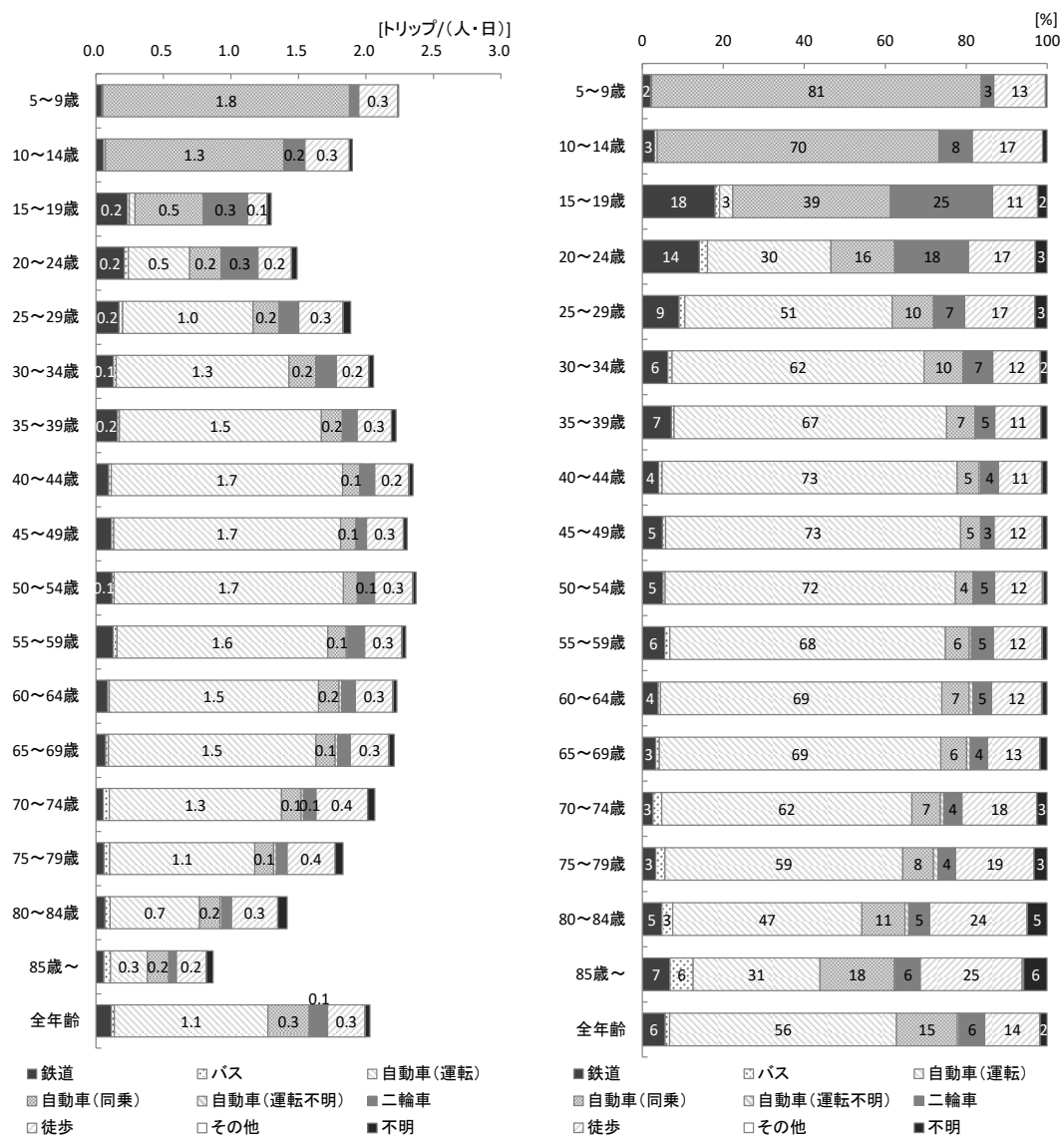


図 2-20 男性の年齢階層別代表交通手段別 1 人あたりトリップ数、代表交通手段分担率 (休日)

- ・ 平日の女性における代表交通手段別 1 人あたりトリップ数について、全年齢と各年齢階層を比較すると、15～34 歳の鉄道利用、30～69 歳の自動車（運転）利用、5～14 歳・60 歳以上の自動車（同乗）利用、5～14 歳の徒歩利用で全年齢平均を上回る。
- ・ トリップの年齢階層別代表交通手段では、15～34 歳で鉄道分担率、30～69 歳で自動車（運転）分担率、5～14 歳・60 歳以上で自動車（同乗）分担率、5～14 歳・70～84 歳で徒歩分担率が全年齢平均を上回る。

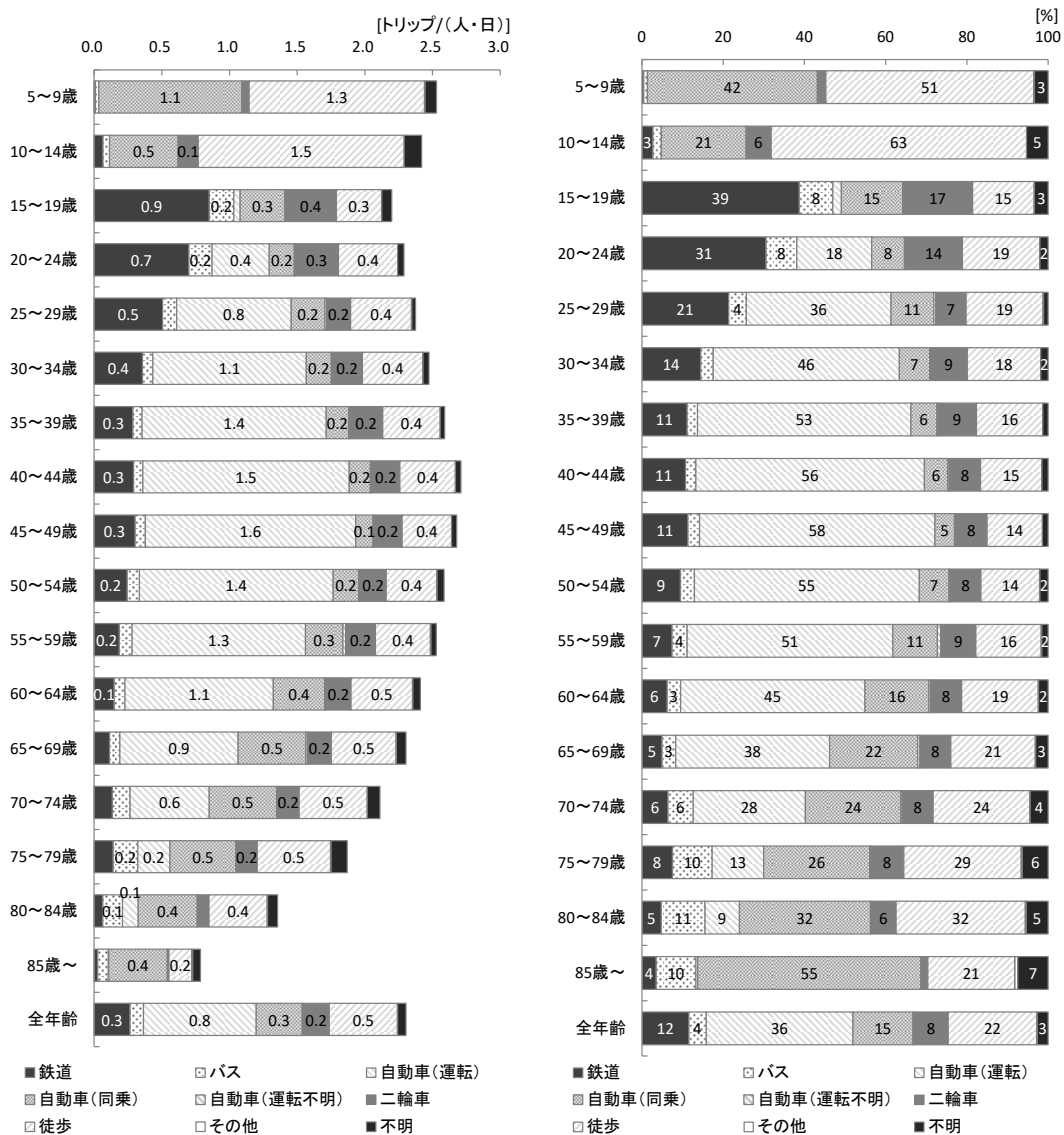


図 2-21 女性の年齢階層別代表交通手段別 1 人あたりトリップ数、代表交通手段分担率 (平日)

- ・ 休日の女性における代表交通手段別 1 人あたりトリップ数について、全年齢と各年齢階層を比較すると、30～64 歳の自動車（運転）利用、5～19 歳の自動車（同乗）利用、10～14 歳・25～29 歳・65～79 歳の徒歩利用で全年齢平均を上回る。
- ・ トリップの年齢階層別代表交通手段では、30～69 歳で自動車（運転）分担率、5～19 歳・85 歳以上で自動車（同乗）分担率、10～14 歳・20～29 歳・65 歳以上で徒歩分担率が全年齢平均を上回る。

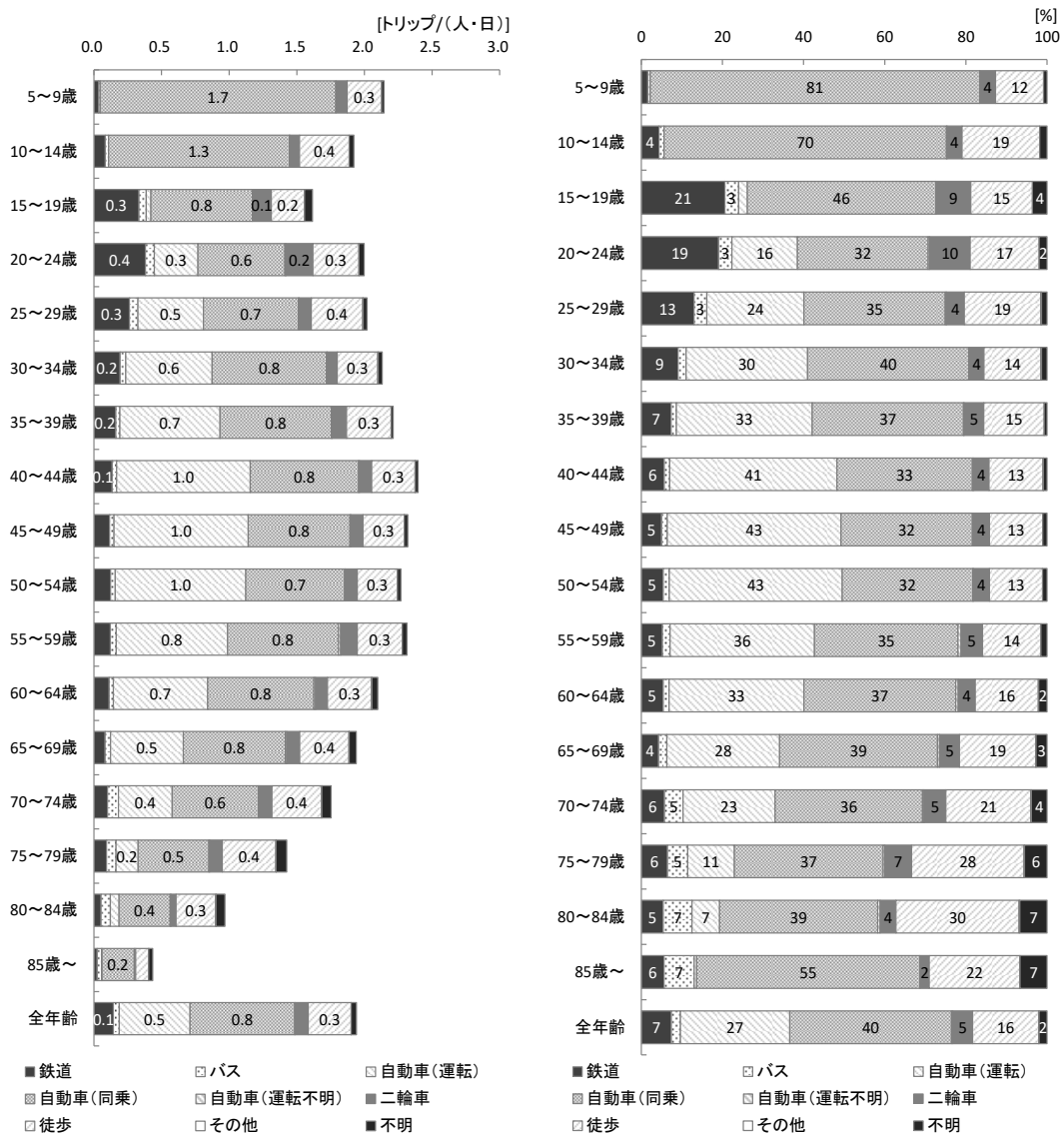


図 2-22 女性の年齢階層別代表交通手段別 1 人あたりトリップ数、代表交通手段分担率 (休日)

- ・ 平日の男女計における代表交通手段別 1 人あたりトリップ数について、全年齢と各年齢階層を比較すると、15～29 歳の鉄道利用、30～74 歳の自動車（運転）利用、5～14 歳・85 歳以上の自動車（同乗）利用、5～14 歳の徒歩利用で、全年齢平均を上回る。
- ・ トリップの年齢階層別代表交通手段では、15～29 歳・45～49 歳で鉄道分担率、30～74 歳で自動車（運転）分担率、5～14 歳・65 歳以上で自動車（同乗）分担率、5～14 歳・75 歳以上で徒歩分担率が全年齢平均を上回る。

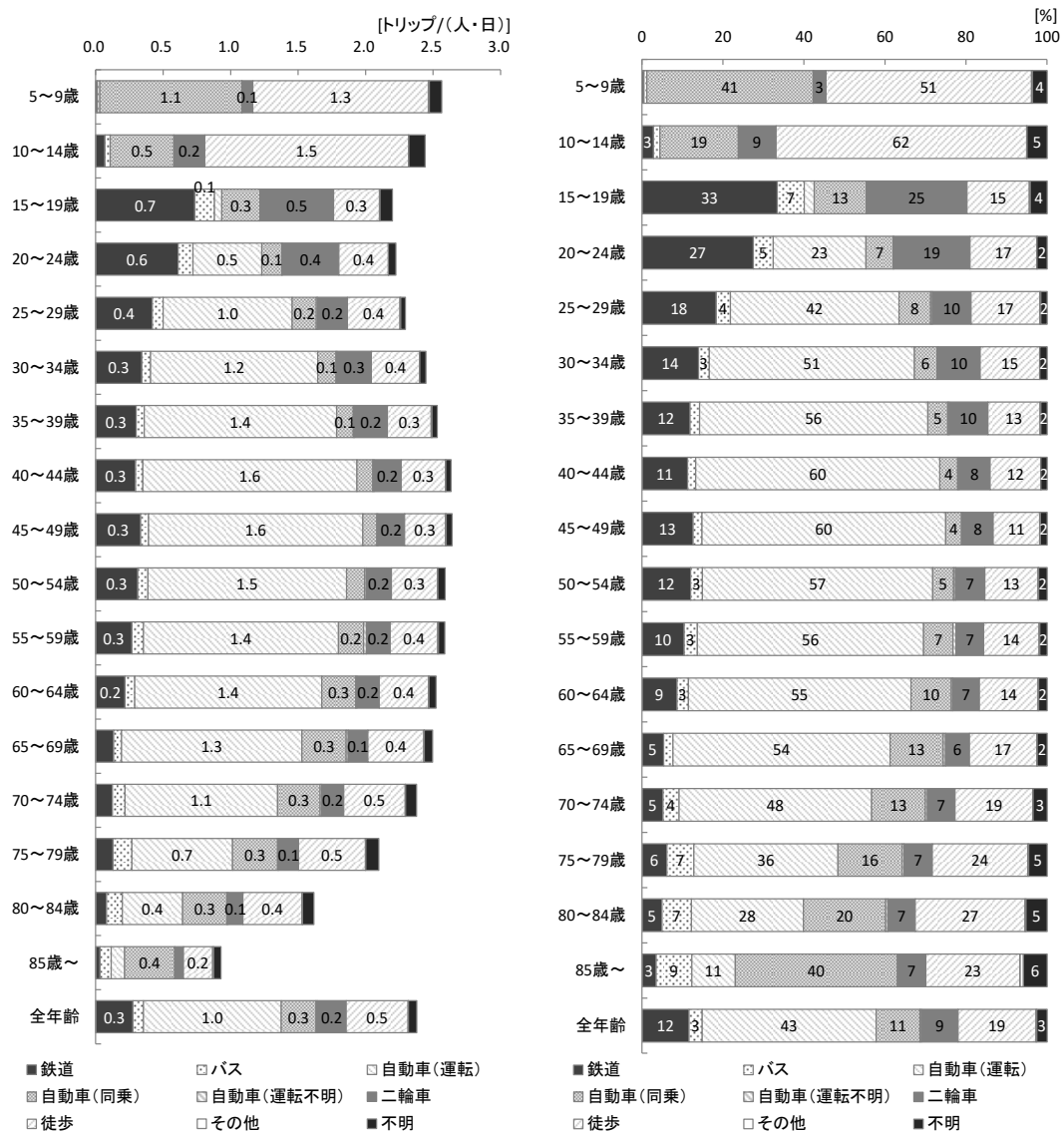


図 2-23 男女計の年齢階層別代表交通手段別 1 人あたりトリップ数、代表交通手段分担率 (平日)

- ・ 休日の男女計における代表交通手段別 1 人あたりトリップ数について、全年齢と各年齢階層を比較すると、30～69 歳の自動車（運転）利用、5～19 歳の自動車（同乗）利用、25～29 歳・70～79 歳の徒歩利用で全年齢平均を上回る。
- ・ トリップの年齢階層別代表交通手段では、30～74 歳で自動車（運転）分担率、5～19 歳・85 歳以上で自動車（同乗）分担率、10～14 歳・20～29 歳・65 歳以上で徒歩の利用分担率が全年齢平均を上回る。

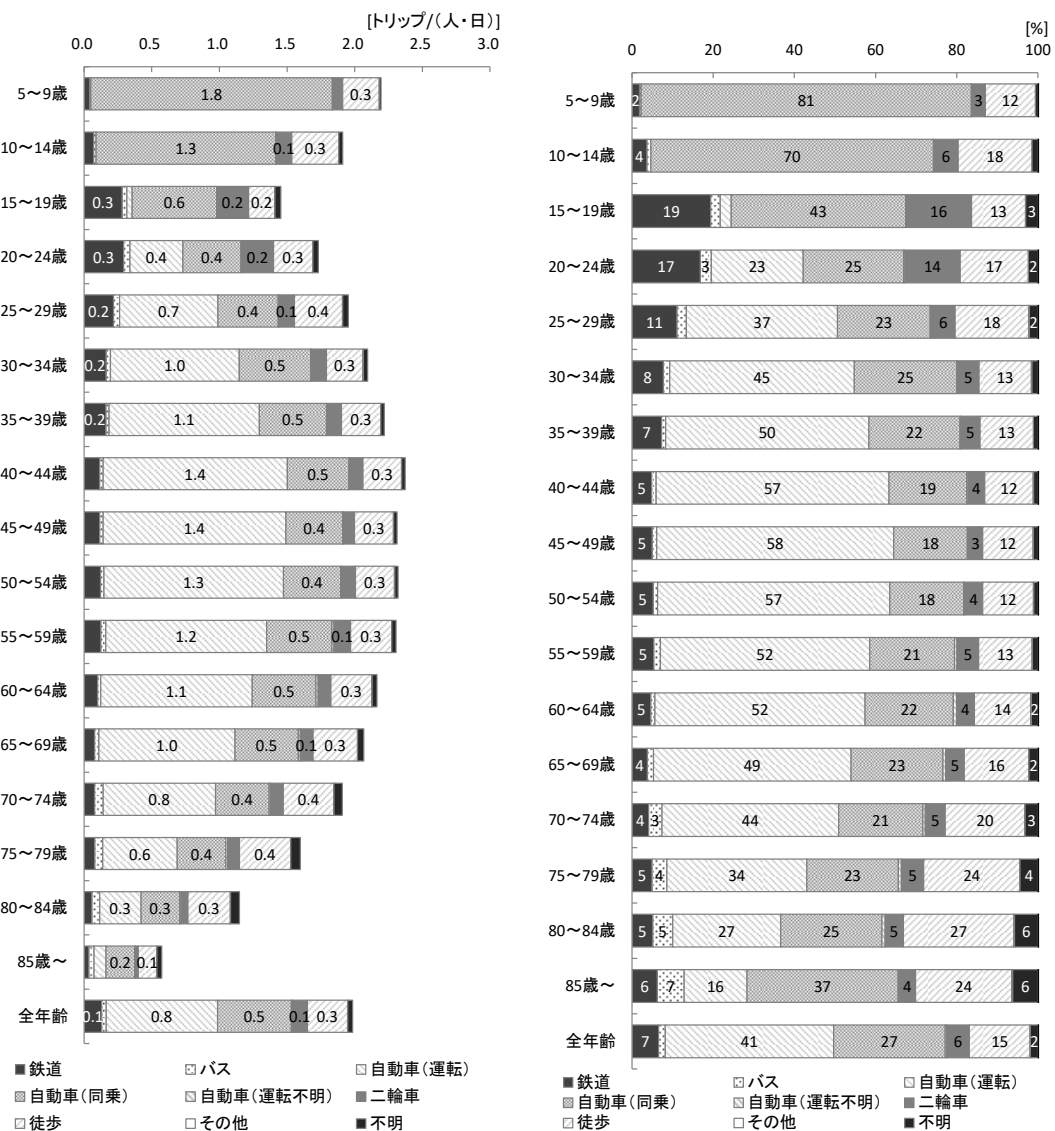


図 2-24 男女計の年齢階層別代表交通手段別 1 人あたりトリップ数、代表交通手段分担率 (休日)

(2) 世代別にみた交通特性

1) 世代別外出率、1人あたりトリップ数

- ・ 平日における外出率は、学生・生徒・児童、就業者で9割を超えており、高齢者（有職）で9割弱となっている。また、その他・不明を除いて最も外出率が低い高齢者（無職）の外出率は、約6割である。
- ・ 1人あたりトリップ数は、高齢者（有職）で2.72トリップ/人・日と最も多い。

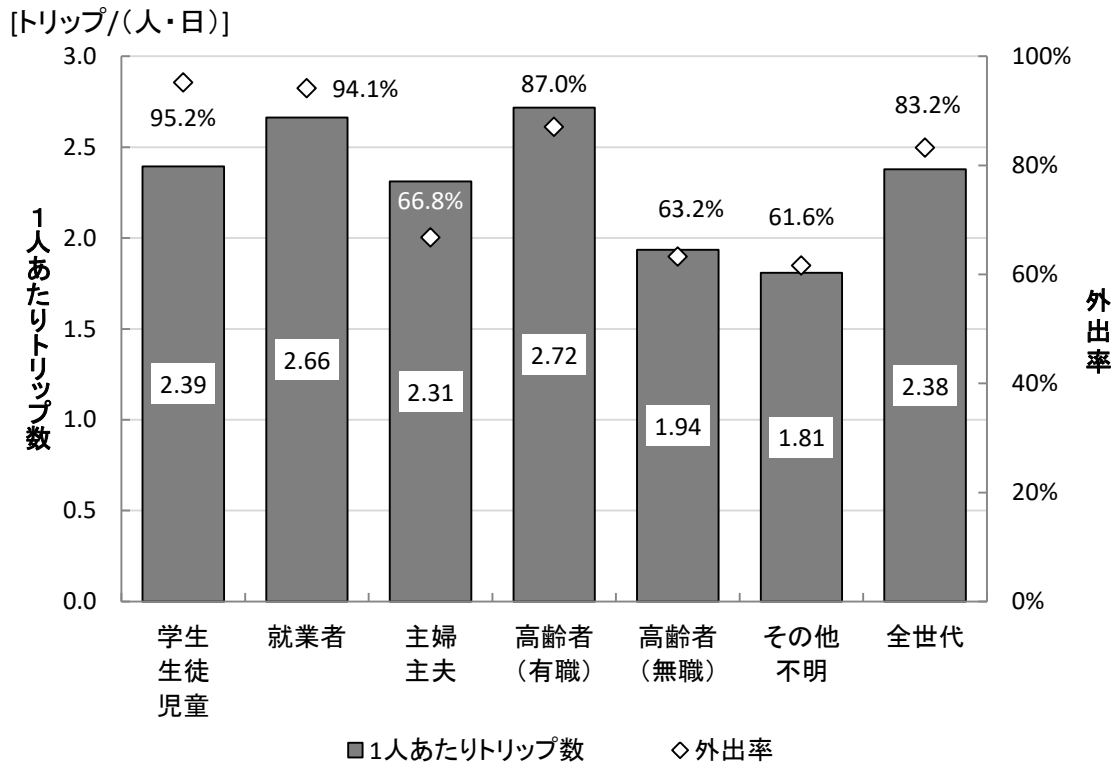


図 2-25 世代別 1人あたりトリップ数、外出率（平日）

- ・ 休日における外出率は、就業者、主婦・主夫、高齢者（有職）で7割前後である。一方、平日では9割を超えていた学生・生徒・児童の休日の外出率は、約6割となっている。

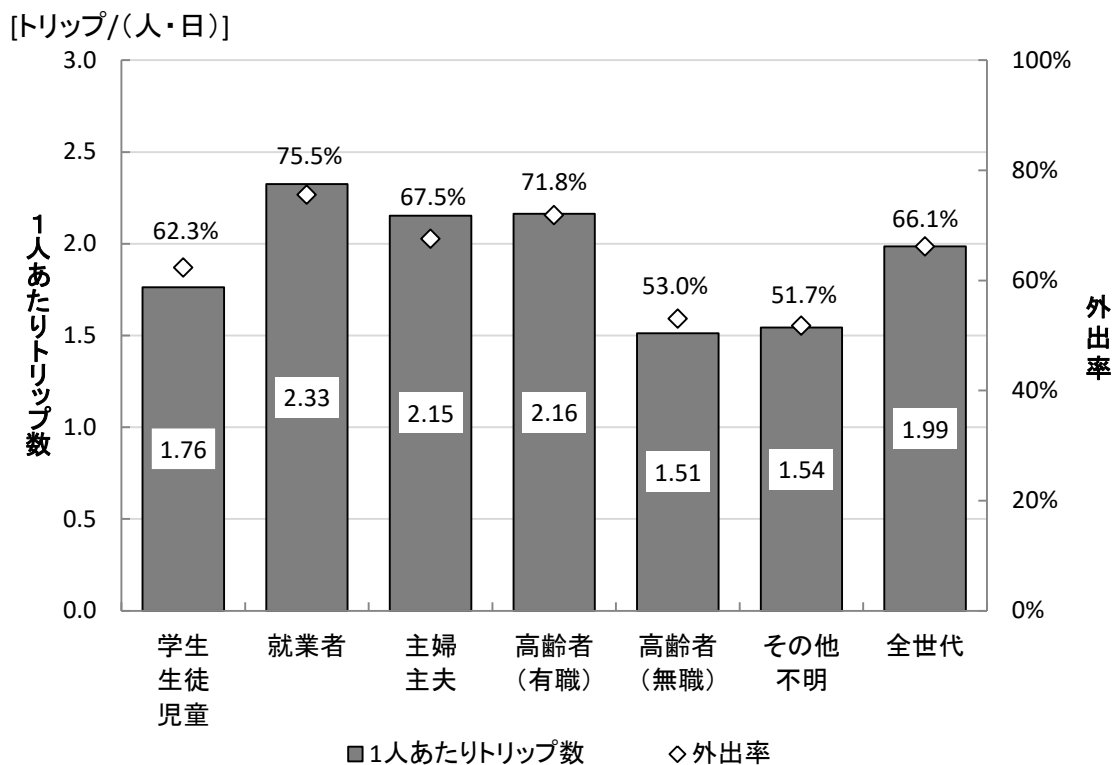


図 2-26 世代別 1 人あたりトリップ数、外出率（休日）

表 2-8 世代の定義

学生・生徒・児童	小学校、中学校、高校、高等専門学校、大学、短大、専修学校に通学している人
就業者	65歳未満で職業に従事している人
主婦・主夫	65歳未満でもっぱら家事に従事している人
高齢者（有職）	65歳以上で職業に従事している人
高齢者（無職）	65歳以上で職業に従事していない人
その他・不明	上記以外、もしくは不明

2) 世代別目的種別 1人あたりトリップ数、目的種類構成

- ・ 平日における世代別目的種別 1人あたりトリップ数は、就業者・高齢者（有職）の通勤・業務目的、主婦・主夫・高齢者（無職）の買物・私事目的で、全世代における 1人あたりトリップ数を上回る。
- ・ 平日における世代別目的種類構成では、就業者・高齢者（有職）で通勤・業務目的の構成比、主婦・主夫・高齢者（無職）で買物・私事目的の構成比が、全世代における構成比を上回る。

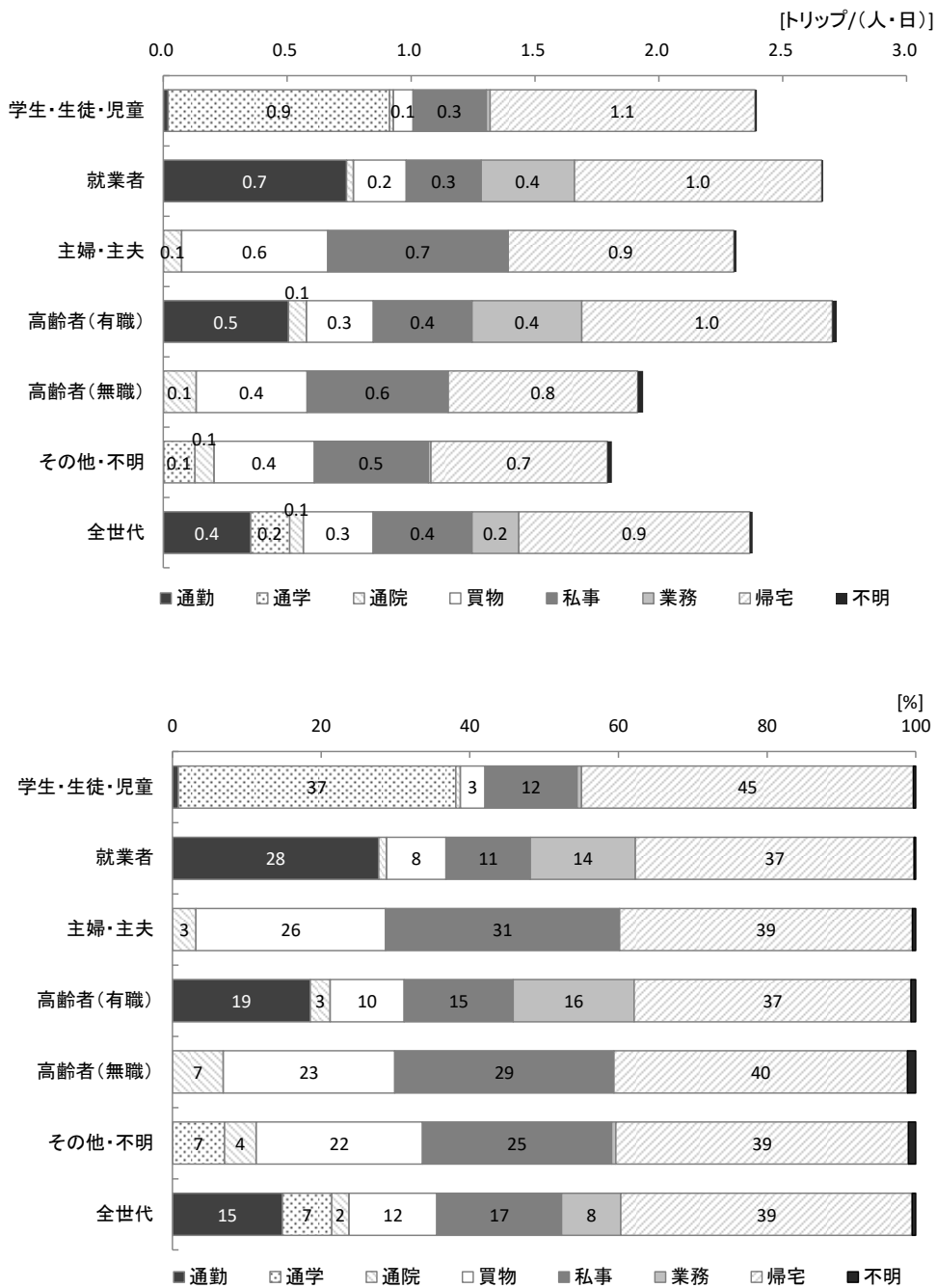


図 2-27 平日の世代別目的種別 1人あたりトリップ数（上）、目的種類構成（下）

- ・ 休日における世代別目的種類別 1 人あたりトリップ数は、就業者と主婦・主夫の買物・私事目的で、全世代における 1 人あたりトリップ数を上回る。
- ・ 休日における世代別目的種類構成では、就業者と主婦・主夫と高齢者（無職）で買物目的、学生・生徒・児童と就業者・主婦・主夫と高齢者（無職）で私事目的の構成比が、全世代における構成比を上回る。

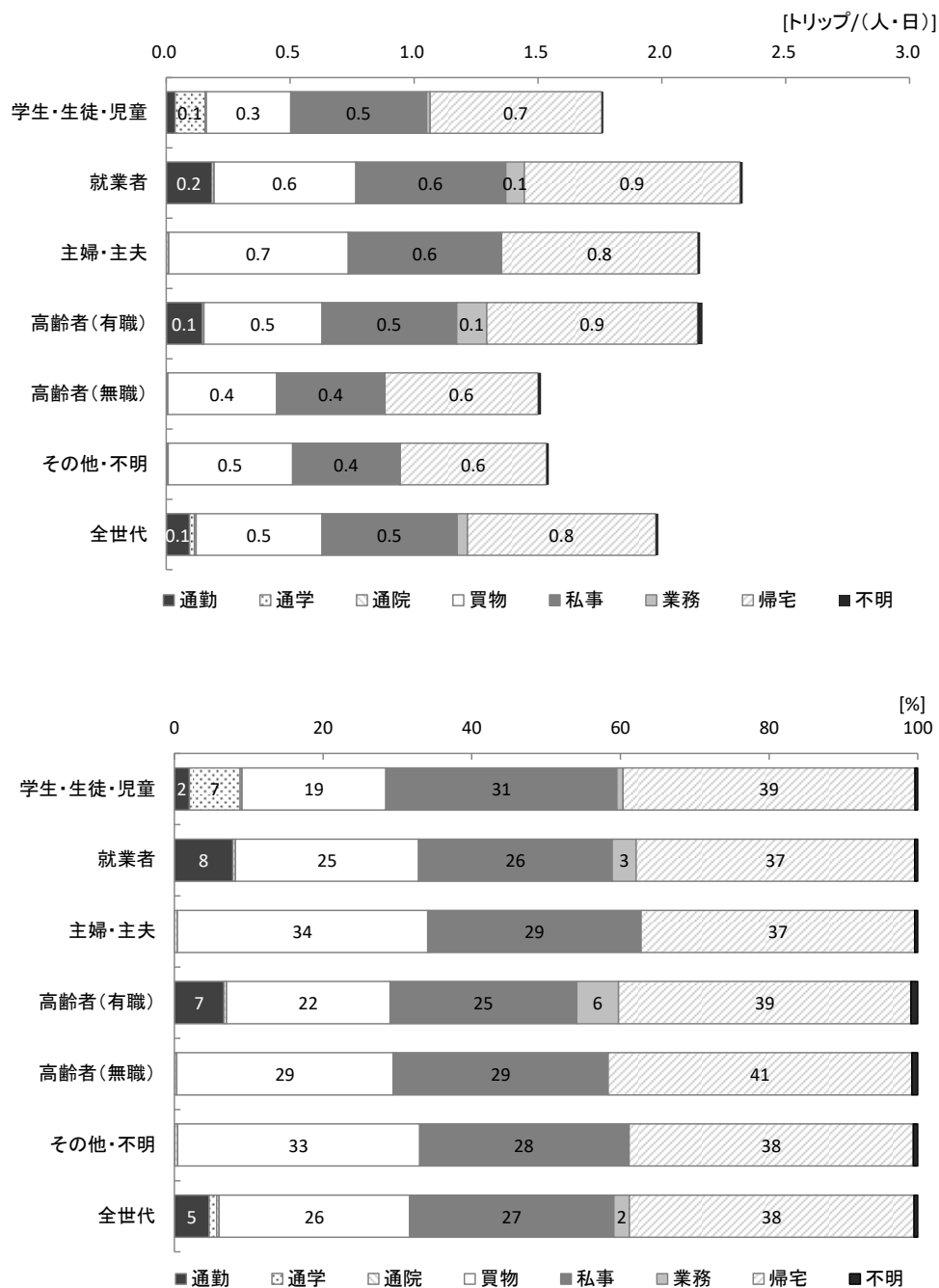


図 2-28 休日の世代別目的種類別 1 人あたりトリップ数（上）、目的種類構成（下）

3) 世代別交通手段別トリップ数、代表交通手段分担率

- 平日における世代別代表交通手段別 1 人あたりトリップ数は、学生・生徒・児童と就業者の鉄道利用、就業者と主婦・主夫と高齢者（有職）の自動車（運転）利用、学生・生徒・児童と高齢者（無職）の自動車（同乗）利用、学生・生徒・児童の徒歩利用で、全世代における 1 人あたりトリップ数を上回る。
- 平日における世代別代表交通手段では、学生・生徒・児童と就業者で鉄道分担率、就業者と主婦・主夫と高齢者（有職）で自動車（運転）分担率、学生・生徒・児童と主婦・主夫と高齢者（無職）で自動車（同乗）と徒歩の分担率が、全年齢における分担率を上回る。

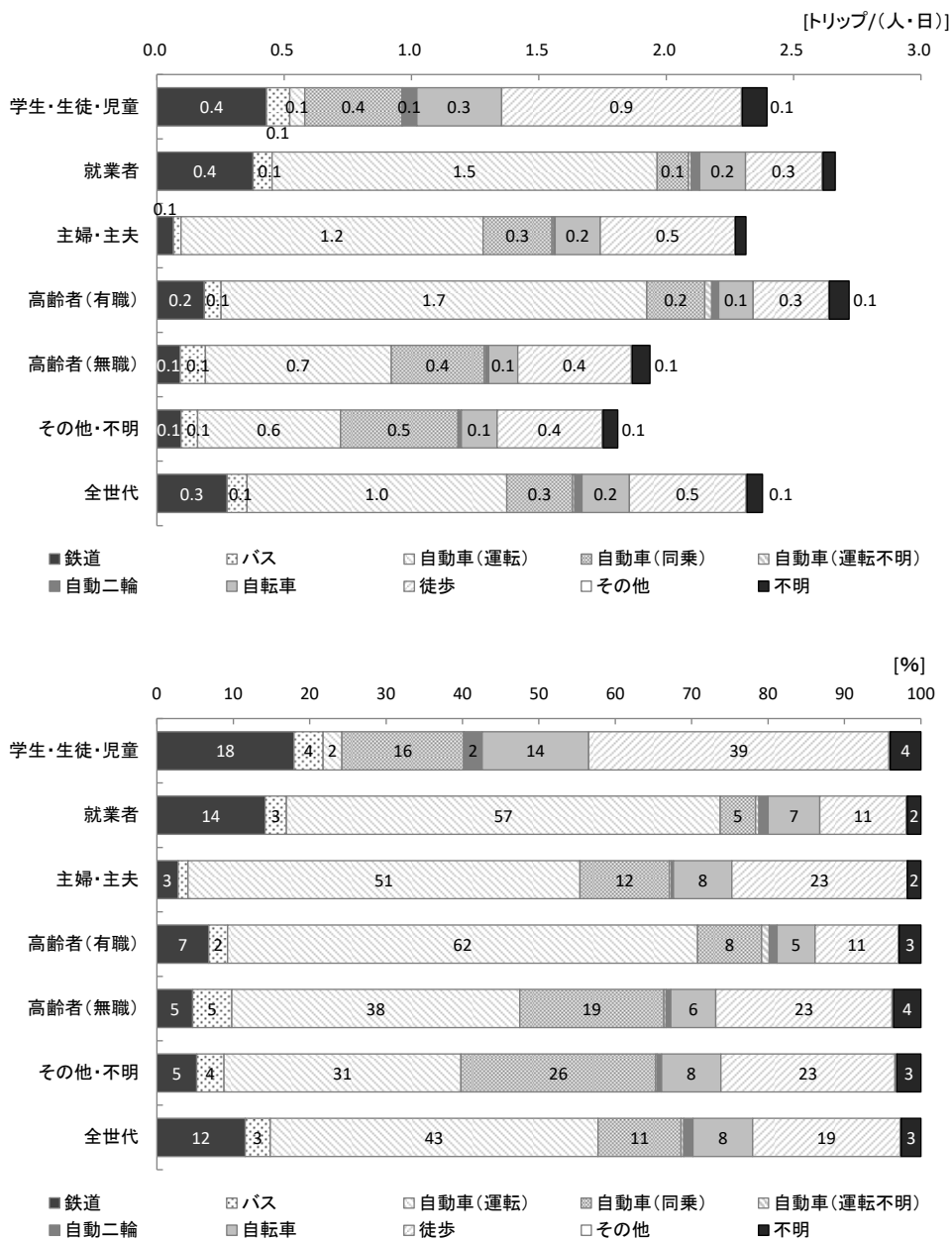


図 2-29 平日の世代別代表交通手段別 1 人あたりトリップ数（上）、代表交通手段分担率（下）

- ・ 休日における世代別代表交通手段別 1 人あたりトリップ数は、就業者と高齢者(有職)の自動車(運転)利用、学生・生徒・児童と主婦・主夫の自動車(同乗)利用で、全世代における 1 人あたりトリップ数を上回る。
- ・ 休日における世代別代表交通手段では、就業者と高齢者(有職)で自動車(運転)分担率、学生・生徒・児童と主婦・主夫で自動車(同乗)分担率、学生・生徒・児童と高齢者(無職)で徒歩分担率が、全年齢における分担率を上回る。

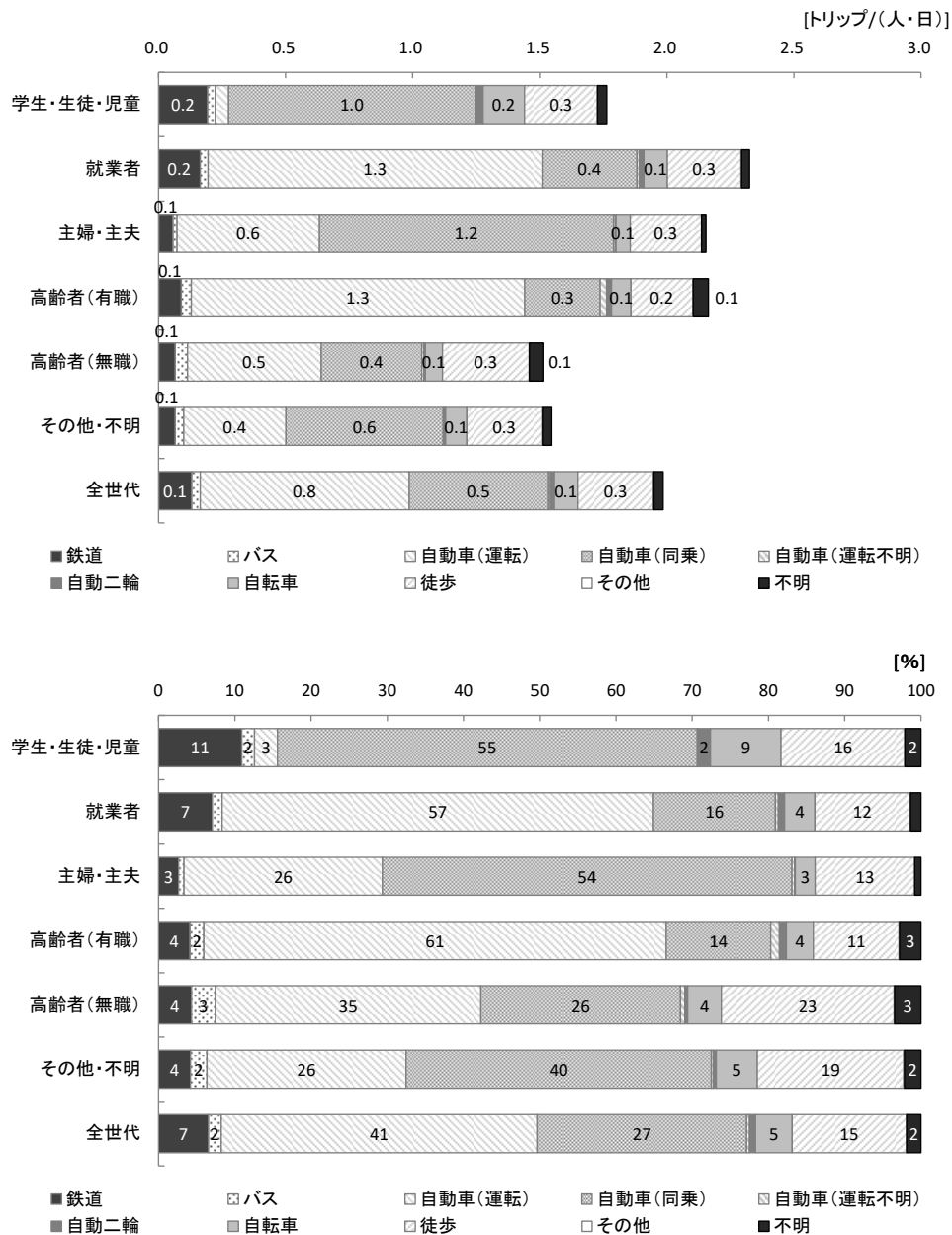


図 2-30 休日の世代別代表交通手段別 1 人あたりトリップ数(上)、代表交通手段分担率(下)

(3) 自動車運転免許有無別にみた交通特性

1) 自動車運転免許有無別外出率

- ・ 自動車運転免許保有者の外出率は、平日・休日、性別によらず、自動車運転免許非保有者より 20 ポイント以上高い。
- ・ 休日の外出率は、性別・自動車運転免許保有の有無によらず、全ての属性で平日を下回る。

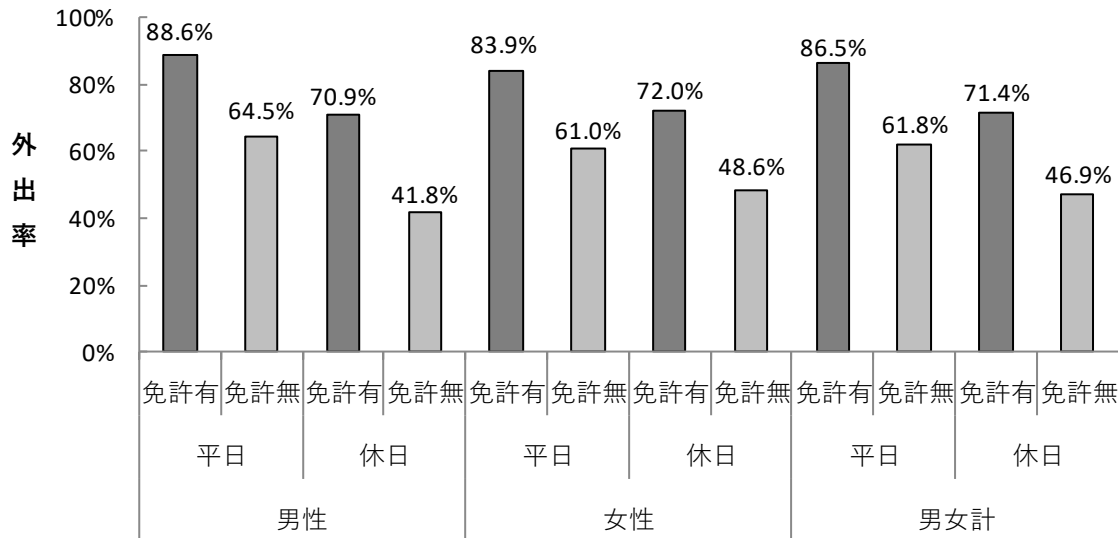
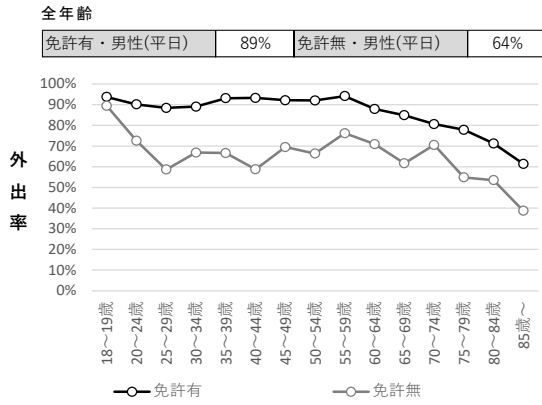


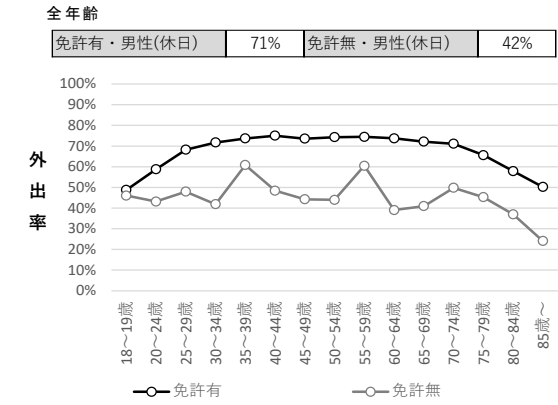
図 2-31 性別自動車運転免許有無別外出率

- ・ 年齢階層別の外出率は、いずれの年代においても自動車運転免許非保有者より自動車運転免許保有者の方が高い傾向が見られる。

男性（平日）

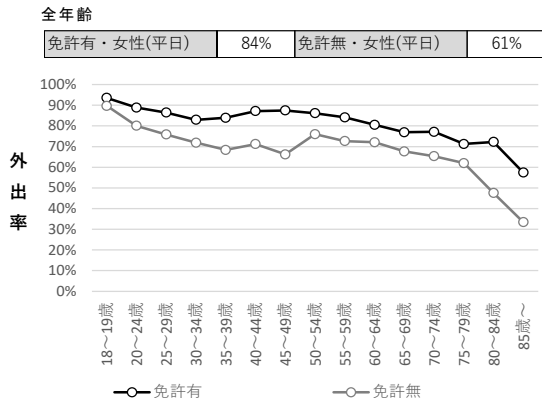


男性（休日）

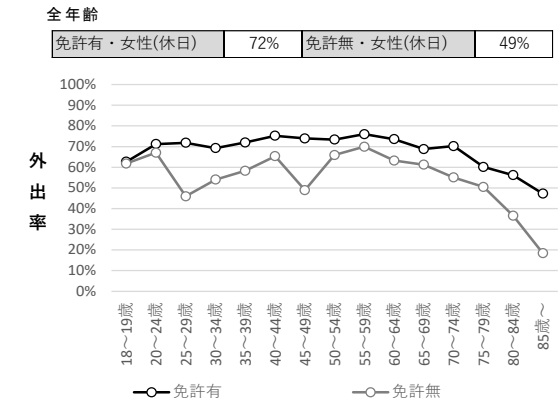


※平日の免許無の25～75歳、休日の18～19歳と85歳以上、免許無の25歳以上は精度保証以下のトリップ数のため参考値。

女性（平日）

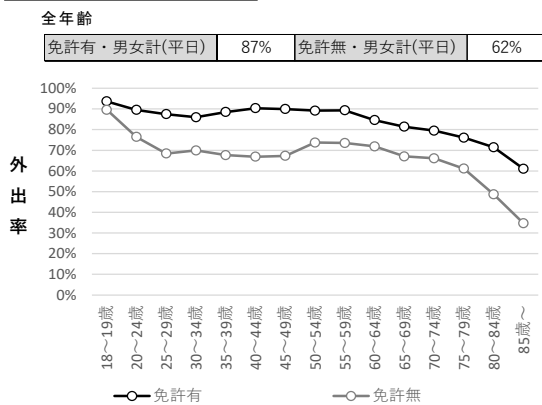


女性（休日）

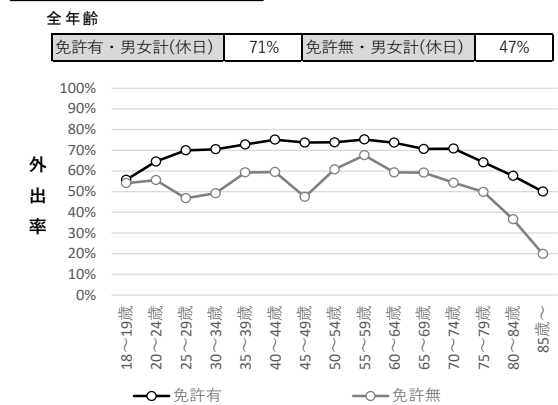


※平日の免許有の80歳以上、免許無の35～49歳、休日の免許有の80歳以上、免許無の25～49歳は精度保証以下のトリップ数のため参考値。

男女計（平日）



男女計（休日）



※休日の免許有の85歳以上、免許無の45～49歳は精度保証以下のトリップ数のため参考値。

図 2-32 性別年齢階層別自動車運転免許有無別外出率

2) 自動車運転免許有無別 1人あたりトリップ数

- ・ 自動車運転免許保有者の1人あたりトリップ数は、平日・休日、性別によらず、自動車運転免許非保有者より多い。
- ・ 休日の1人あたりトリップ数は、性別・自動車運転免許保有の有無によらず、全ての属性で平日を下回る。

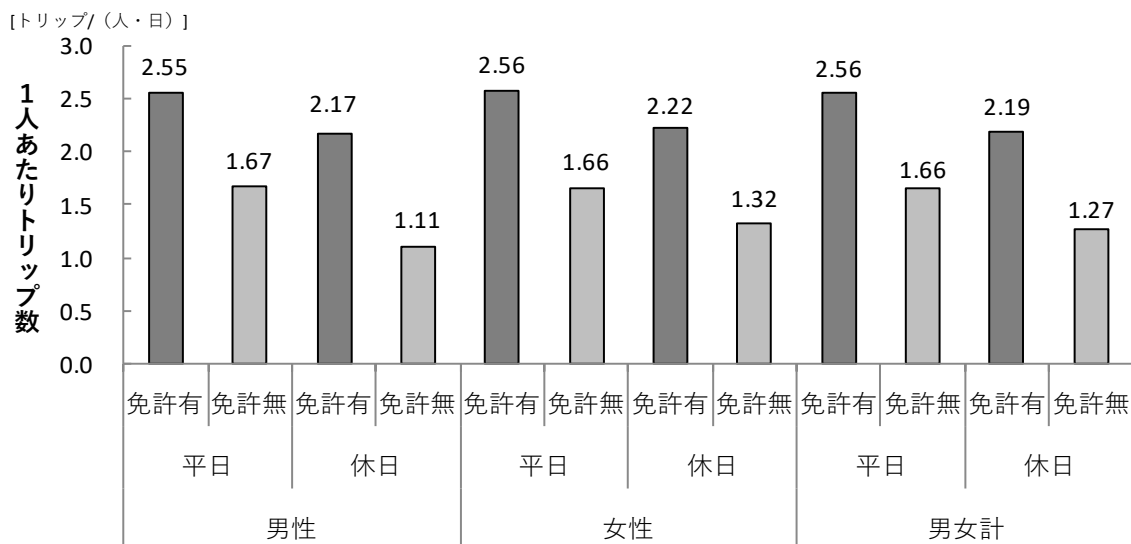
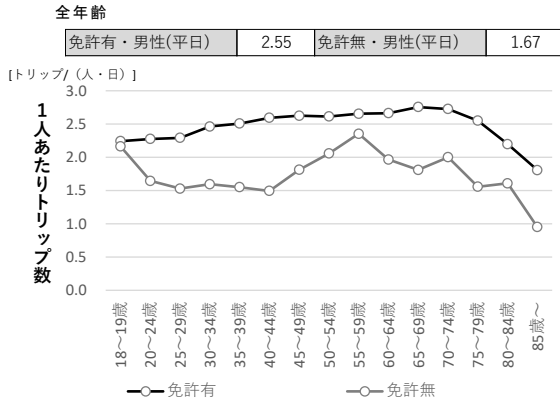


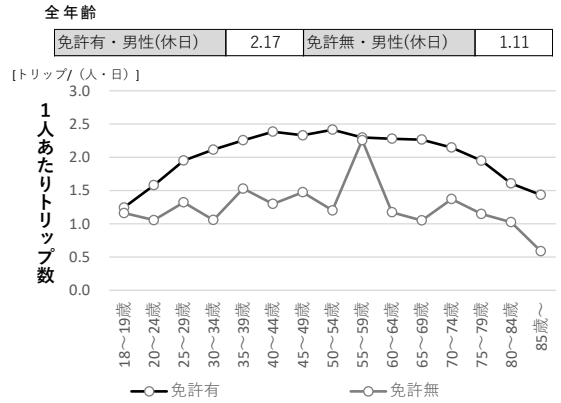
図 2-33 性別自動車運転免許有無別 1人あたりトリップ数

自動車運転免許保有者の1人あたりトリップ数は、平日・休日、性別、年代によらず、自動車運転免許非保有者の1人あたりトリップ数よりも多い。

男性（平日）

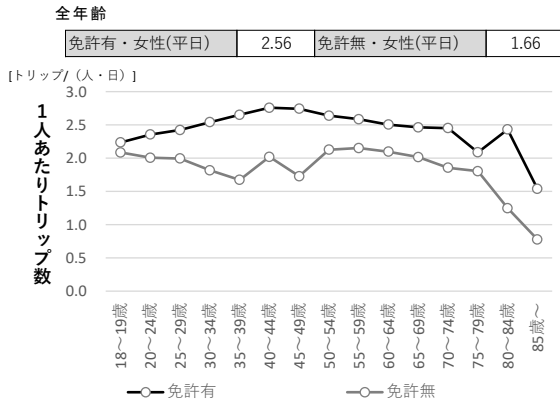


男性（休日）

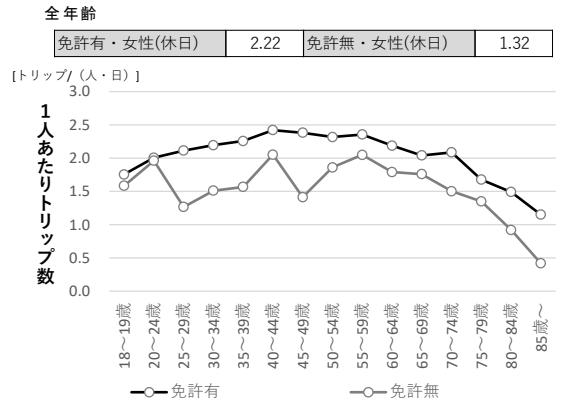


※休日の免許無の40~54歳は精度保証以下のトリップ数のため参考値。

女性（平日）

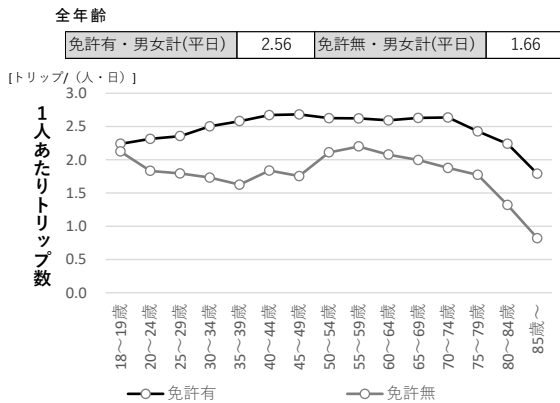


女性（休日）



※平日・休日の免許有の85歳以上は精度保証以下のトリップ数のため参考値。

男女計（平日）



男女計（休日）

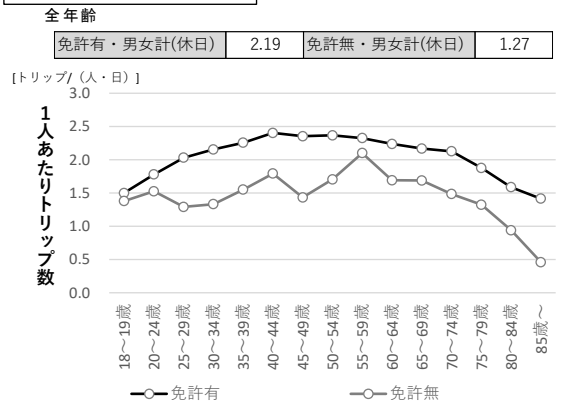


図 2-34 性別年齢階層別自動車運転免許有無別1人あたりトリップ数

3) 自動車運転免許有無別目的種類別トリップ数、目的種類構成

- ・ 平日における目的種類別 1 人あたりトリップ数を男女で比較すると、自動車運転免許有無によらず、通勤目的で男性が女性を上回る。
- ・ 休日における目的種類別 1 人あたりトリップ数を男女で比較すると、自動車運転免許有無によらず、買物目的で女性が男性を上回る。
- ・ 平日における目的種類別 1 人あたりトリップ数を自動車運転免許の有無で比較すると、性別によらず、通勤・私事目的で免許有が免許無を上回る。
- ・ 休日における目的種類別 1 人あたりトリップ数を自動車運転免許の有無で比較すると、性別によらず、買物・私事目的で免許有が免許無を上回る。

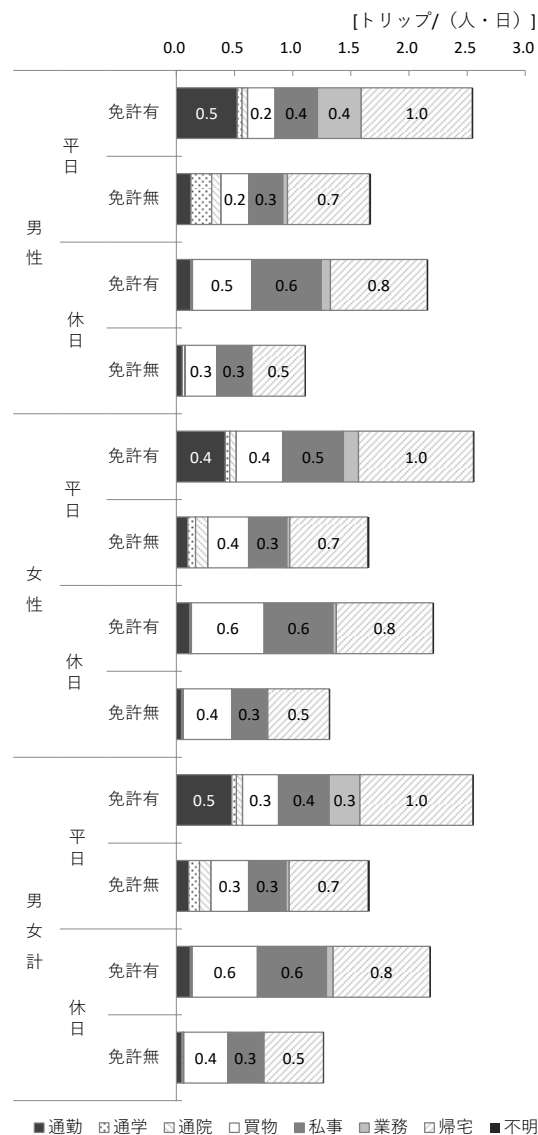


図 2-35 性別自動車運転免許有無別目的種類別 1 人あたりトリップ数 (18 歳以上)

- ・ 平日における目的種類構成においては、自動車運転免許有無によらず、通勤目的の割合は男性が女性を上回り、買物・私事目的の割合は女性が男性を上回る。
- ・ 休日における目的種類構成においては、自動車運転免許有無によらず、買物目的の割合は女性が男性を上回り、私事目的の割合は男性が女性を上回る。
- ・ 平日における目的種類構成においては、性別によらず、通勤目的の割合は免許有が免許無を上回り、買物目的の割合は免許無が免許有を上回る。
- ・ 休日における目的種類構成比においては、性別によらず、私事目的の割合は免許有が免許無を上回る。

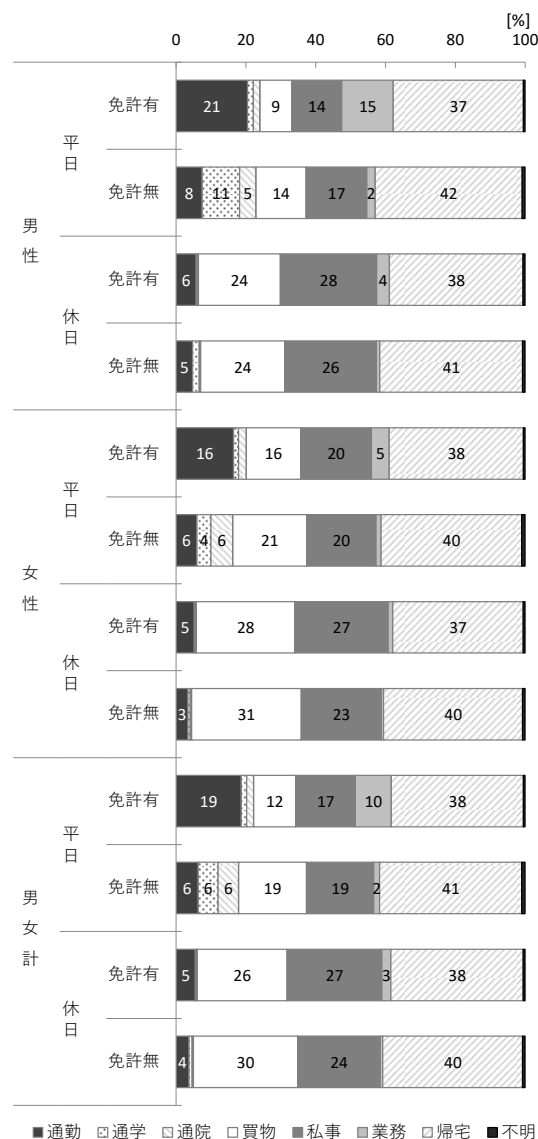


図 2-36 性別自動車運転免許有無別目的種類構成（18歳以上）

4) 自動車運転免許有無別代表交通手段別トリップ数、代表交通手段分担率

- 自動車運転免許有無別の代表交通手段別 1 人あたりトリップ数を免許の有無で比較すると、平日・休日ともに、性別によらず、免許有より免許無の方が 1 人あたり自動車トリップ数が少ない。

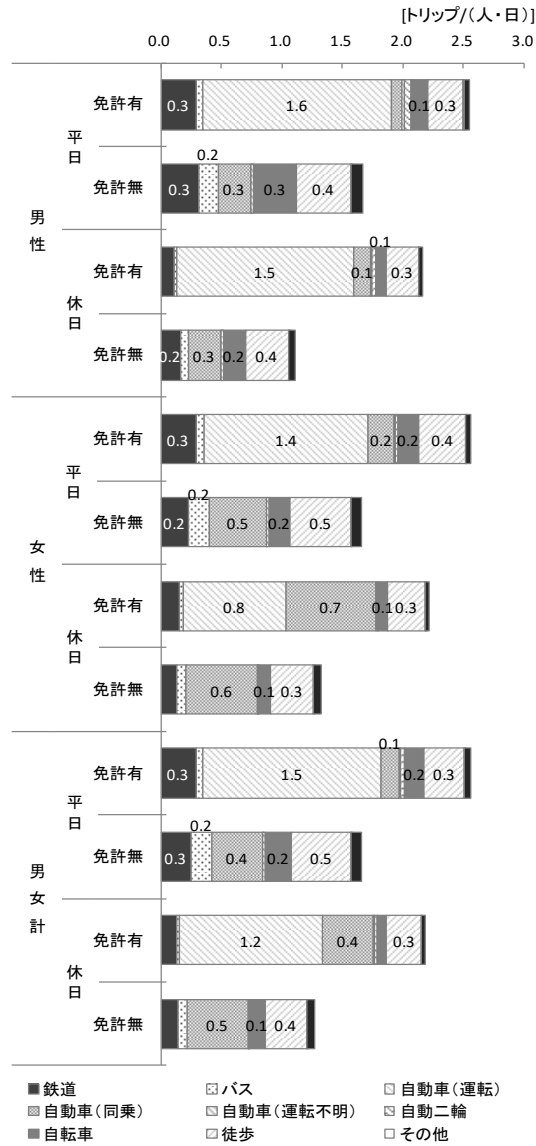


図 2-37 性別自動車運転免許有無別代表交通手段別 1 人あたりトリップ数 (18 歳以上)

- 自動車運転免許有無別の代表交通手段を免許の有無で比較すると、平日・休日ともに、性別によらず、免許無より免許有の方が自動車分担率が高く、免許有より免許無の方が鉄道・バス・自転車・徒歩の分担率が高い。

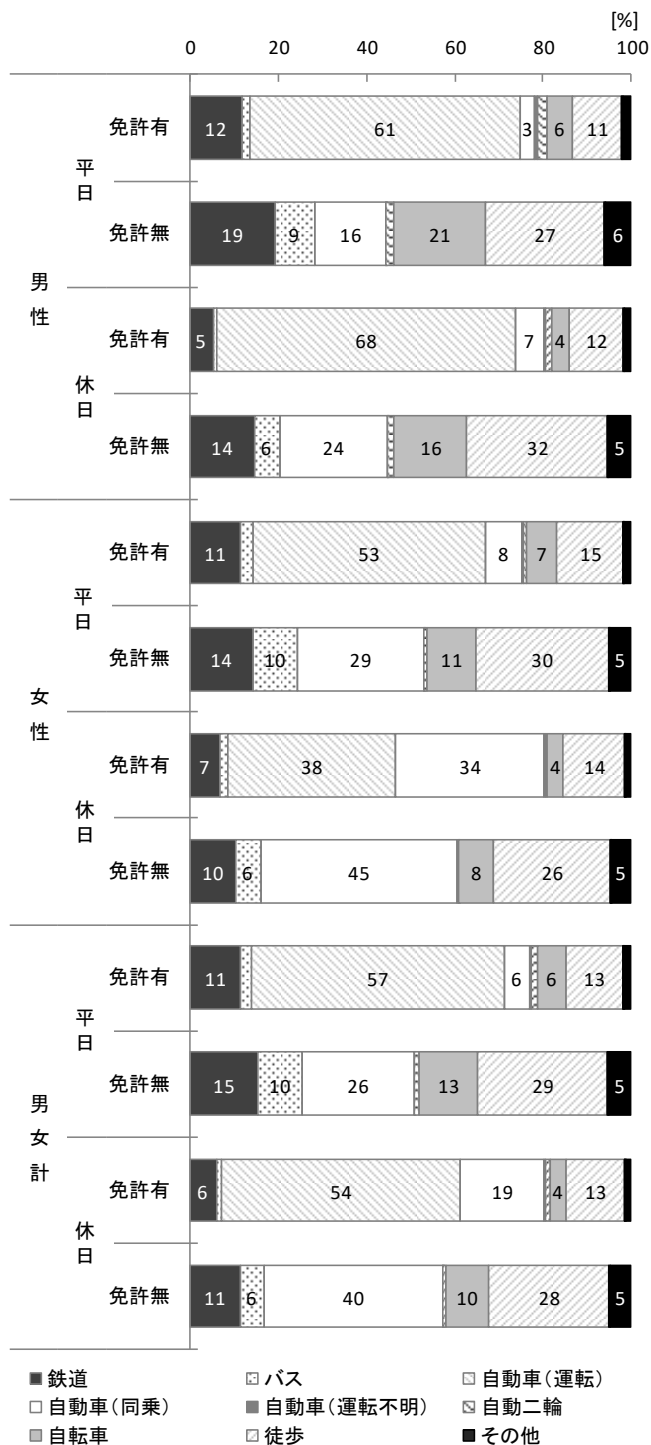


図 2-38 性別自動車運転免許有無別代表交通手段分担率（18歳以上）

(4) 自動車保有の特性

- ・ 自動車を1台のみ保有している世帯の割合は、都市圏全体の約5割、複数台所有している世帯の割合は、都市圏全体の約3割を占めている。
- ・ 都市圏における1世帯あたりの自動車平均保有台数は約1.3台で、都市圏の外縁部になるほど保有台数が多い。

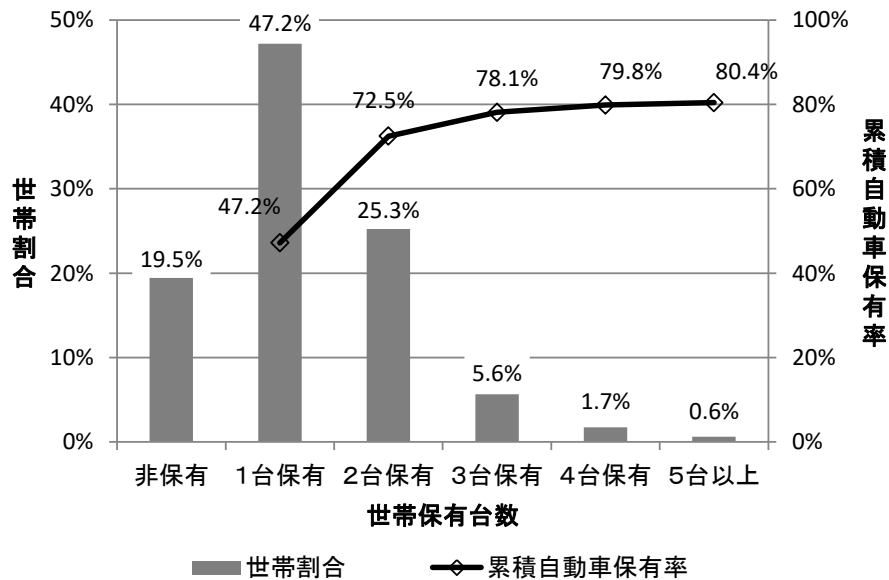
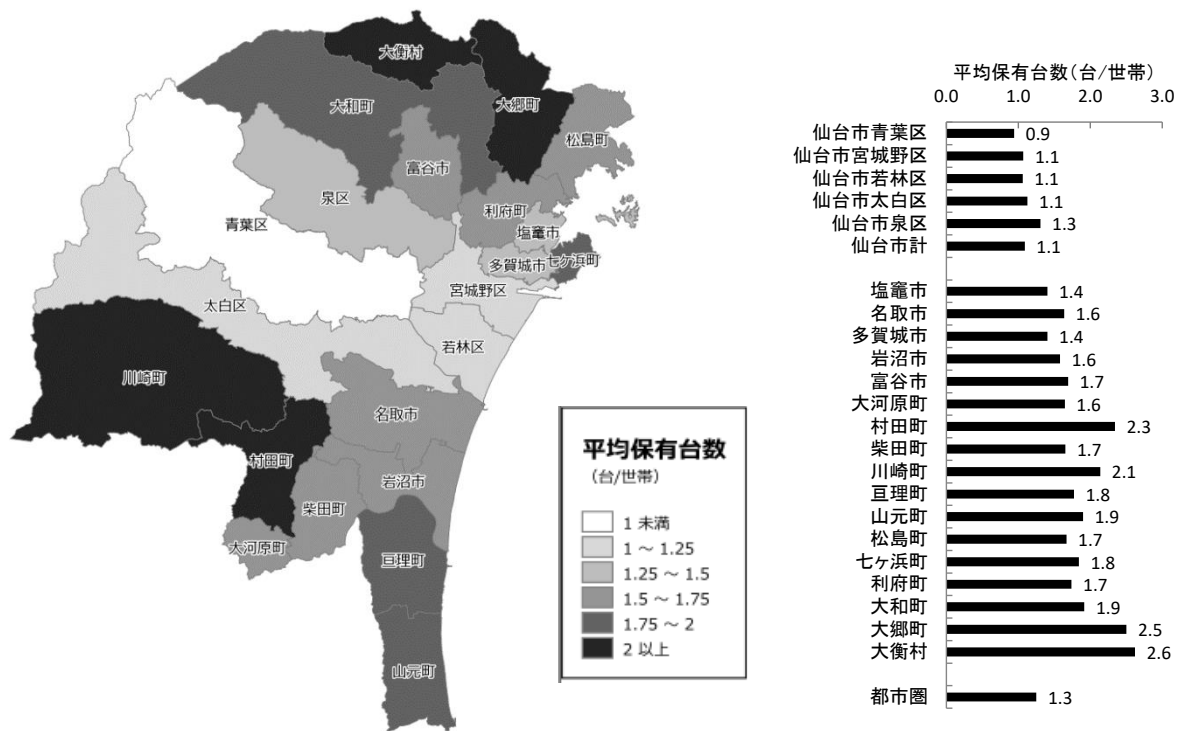


図 2-39 自動車保有世帯割合および自動車保有率



※世帯サンプル集計

図 2-40 市区町村別自動車平均保有台数（1世帯あたり）

2.4 目的から見た交通特性

(1) 目的種類別トリップ数、目的種類構成の推移

- ・ 平日の目的種類構成の推移では、私事目的の割合が上昇し、通学・業務目的の割合が低下している。
- ・ 通勤目的は、トリップ数、割合とも第4回まで上昇していたが、第5回で初めて低下に転じている。

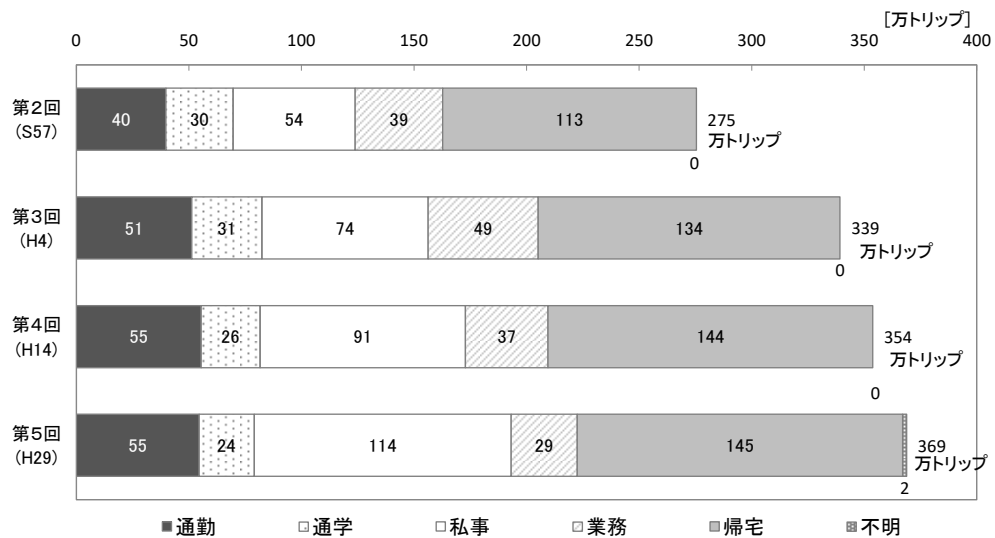


図 2-41 目的種類別トリップ数の推移（平日）

※私事には通院や買物を含む

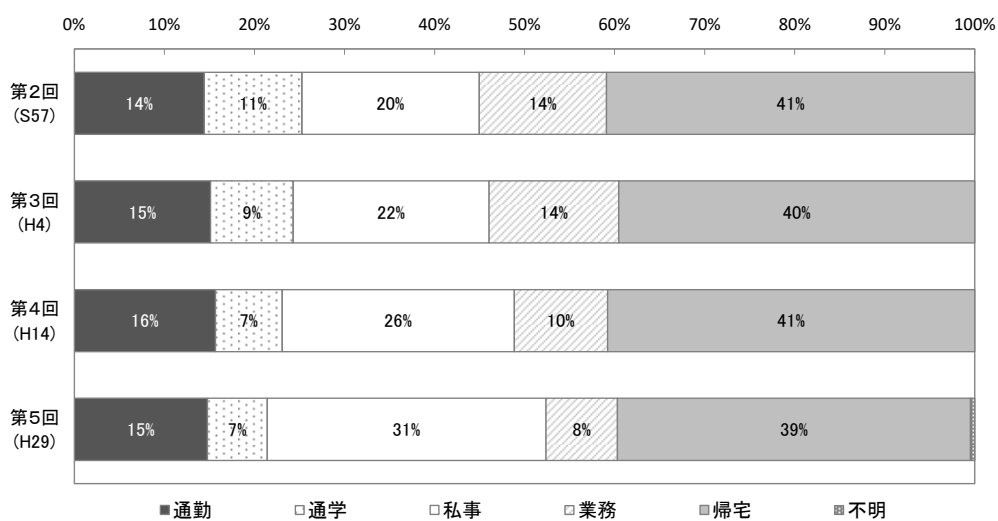


図 2-42 目的種類構成の推移（平日）

※私事には通院や買物を含む

- ・ 休日の目的種類構成は、平日と比較して私事目的の割合が高く、その他の目的は全て低くなっている。

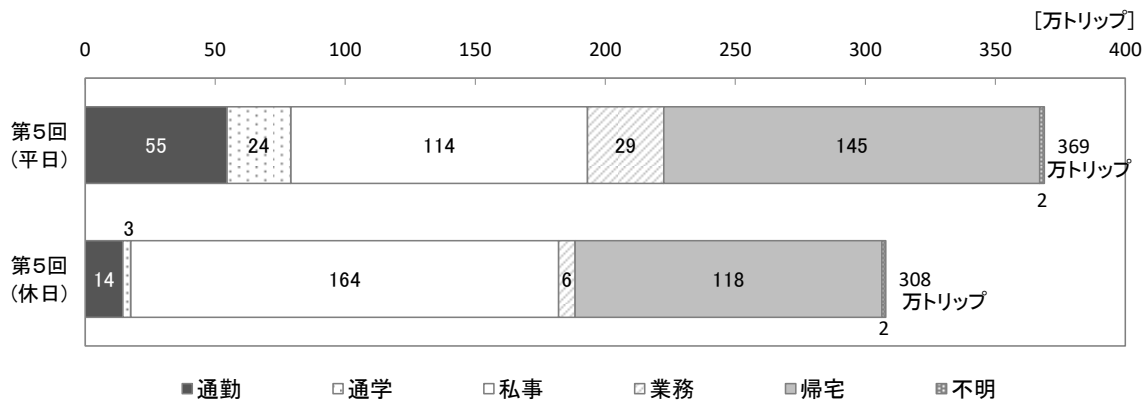


図 2-43 平日と休日の目的種類別トリップ数の比較

※私事には通院や買物を含む

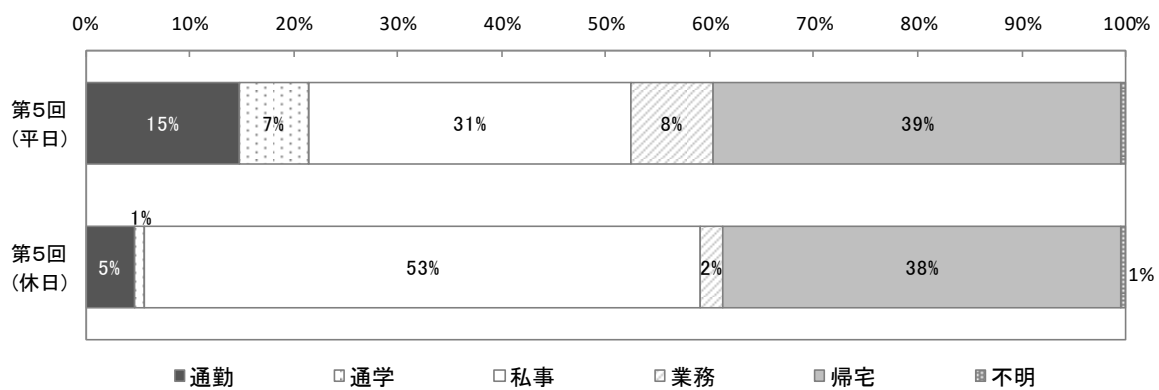


図 2-44 平日と休日の目的種類構成の比較

※私事には通院や買物を含む

(2) 目的種類別代表交通手段別トリップ数、代表交通手段分担率

平日の目的種類別トリップの代表交通手段分担率では、通勤・通学目的における鉄道・バスの分担率が全目的計より高く、通学以外の目的では自動車分担率が5割を超えている。

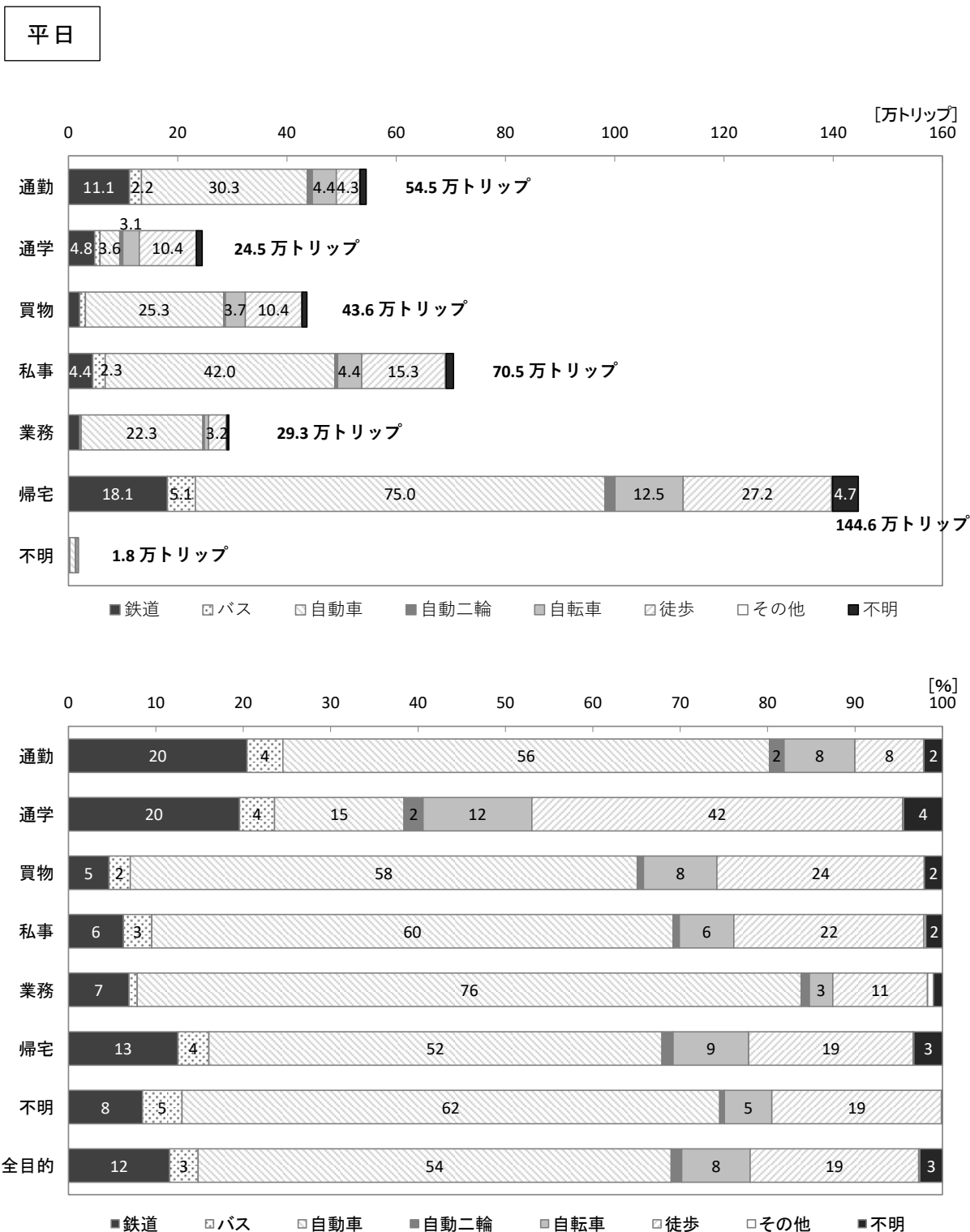


図 2-45 目的種類別代表交通手段別トリップ数（上）、目的種類別代表交通手段分担率（下）

- ・ 休日の目的種類別トリップの代表交通手段では、平日と同様に、通勤・通学における公共交通分担率が全目的計より高く、通学以外の全ての目的で自動車分担率が6割を超えている。

休日

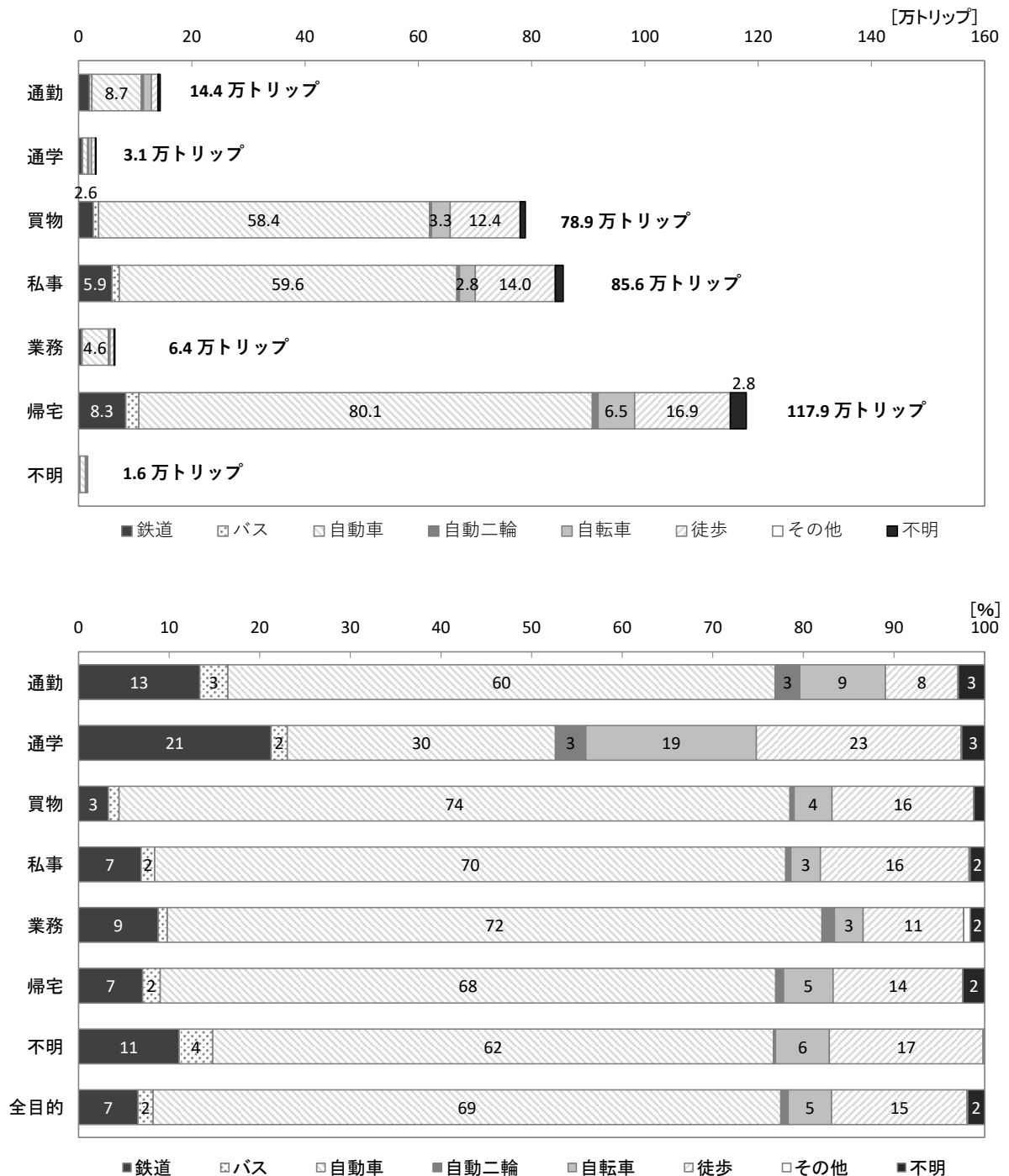


図 2-46 目的種類別代表交通手段別トリップ数 (上)、目的種類別代表交通手段分担率 (下)

(3) 目的種別発（着）時間帯構成

- 平日におけるトリップの発時間帯構成では、15年前と比較して、朝・夕ともにピーク時間帯に変化はないが、朝ピーク(7～8時)の割合が上昇し、夕ピーク(17～18時)の割合が低下している。

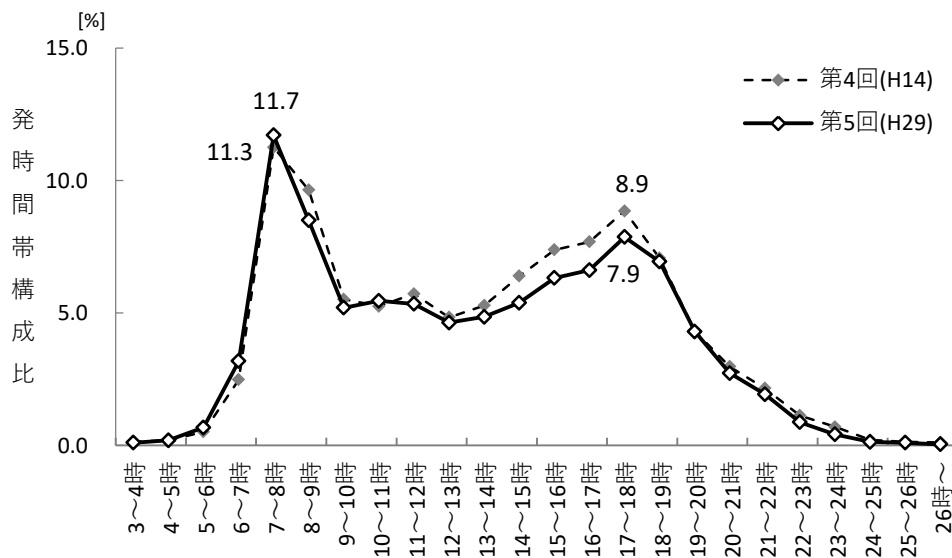


図 2-47 発時間帯構成の推移（平日）

- 平日におけるトリップの着時間帯構成では、15年前と比較して、ピーク時間帯が朝・夕ともに1時間遅くなっている。また、朝ピークの割合は、15年前よりも上昇し、夕ピークの割合は低下している。

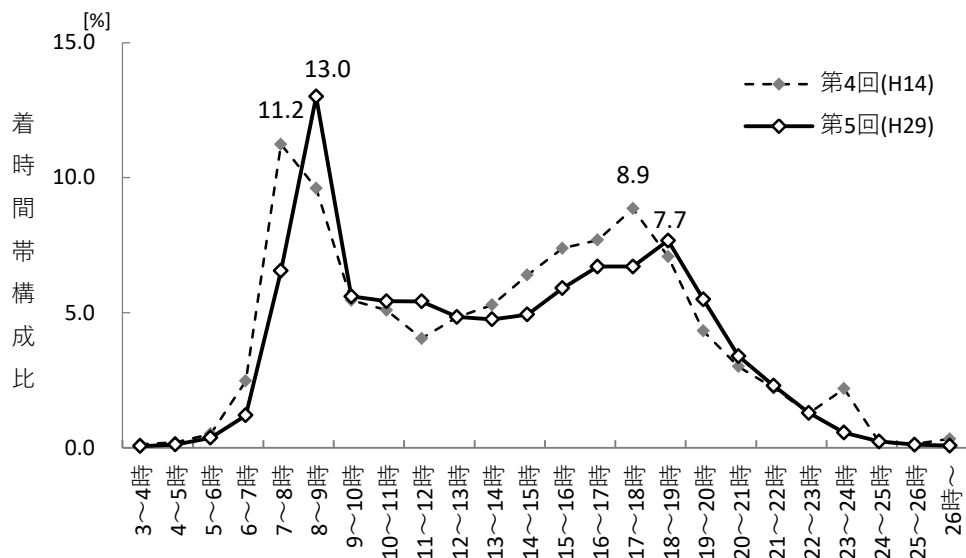


図 2-48 着時間帯別構成の推移（平日）

- ・ 休日におけるトリップの発時間帯構成では、11～17時台になだらかなピークが現れており、朝のピーク割合は平日より低くなっている。

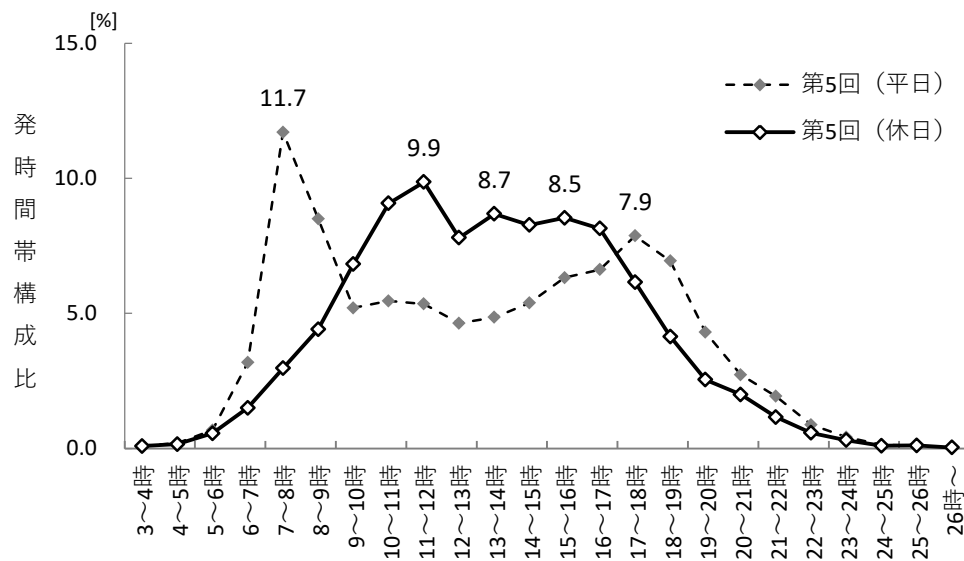


図 2-49 平日と休日の発時間帯構成の比較

- ・ 休日におけるトリップの着時間帯構成は、発時間帯構成と同様の傾向である。

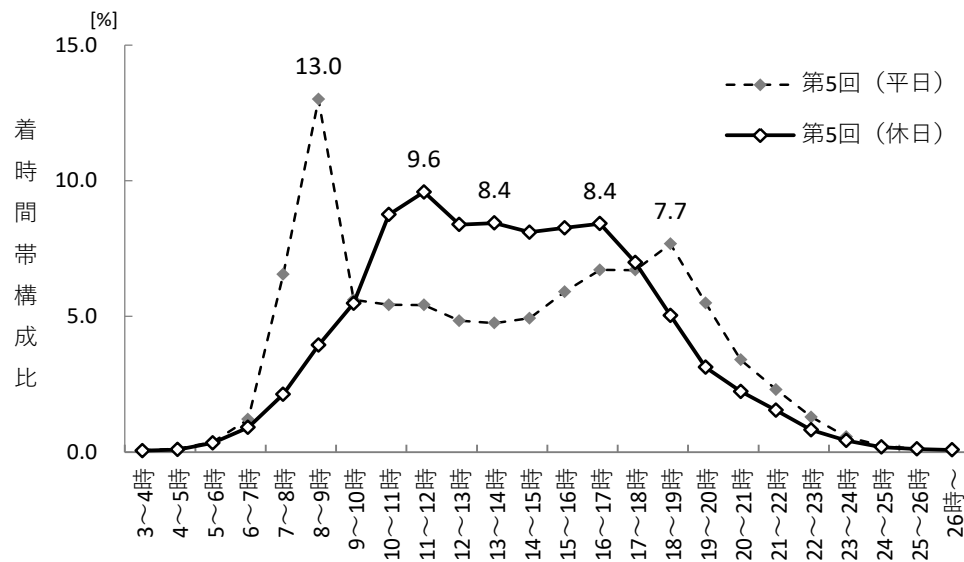
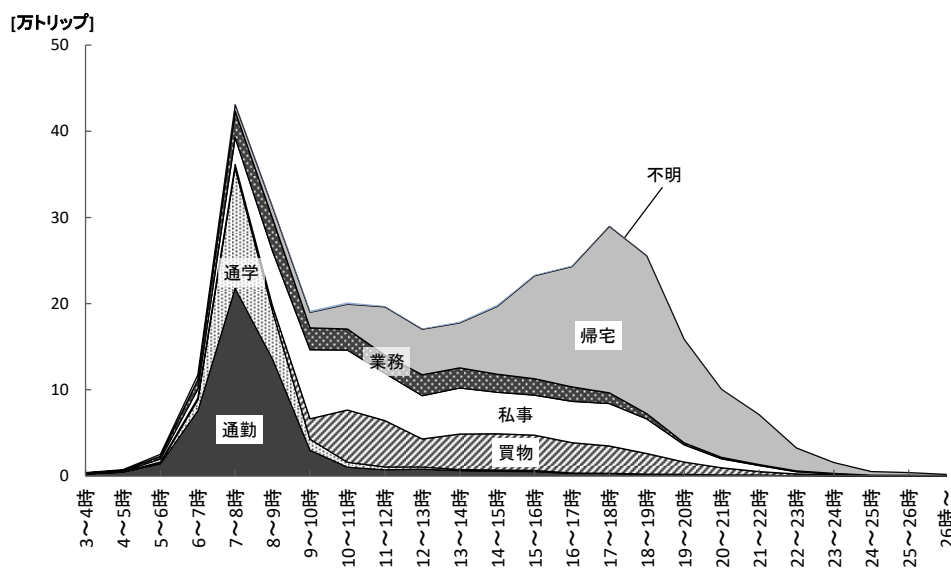


図 2-50 平日と休日の着時間帯構成の比較

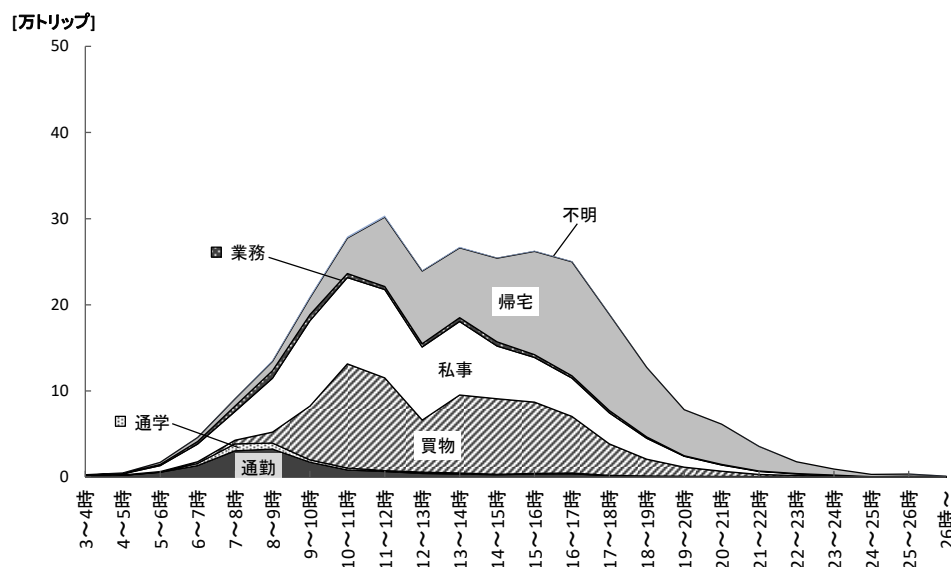
- 平日における目的種別発時間帯別発生量の内訳では、ピーク時間帯である 7～8 時において、通勤や通学目的のトリップ数が多い。また、9 時以降では、帰宅トリップを除き、買物・私事目的のトリップ数が多い。



※発時刻不明を除く

図 2-51 目的種別発時間帯別発生量（平日）

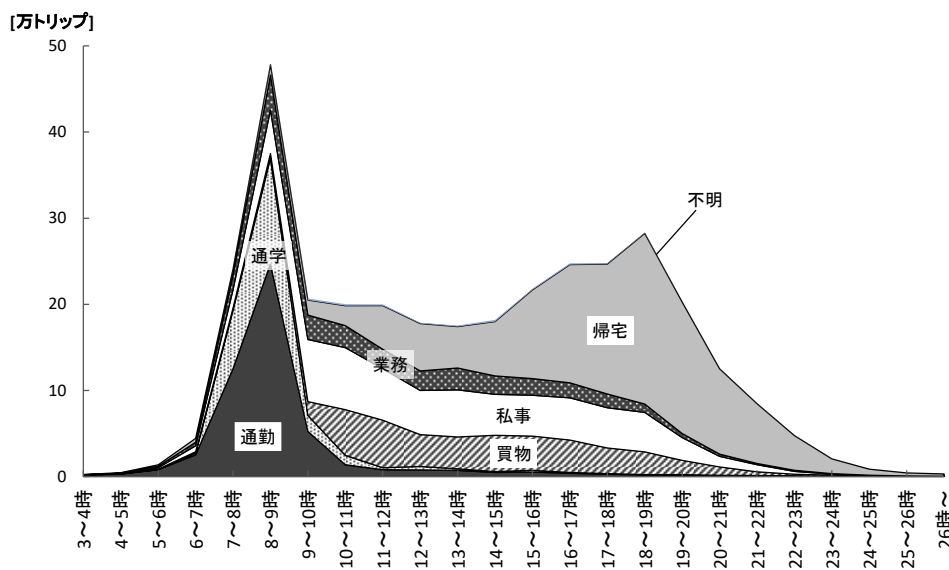
- 休日における目的種別発時間帯別発生量の内訳では、7～9時に通勤目的トリップ数が多いことを除き、概ねどの時間帯においても、平日と比較して、私事・買物目的のトリップ数が多くなっている。
- また、平日と異なり、発生時間帯が分散している。



※発時刻不明を除く

図 2-52 目的種別発時間帯別発生量（休日）

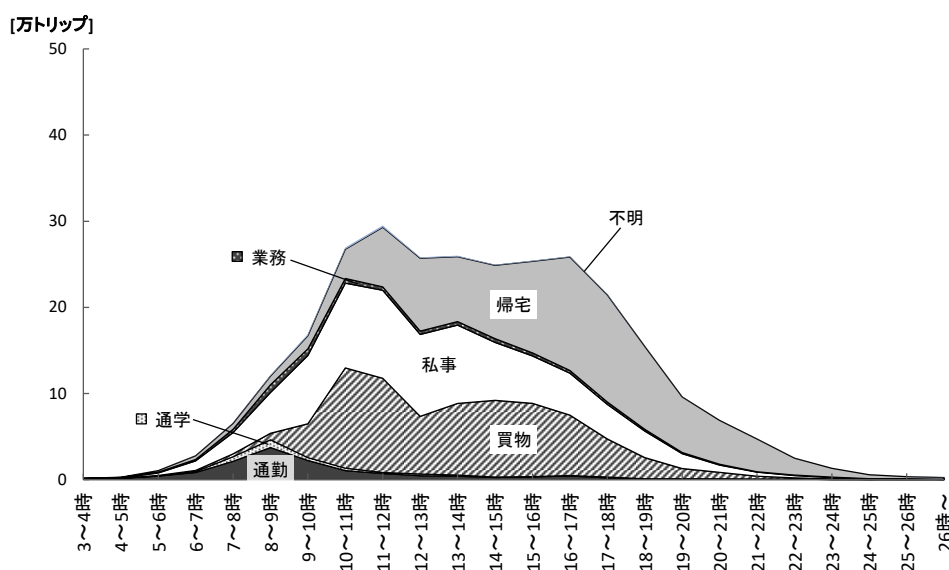
- 平日における目的種別着時間帯別集中量の内訳では、ピーク時間帯である 8～9 時において、通勤や通学目的のトリップ数が多い。



※着時刻不明を除く

図 2-53 目的種別着時間帯別集中量 (平日)

- 休日における目的種別着時間帯別集中量の内訳では、8～9時に通勤のトリップ数が多いものの、概ねどの時間帯においても、平日と比較して、私事・買物目的のトリップ数が多くなっている。
- また、平日と異なり、着時間帯が分散している。

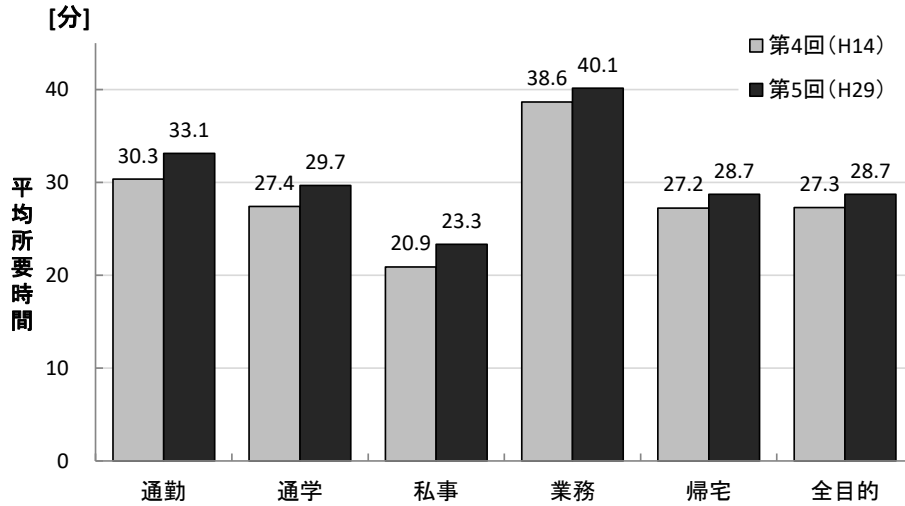


※着時刻不明を除く

図 2-54 目的種別着時間帯別集中量 (休日)

(4) 目的種類別平均所要時間、主要時間ランク別構成

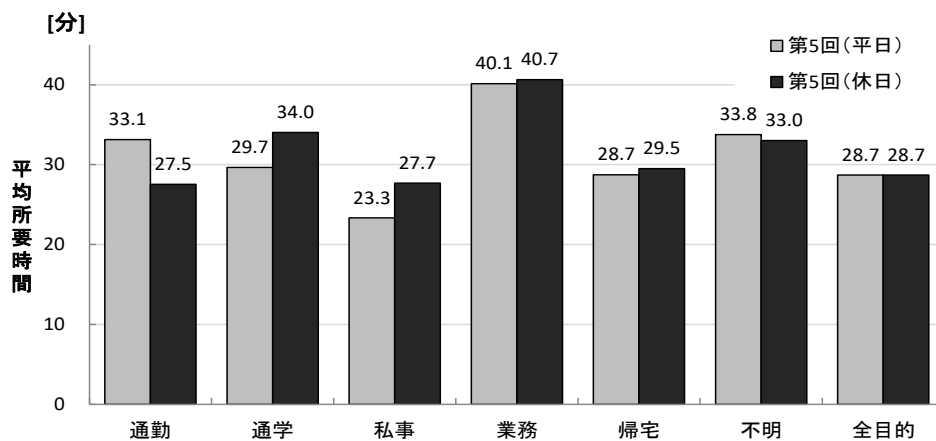
- ・ 平日のトリップの平均所要時間は、約 29 分である。この 15 年間で、全目的の平均所要時間が増加している。



※私事には通院・買物を含む

図 2-55 目的種類別平均所要時間の推移(平日)

- ・ 休日のトリップの平均所要時間は、平日と同様に約 29 分である。目的種類別にみると、通勤目的の平均所要時間は平日を下回るものの、その他の目的の平均所要時間は平日を上回っている。



※私事には通院・買物を含む

図 2-56 目的種類別平均所要時間 (平日・休日)

- ・ 平日の買物・私事目的の所要時間ランク別の構成では、15分以下の割合が5～6割である。

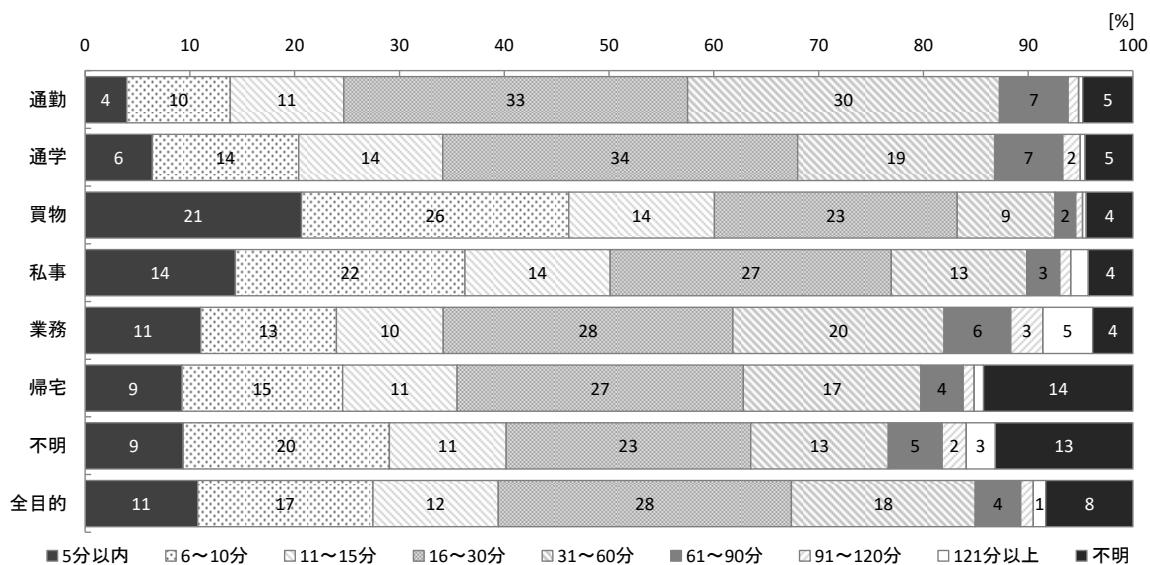


図 2-57 目的種類別所要時間ランク別構成（平日）

- ・ 休日の所要時間ランク別の構成には、買物・私事目的以外、平日と大きな違いはみられない。

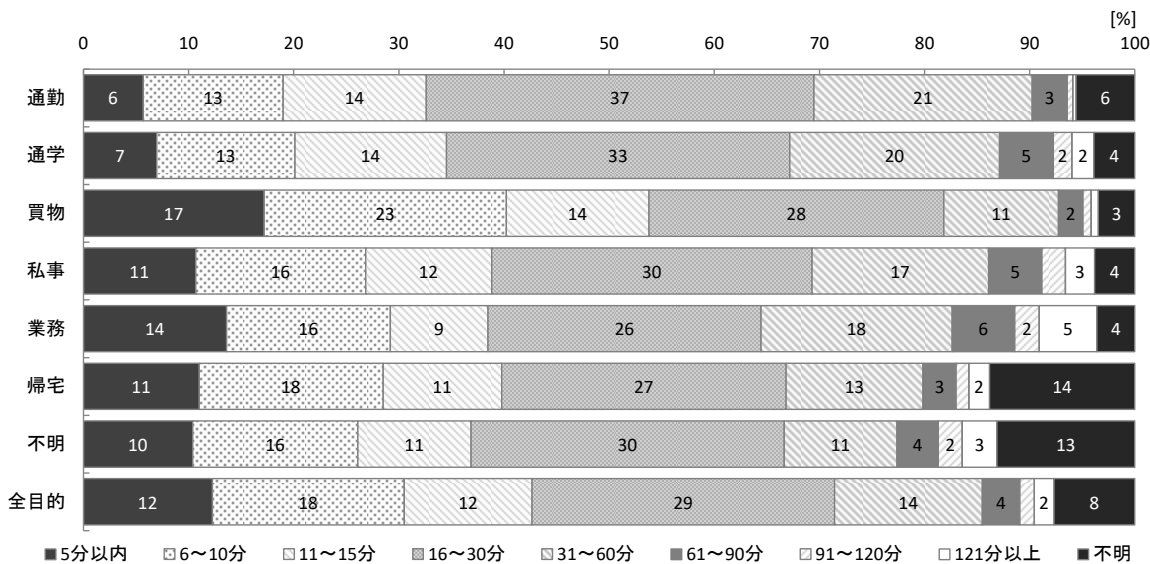


図 2-58 目的種類別所要時間ランク別構成（休日）

2.5 交通手段から見た交通特性

(1) 代表交通手段別トリップ数、代表交通手段分担率の推移

- ・ 平日の代表交通手段別トリップ数は、15年前と比べて鉄道と自動車で増加し、バスと自動二輪・自転車で減少している。
- ・ 平日の代表交通手段では、これまで、増加傾向であった自動車分担率が、初めて横ばいとなった。

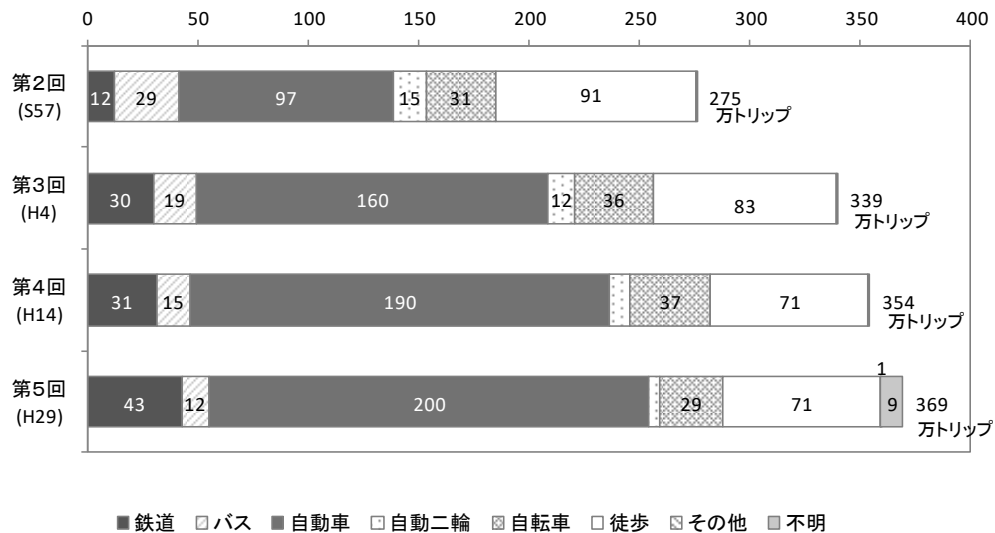


図 2-59 代表交通手段別トリップ数の推移（平日）

※その他には船舶・飛行機を含む

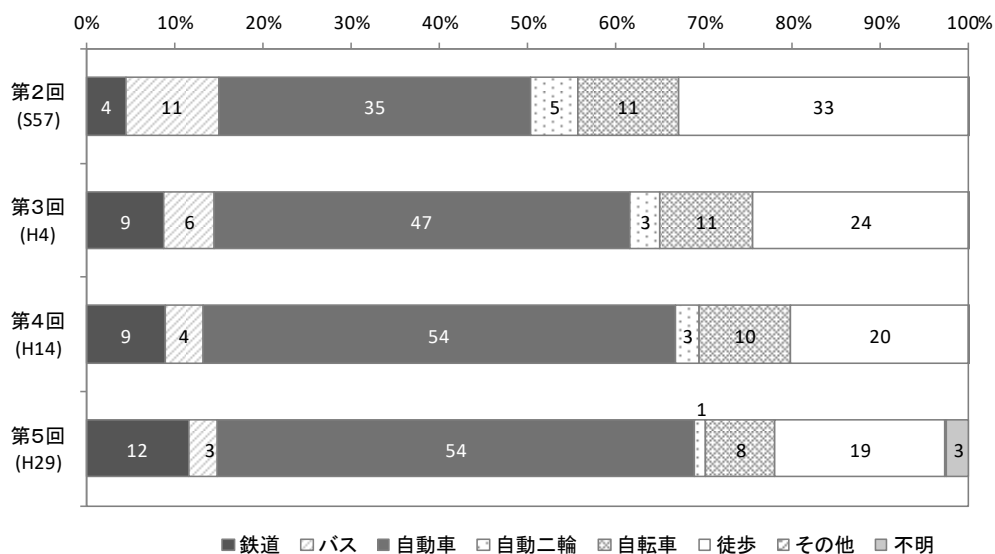


図 2-60 代表交通手段分担率の推移（平日）

※その他には船舶・飛行機を含む

- ・ トリップ数・分担率ともに、自動車で休日が平日を上回り、鉄道・バス・自転車・徒歩で休日が平日を下回る。

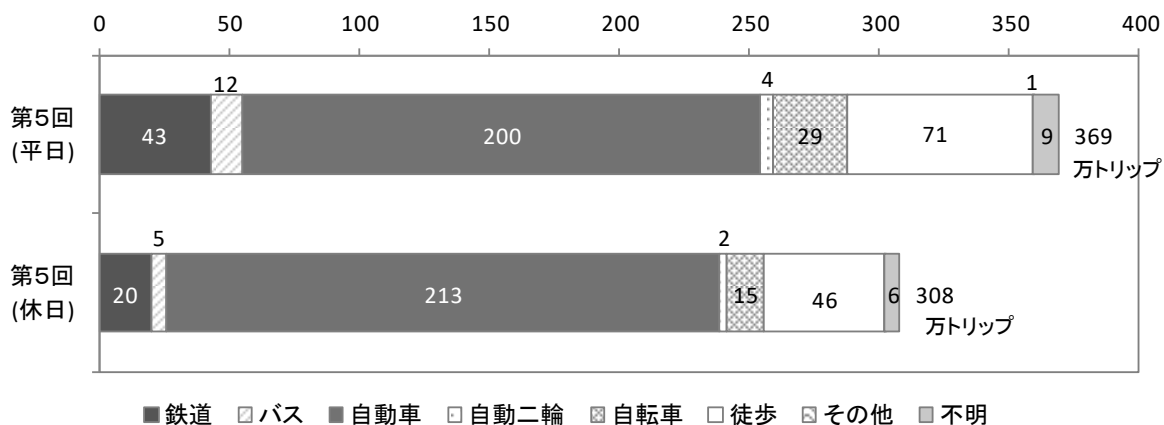


図 2-61 平日と休日の代表交通手段別トリップ数の比較

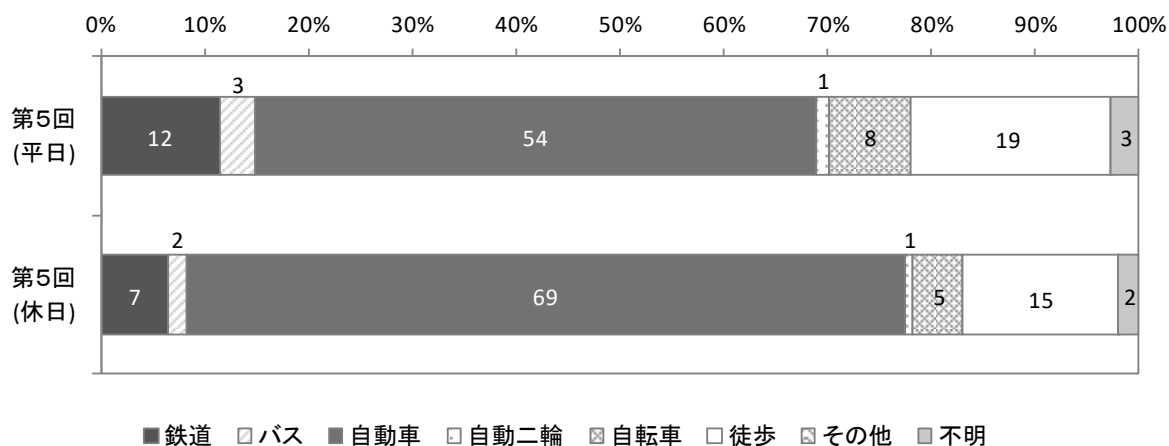


図 2-62 平日と休日の代表交通手段分担率の比較

(2) 代表交通手段別目的種類別トリップ数、目的種類構成

- 平日における代表交通手段別のトリップの目的種類構成では、鉄道利用の4割弱、バス利用の3割弱が通勤もしくは通学目的の利用である。

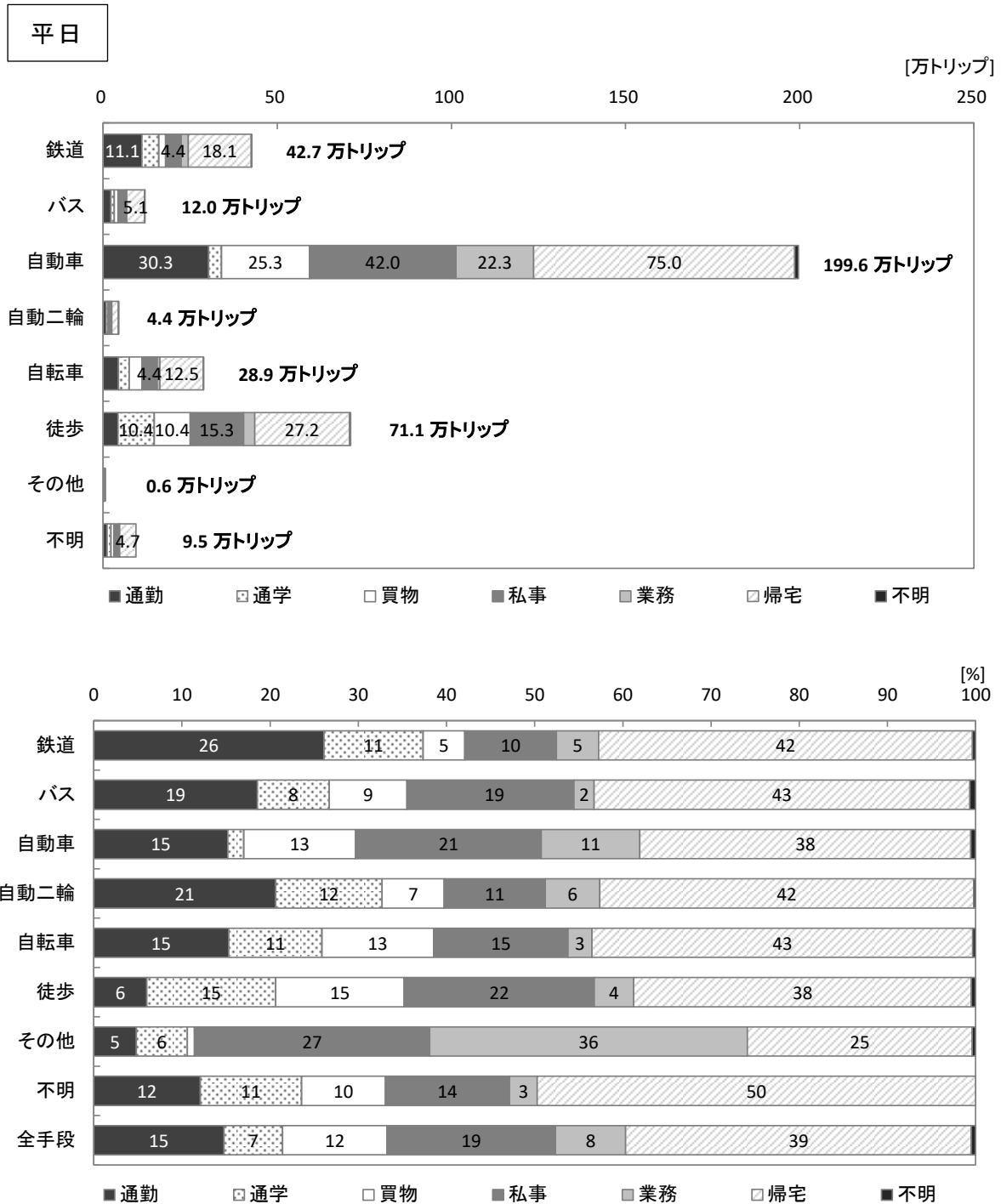


図 2-63 平日の目的種類別代表交通手段別トリップ数（上）、目的種類構成（下）

- ・ 休日における自動車利用のトリップ数は、約 213 万トリップで、平日におけるトリップ数（約 200 万トリップ）を上回る。休日における自動車以外の交通手段のトリップ数は、平日におけるトリップ数を下回る。
- ・ 休日における代表交通手段別の目的種類構成では、すべての代表交通手段で買物・私事目的の割合が平日より高く、自動車で約 5 割、鉄道・バスで 4 割を超えている。

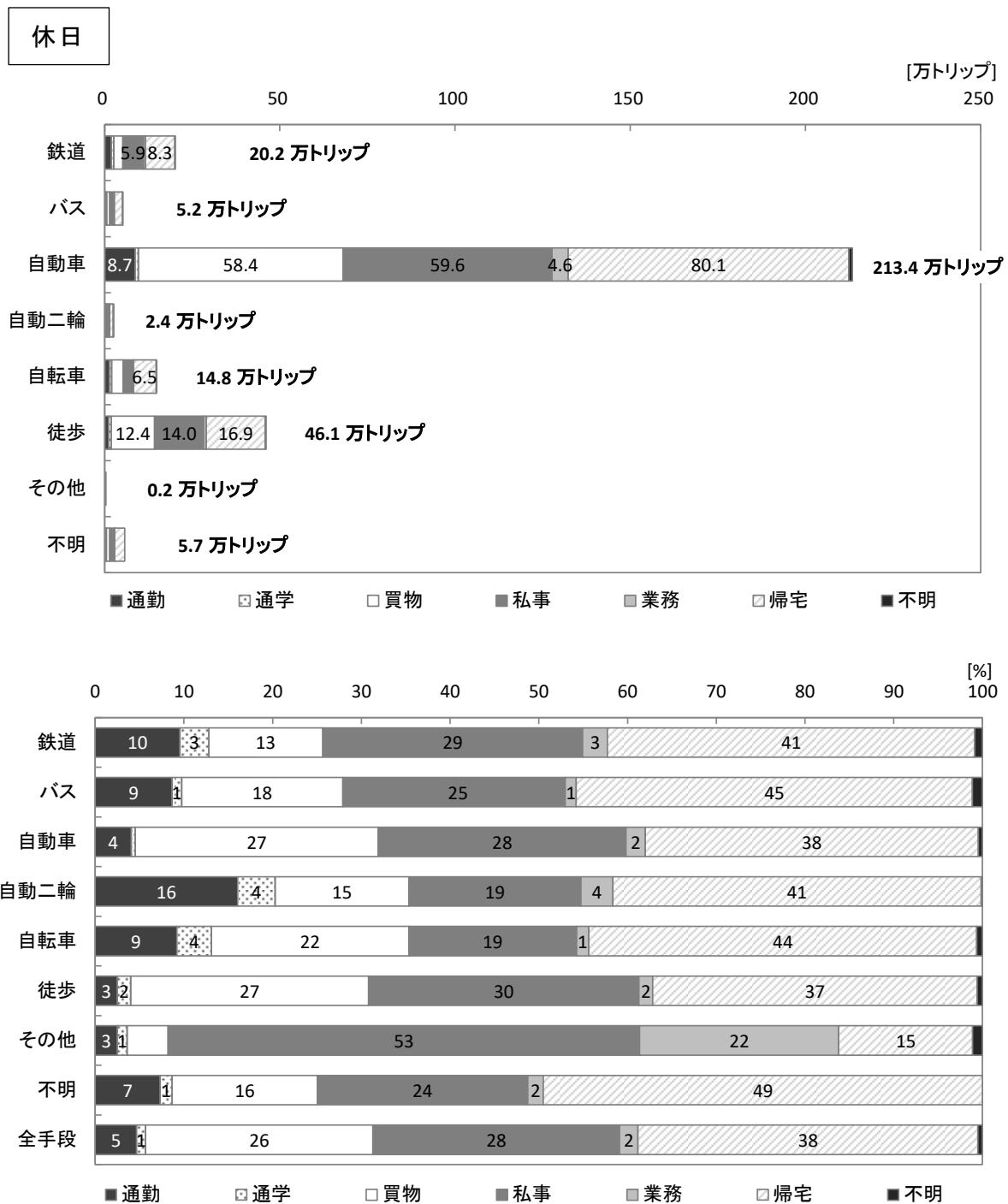


図 2-64 休日の目的種類別代表交通手段別トリップ数（上）、目的種類構成（下）

(3) 代表交通手段別発時間帯別トリップ数

- ・ 平日における代表交通手段別時間帯別の発生量の内訳では、すべての時間帯で自動車のトリップ数が多い。
- ・ 休日では日中の自動車利用が多いものの、平日と異なり、発生時間帯が分散している。

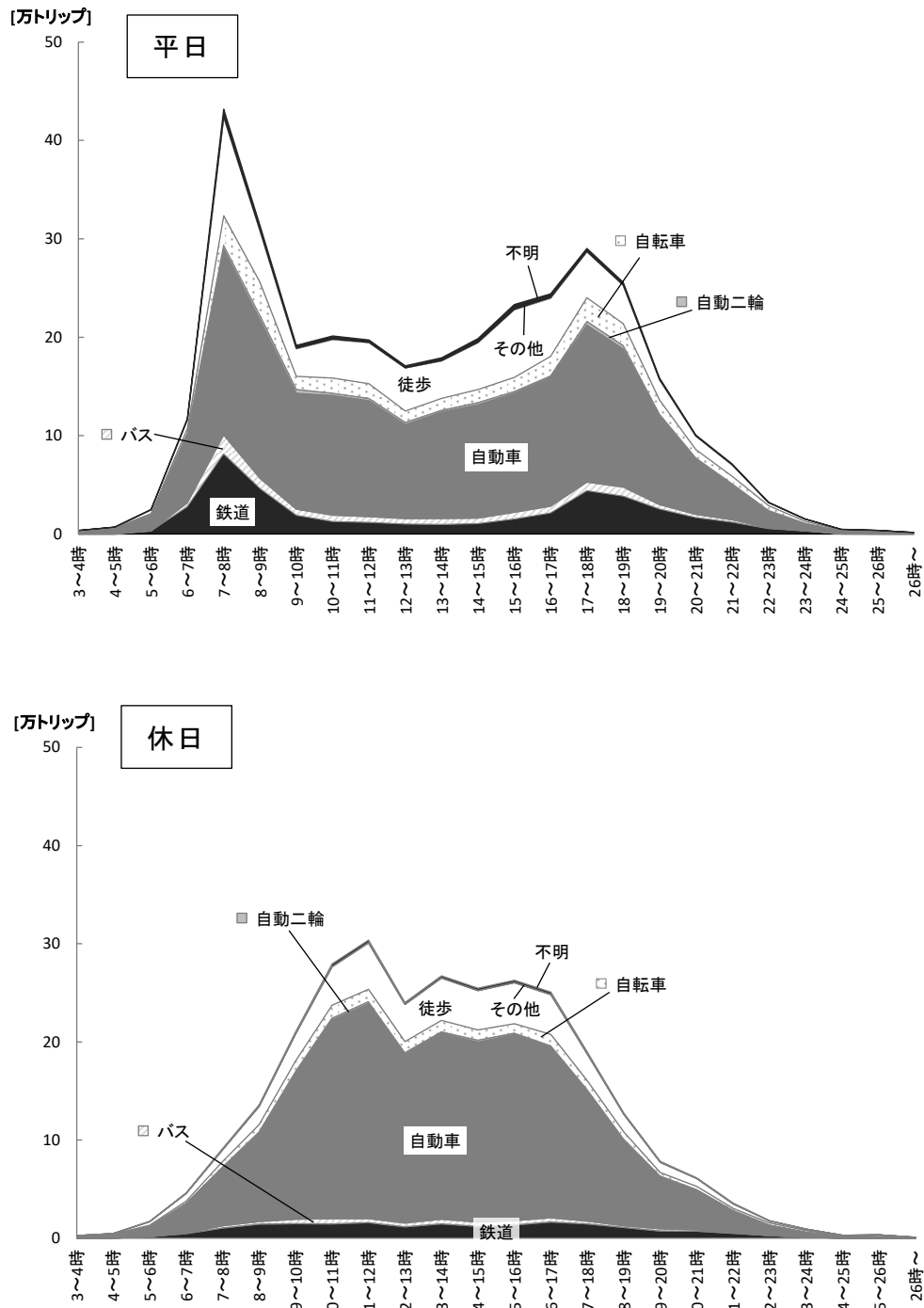


図 2-65 代表交通手段別発時間帯別発生量

※発時刻不明を除く

- ・ 発時間帯別代表交通手段分担率では、全ての時間帯で自動車分担率が高く、各時間帯に占める割合は、平日で4割、休日で5割（25～26時台を除く）を上回る。

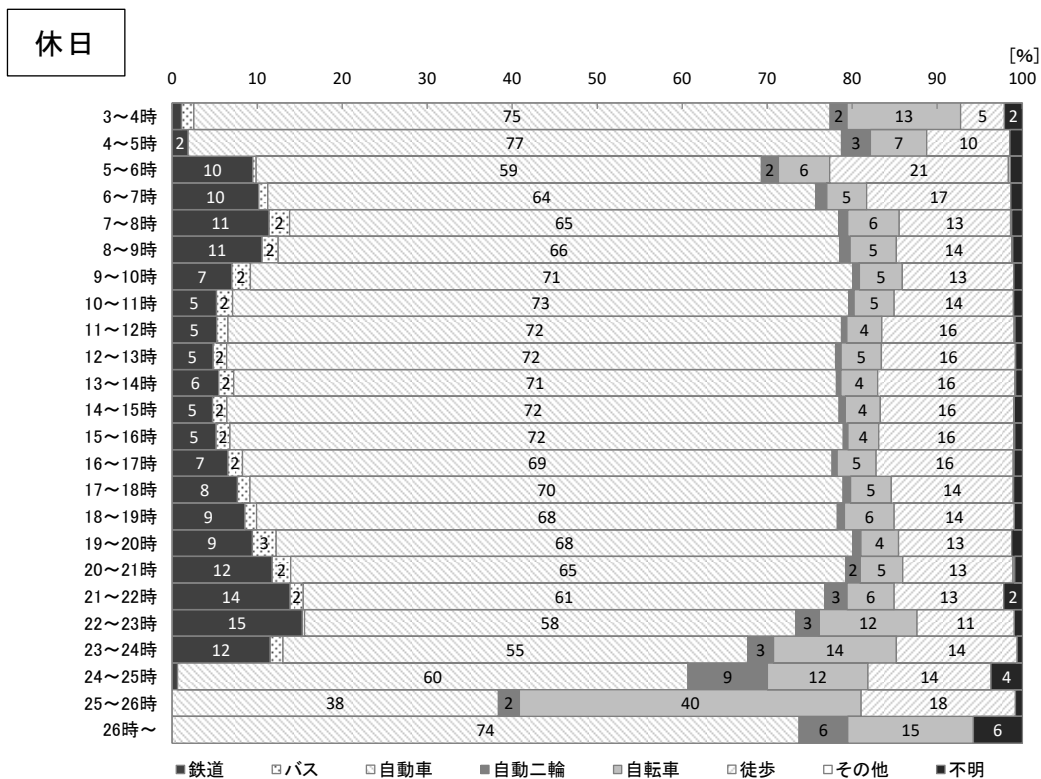
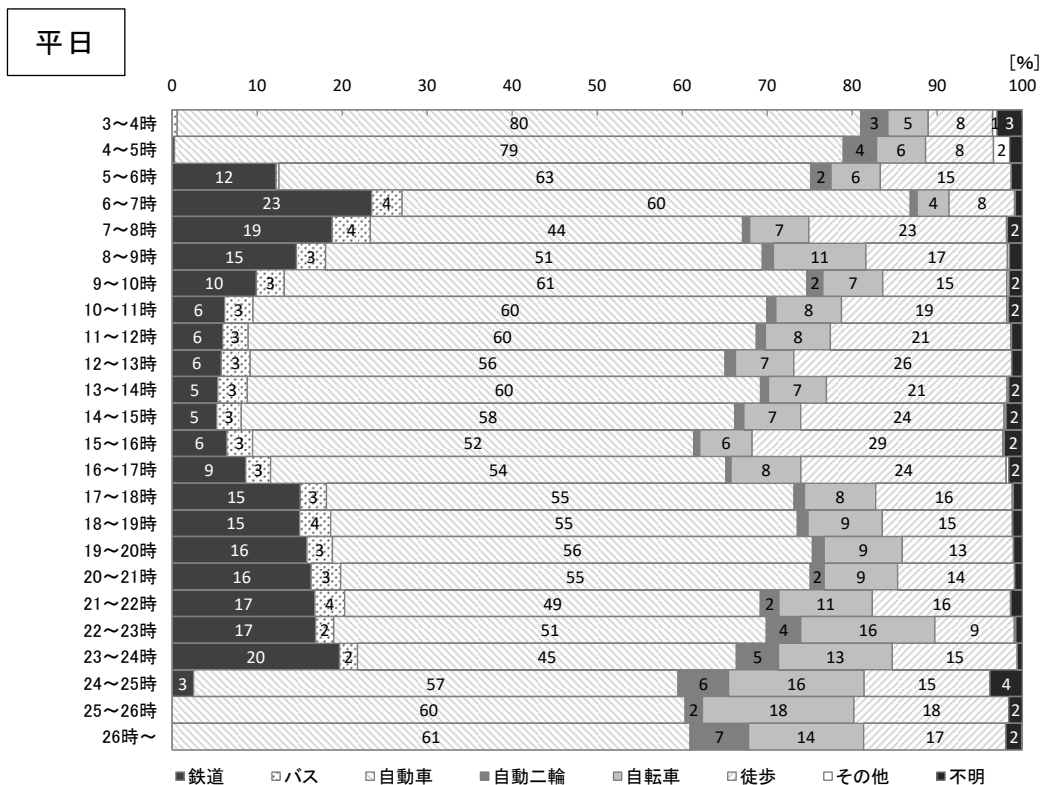


図 2-66 発時間帯別代表交通手段分担率

(4) 代表交通手段別平均所要時間、所要時間ランク別代表交通手段分担率

- ・ 平日における代表交通手段別平均所要時間は、15年前と比較すると、鉄道・バス・自動車で横ばいとなっており、自動二輪・自転車約2分増加している。
- ・ 自転車・徒歩以外の交通手段では、平日よりも休日の平均所要時間が長く、特に鉄道で、平日と休日の差が大きい。

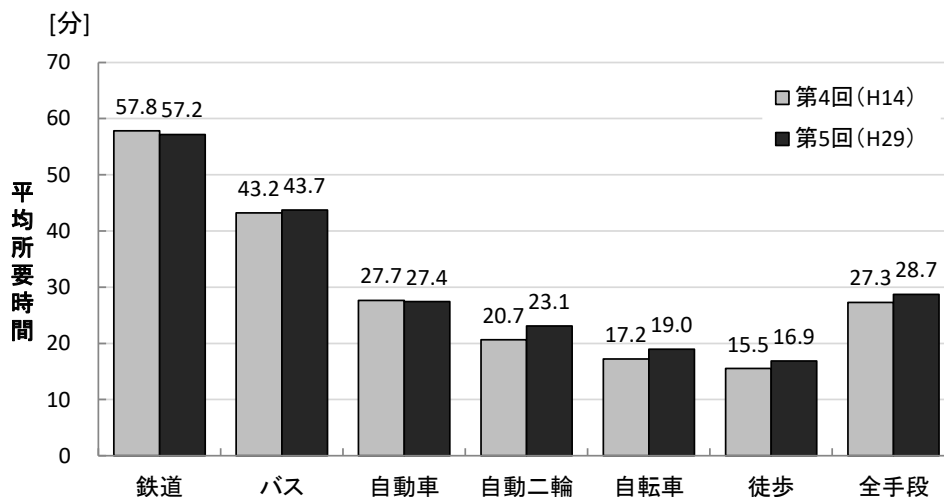
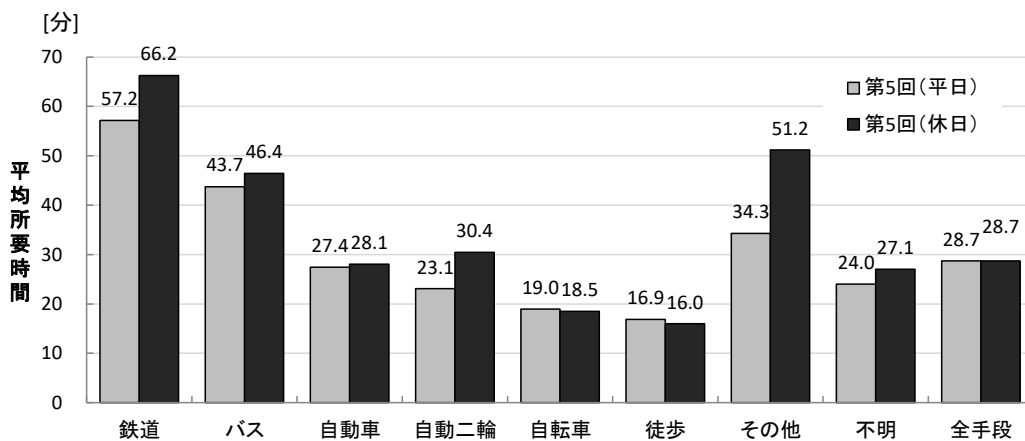


図 2-67 代表交通手段別平均所要時間の推移



※その他は航空機・船舶などを含む

図 2-68 代表交通手段別平均所要時間（平日・休日）

- ・ 所要時間ランク別代表交通手段分担率では、平日・休日ともに、所要時間が長くなるほど自転車・徒歩の分担率が低下し、鉄道・バスの分担率が上昇する傾向にある。
- ・ 所要時間が5分以内の短時間のトリップにおいても自動車分担率が最も高い。自動車分担率は平日では60分以内・121分以上の所要時間帯で5割を超える。休日は5分以内では6割、6～120分では概ね7割を超える。

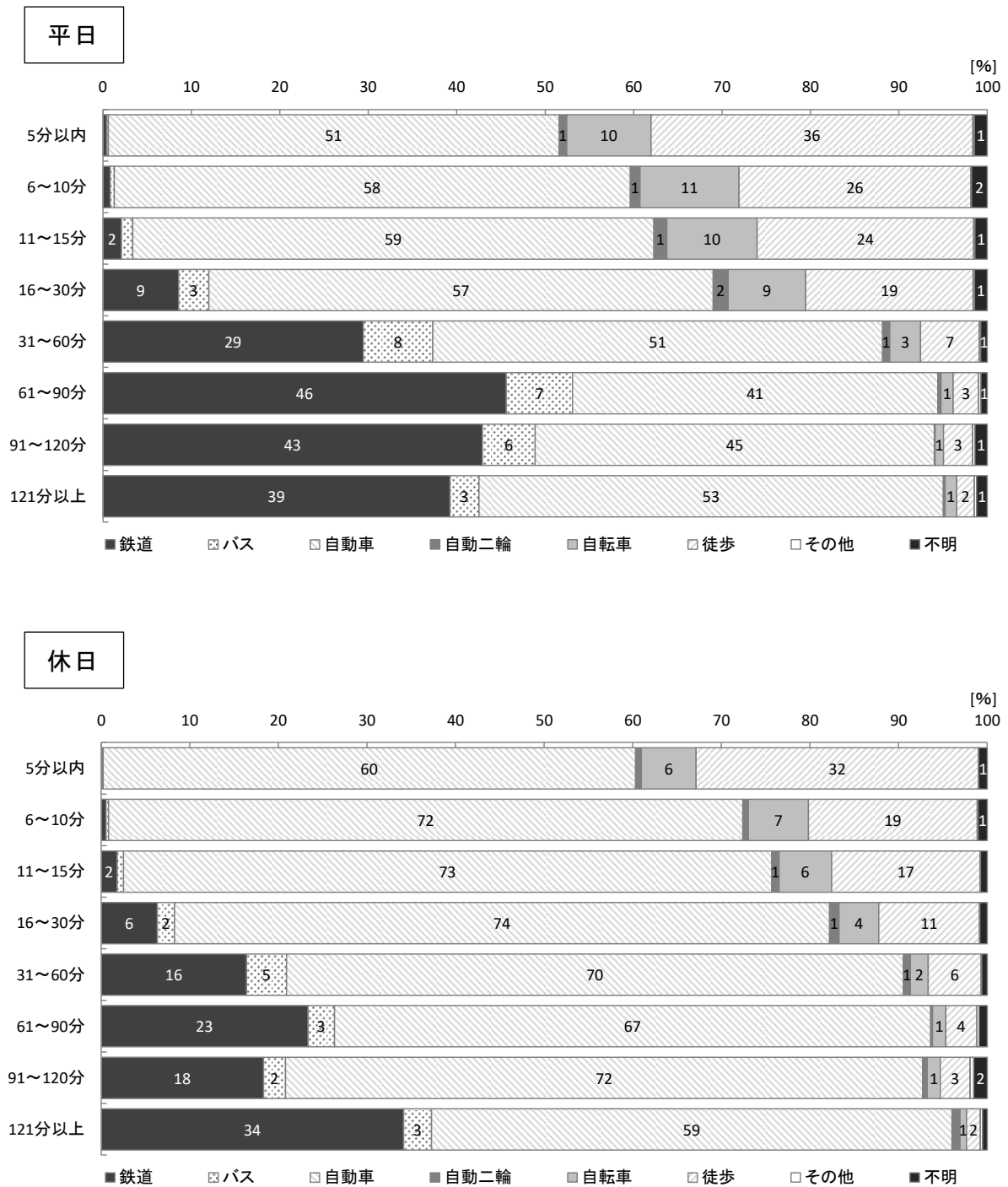


図 2-69 所要時間ランク別代表交通手段分担率

(5) 鉄道駅利用状況

1) 駅別乗降トリップ数

- ・ 平日の駅別乗降トリップ数が上位 20 位以内に入る駅は、地下鉄南北線で 11 駅、JR で 8 駅、地下鉄東西線で 1 駅である。
- ・ 地下鉄南北線に限ると、仙台駅（7.6 万トリップ）、泉中央駅（5.8 万トリップ）、勾当台公園駅（3.9 万トリップ）が上位 3 駅である。
- ・ JR に限ると、仙台駅（東北本線）（12.0 万トリップ）、仙台駅（仙石線）（3.0 万トリップ）、あおば通り駅（仙石線）（2.8 万トリップ）が上位 3 駅である。
- ・ 地下鉄東西線に限ると、仙台駅（3.3 万トリップ）、青葉通一番町（1.3 万トリップ）、八木山動物公園（1.2 万トリップ）が上位 3 駅であるものの、全体の上位 20 位以内に入った駅は、仙台駅のみであった。

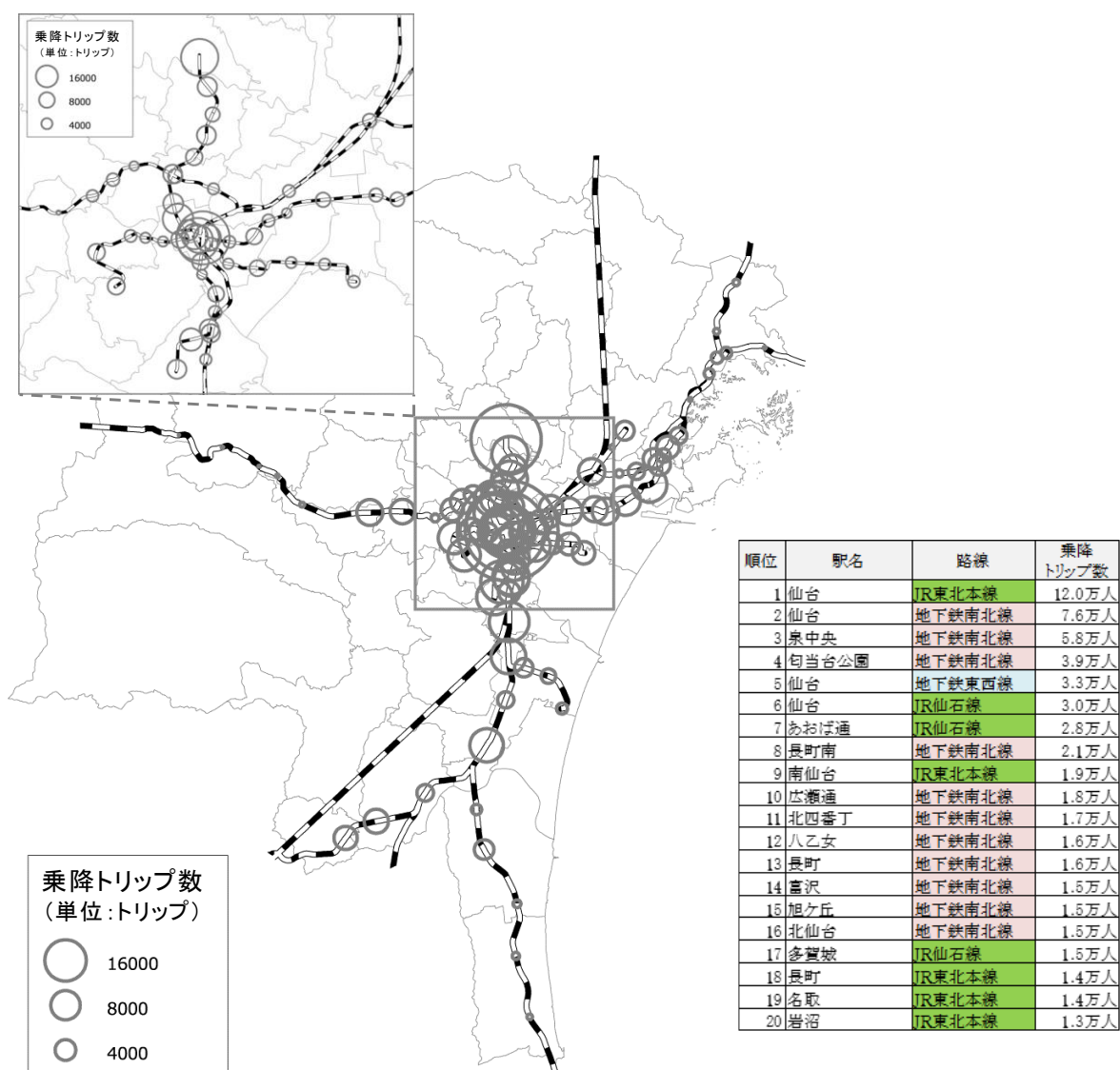


図 2-70 駅別乗降トリップ数（平日）

※各駅における鉄道の乗り換え乗降を含む
 ※JR 東北本線仙台駅の乗降トリップには新幹線の乗降トリップを含む

- ・ 休日の駅別乗降トリップ数が上位 20 位以内に入る駅は、地下鉄南北線で 11 駅と平日と変わらないものの、JR で 5 駅、地下鉄東西線で 4 駅であり、平日より JR の駅数が減少し、地下鉄東西線の駅数が増加している。
- ・ 地下鉄南北線に限ると、仙台駅（3.7 万トリップ）、泉中央駅（2.3 万トリップ）、勾当台公園駅（1.5 万トリップ）が上位 3 駅である。
- ・ JR に限ると、仙台駅（東北本線）（5.7 万トリップ）、仙台駅（仙石線）（1.6 万トリップ）、あおば通り駅（仙石線）（0.8 万トリップ）が上位 3 駅である。

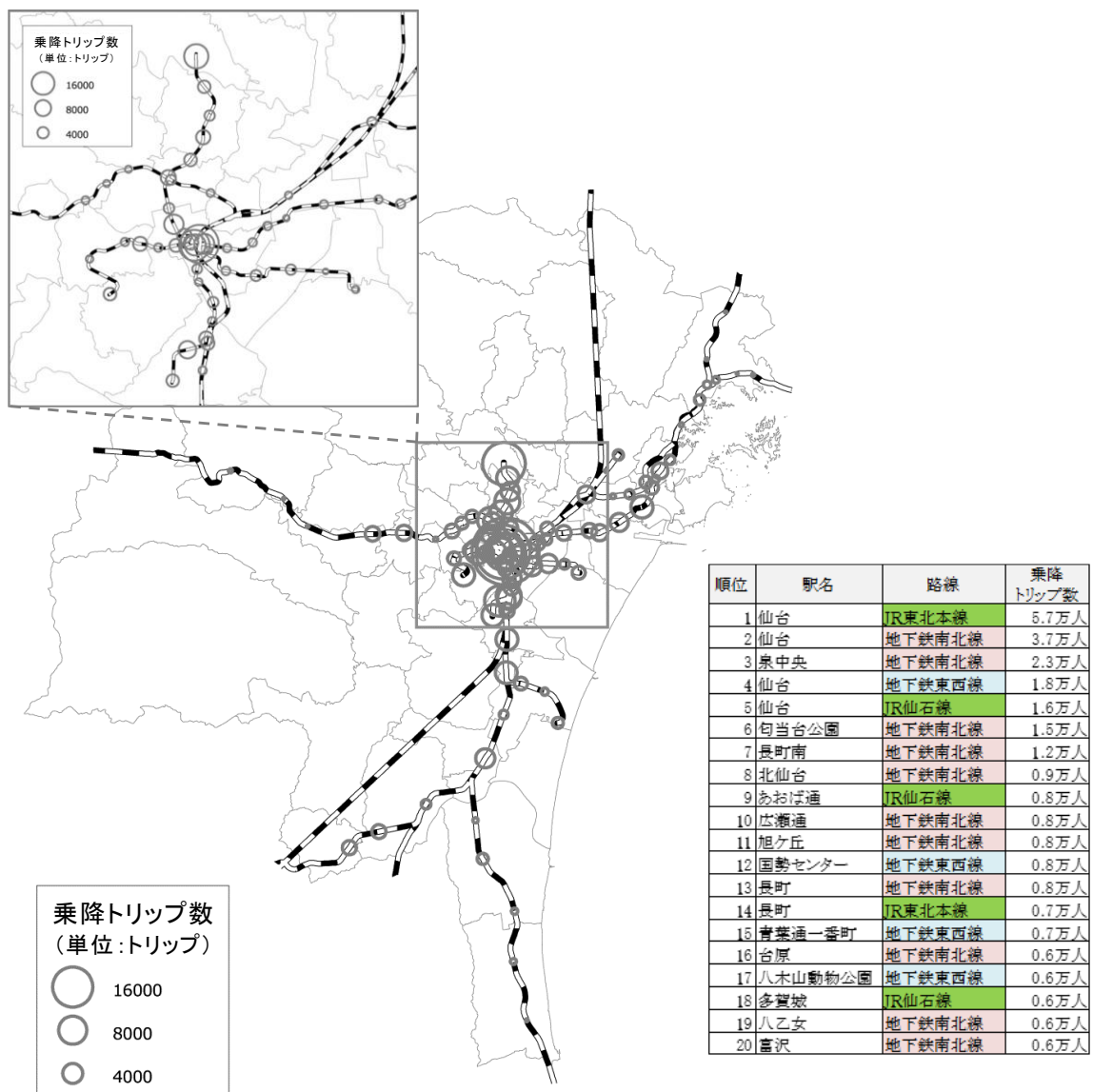
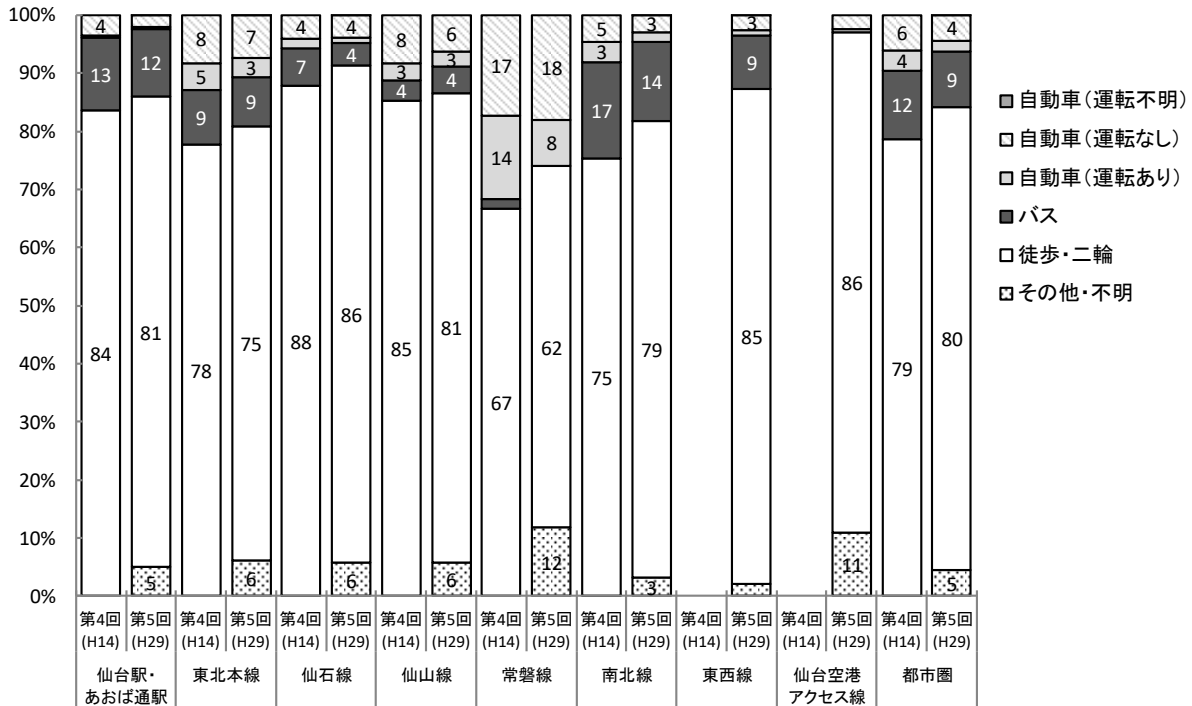


図 2-71 駅別乗降トリップ数（休日）

※各駅における鉄道の乗り換え乗降を含む
 ※JR 東北本線仙台駅の乗降トリップには新幹線の乗降トリップを含む

2) 路線別鉄道端末交通手段分担率

- ・ 仙台駅・あおば通駅と南北線のバス分担率は、都市圏における分担率を上回る。
- ・ 路線別の自動車分担率は、常磐線でのみ2割を超えているが、自分で運転する割合は、第4回と比較して約6ポイント低下している。
- ・ 路線別の鉄道端末交通手段における徒歩・二輪の分担率は、仙石線・仙山線・東西線・仙台空港アクセス線で都市圏における分担率を上回る。



※東西線・仙台空港アクセス線は第4回調査(H14)時点では未開通

※各駅における鉄道同士の乗り換えによるトリップは対象外

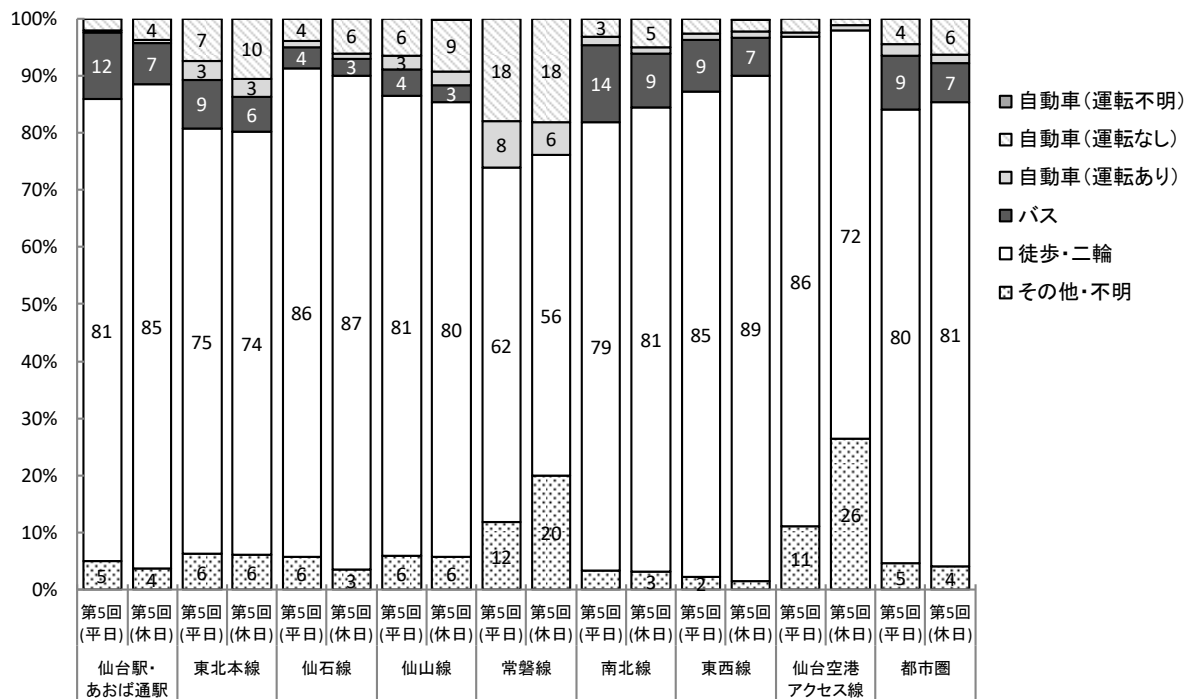
※路線別の乗降トリップ数には、「仙台駅・あおば通駅」の乗降トリップ数を含む

※JR東北本線の乗降トリップには仙台駅で新幹線を利用するトリップを含む

※仙石線の乗降トリップには、仙台駅と仙石線高城町駅以北間の仙石東北ライン経由のトリップを含む

図 2-72 路線別端末交通手段分担率の推移(平日)

- ・ 休日における鉄道端末交通手段では、平日と同様に徒歩・二輪車の分担率が8割を超えている。
- ・ 平日と休日との比較では、平日のバス分担率が高い。また、多くの路線で、休日の自動車分担率が平日より高い。東西線と仙台空港アクセス線では、平日よりも休日の分担率が低い。
- ・ 仙台駅・あおば通駅や南北線におけるバス分担率が、平日・休日ともに高い。



※各駅における鉄道同士の乗り換えによるトリップは対象外
 ※路線別の乗降トリップ数には、「仙台駅・あおば通駅」の乗降トリップ数を含む
 ※JR 東北本線の乗降トリップには仙台駅で新幹線を利用するトリップを含む
 ※仙石線の乗降トリップには、仙台駅と仙石線高城町駅以北間の仙石東北ライン経由のトリップを含む

図 2-73 平日と休日の路線別端末交通手段分担率の比較

3) 目的種類別乗降別鉄道端末交通手段分担率

- ・ 平日における端末交通手段では、乗車・降車ともに徒歩分担率が7割を超えている。また、帰宅以外の全ての目的で、乗車時よりも降車時における徒歩分担率が高い。
- ・ 平日における乗車側の目的種類別端末交通手段では、通勤・私事目的でバス分担率、通勤・通学・私事・業務目的で自動車分担率、通勤・通学目的で自転車分担率、帰宅目的で徒歩分担率が、全目的における分担率を上回る。
- ・ 平日における降車側の目的種類別端末交通手段では、通学・帰宅目的でバス分担率、業務・帰宅目的で自動車分担率、帰宅目的で自転車分担率、通勤・買物・私事・業務目的で徒歩分担率が、全目的における分担率を上回る。

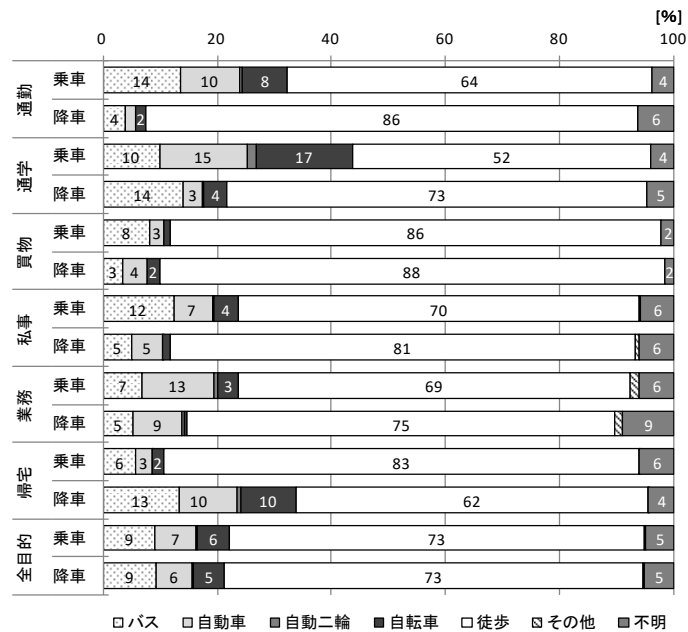


図 2-74 目的種類別端末交通手段分担率（平日）

- ・ 休日における端末交通手段では、乗車・降車ともに徒歩分担率が8割弱である。また、帰宅以外の全ての目的で、乗車時よりも降車時における徒歩分担率が高い。
- ・ 休日における乗車側の目的種類別端末交通手段では、通勤・私事目的でバス分担率、通勤・通学・私事・業務目的で自動車分担率、通勤・通学・業務目的で自転車分担率、買物・帰宅目的で徒歩分担率が、全目的における分担率を上回る。
- ・ 休日における降車側の目的種類別端末交通手段では、通学・帰宅目的でバス分担率、帰宅目的で自動車分担率、通学・帰宅目的で自転車分担率、通勤・通学・買物・私事目的で徒歩分担率が、全目的における分担率を上回る。

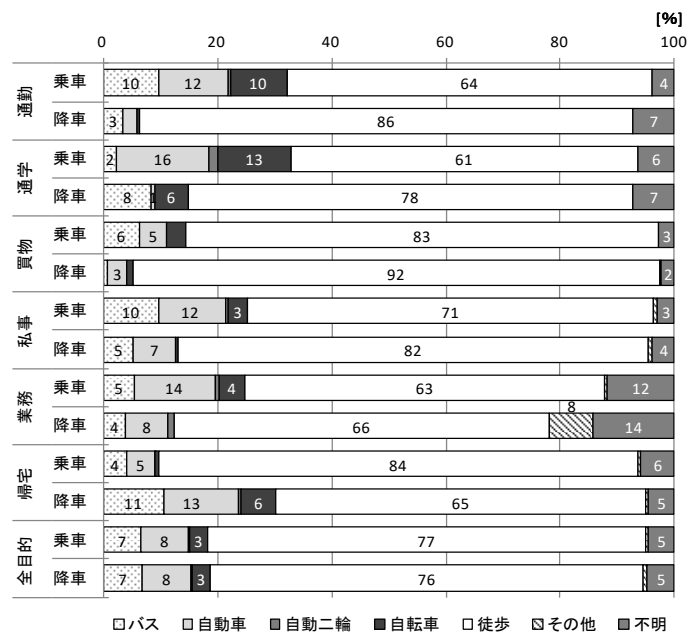


図 2-75 目的種類別端末交通手段分担率（休日）

(6) 自動車運転トリップ数、平均乗車人数

1) 自動車運転トリップ数

- ・ 平日に自動車を運転する人のトリップ数(全目的)は、約 158 万トリップで、15 年前と同程度である。
- ・ 目的種類別における 15 年前のトリップ数との比較では、買物目的で約 1.5 倍、私事目的で約 1.3 倍と比較的大きく増加している。一方、通学目的のトリップ数は 0.5 倍、業務目的のトリップ数は 0.3 倍に減少している。
- ・ 休日に自動車を運転する人のトリップ数は、平日の約 8 割にあたる約 128 万トリップとなっている。このうち買物・私事目的では休日のトリップ数が平日より多く、買物目的で約 1.7 倍となっている。

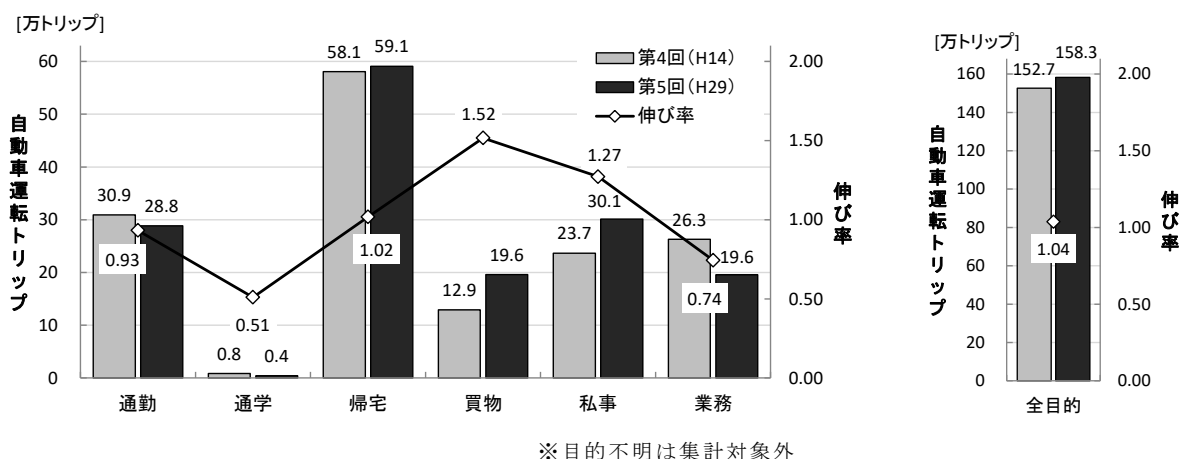


図 2-76 目的種類別自動車運転トリップ数の推移 (平日)

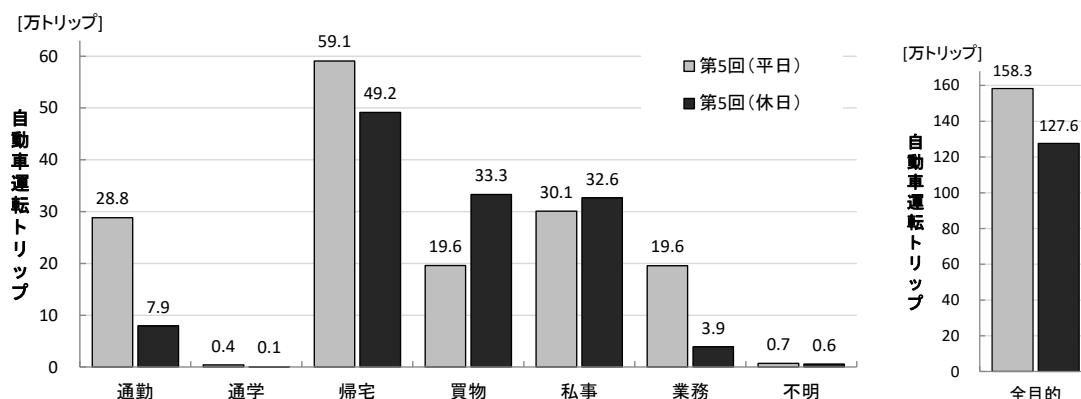


図 2-77 目的種類別自動車運転トリップ数 (平日・休日)

2) 自動車平均乗車人員

- 平均乗車人数は、平日で約 1.3 人/台となっており、15 年前と同程度である。目的種類別では、通学、買物、私事目的の平均乗車人数が減少しており、業務目的の乗車人数が増加している。
- 休日の平均乗車人数は 1.7 人/台で、平日と比較すると約 1.3 倍である。通勤・通学・業務目的の平均乗車人数は、平日と休日で差がないが、買物・私事目的で、休日の平均乗車人員が平日平均乗車人員の約 1.3 倍となっている。

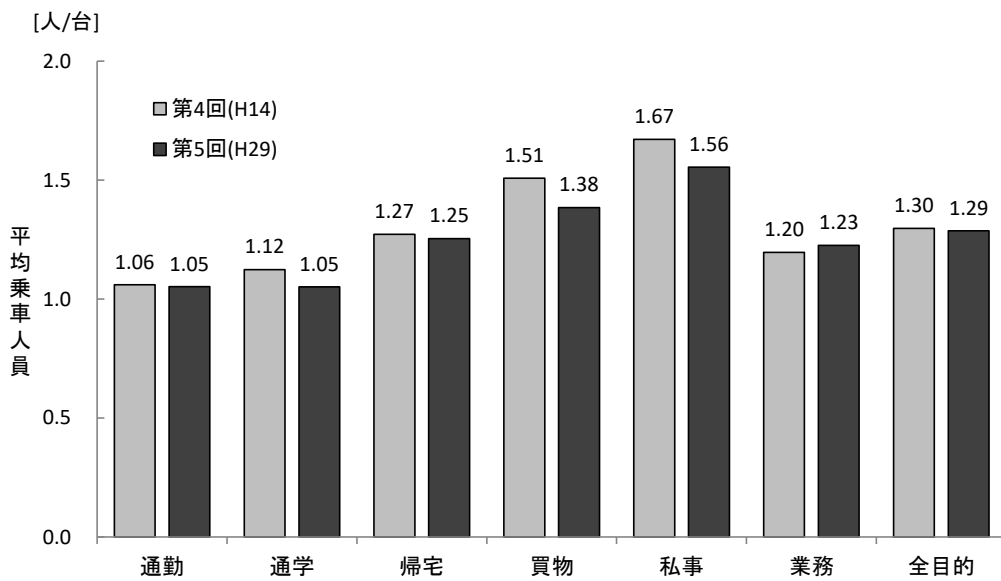


図 2-78 目的種類別平均乗車人数の推移（平日）

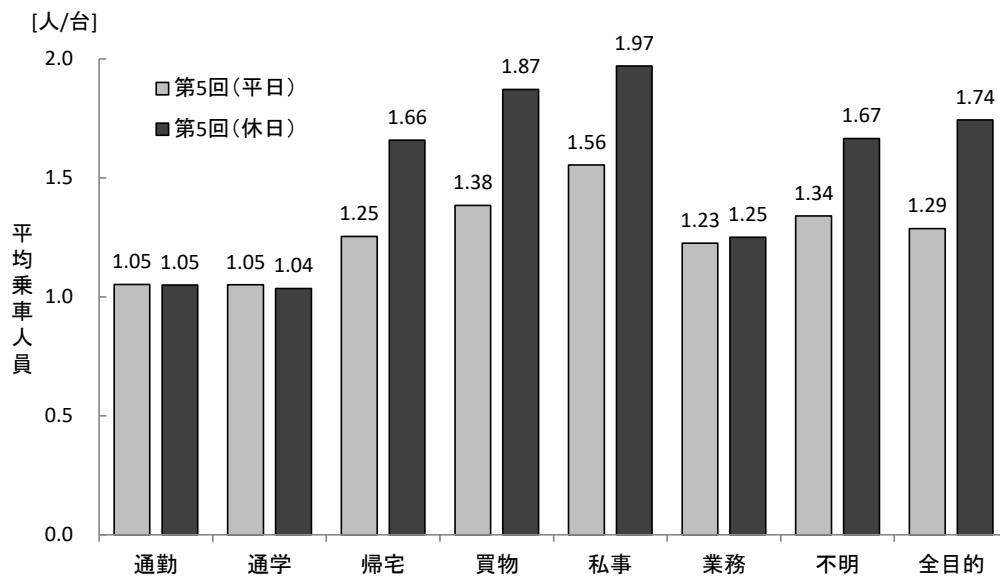


図 2-79 目的種類別平均乗車人数（平日・休日）

(7) 駐車場利用状況

1) 目的種類別駐車場所構成

- ・ 平日における自動車の駐車場所の種類別構成では、「自宅駐車場」と「事務所・店舗・訪問先の駐車場」の割合が約3割と高く、次いで「勤務先の駐車場」が約2割と高い。
- ・ 休日では、「勤務先の駐車場」の割合が平日を下回る。一方、「事務所・店舗・訪問先の駐車場」の割合は、平日を上回る。
- ・ 目的別では、通学目的を除き、平日と休日の駐車場所の種類別構成に差はみられない。

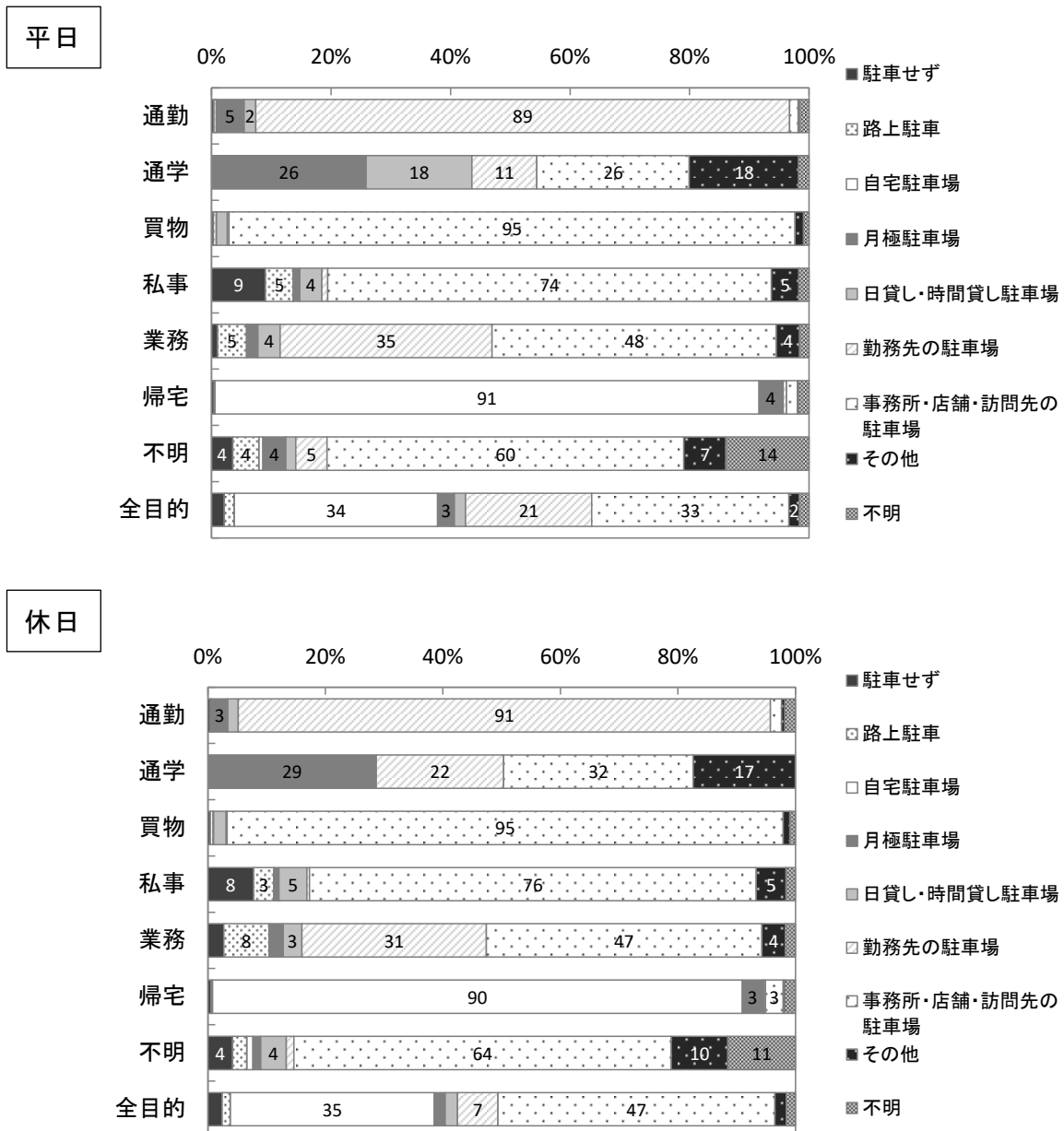


図 2-80 目的種類別駐車場所構成

2) 地域別駐車場所構成

- 平日は都市圏全体で勤務先の駐車場が20%、事務所・店舗・訪問先の駐車場が31%であり、各市町村においても概ね同様であるが、休日においては、都市圏全体で勤務先の駐車場の割合が7%、事務所・店舗・訪問先の駐車場の割合が45%となり、平日と比べ勤務先の駐車場の割合が小さくなり、事務所・店舗・訪問先の駐車場の割合が大きくなる。
- 仙台市都心においては、各市町村における結果では5%にも満たなかった月極駐車場（自宅駐車場以外）を利用する割合が、平日休日ともに最も大きな割合を占めている。

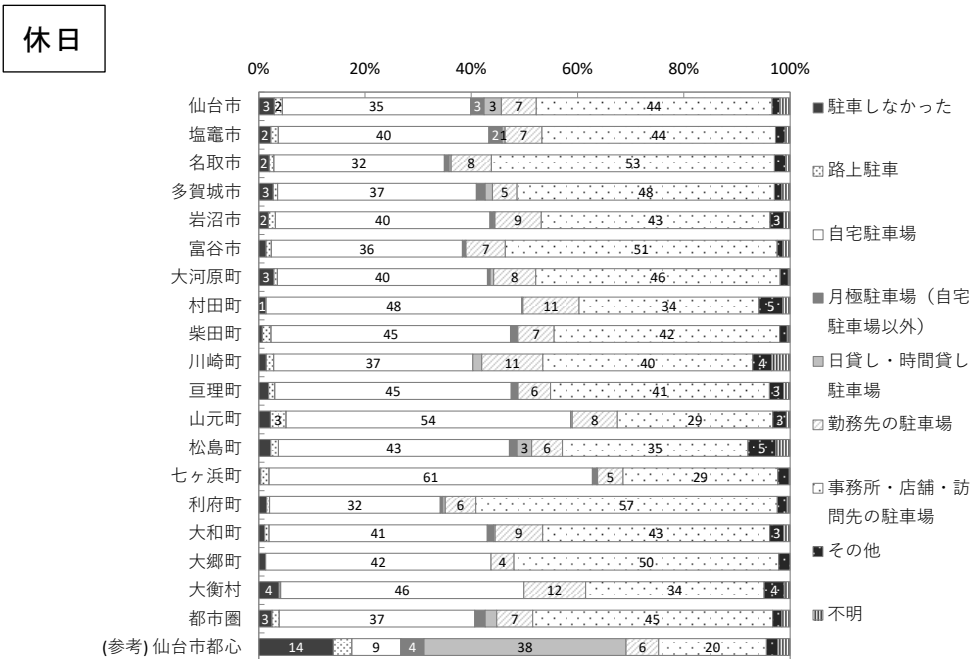


図 2-81 地域別駐車場所構成

※仙台駅を含むゾーンを仙台市都心とした

3) 駐車場所別着時間帯別トリップ数

- ・ 時間帯別駐車トリップ数をみると、平日は10～12時がピークであり、8～9時も同程度となっている。休日は、10～12時がピークである。
- ・ 平日では、8～9時に「勤務先の駐車場」に駐車するトリップが多く、10～16時に「事務所・店舗・訪問先の駐車場」、17時以降に「自宅駐車場」に駐車するトリップ数が多い。
- ・ 休日では、10～16時に「事務所・店舗・訪問先の駐車場」に駐車するトリップ数が多い。

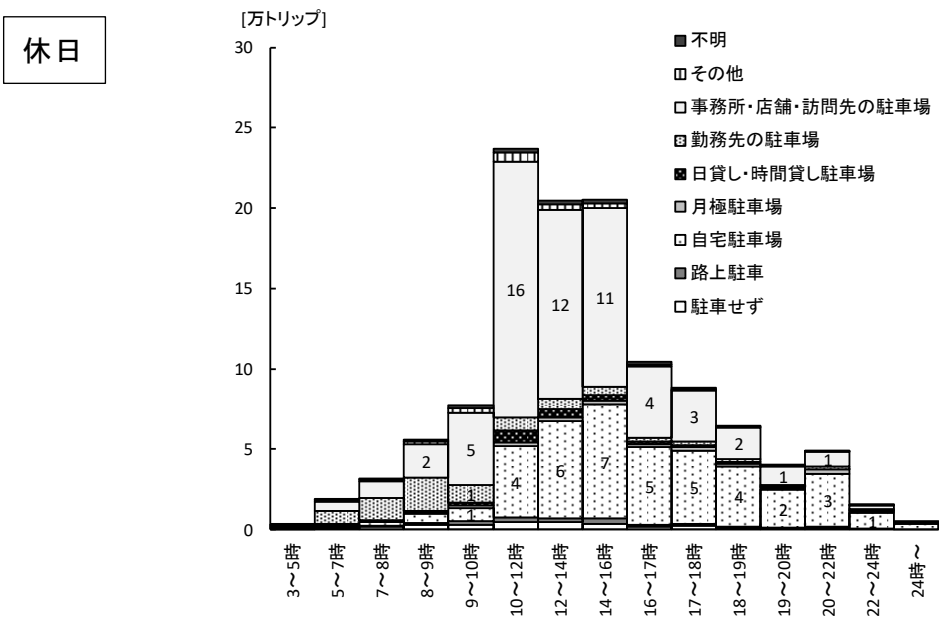
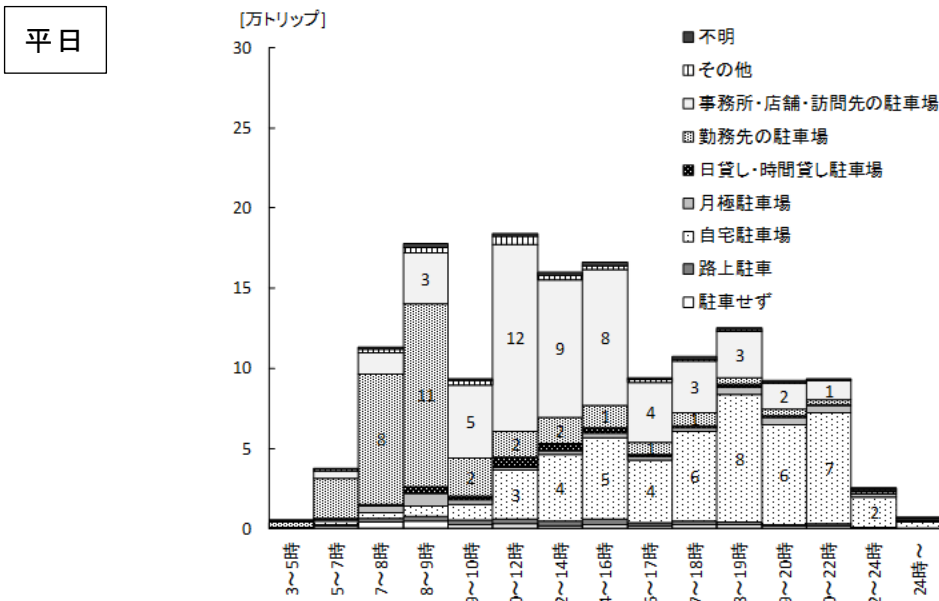


図 2-82 時間帯別駐車場所別着トリップ数

2.6 地域から見た交通特性

(1) 市町村別発生集中量

- 市町村別の発生集中量は、仙台市が最も多く、平日で約 500 万トリップエンド、休日で約 400 万トリップエンドである。

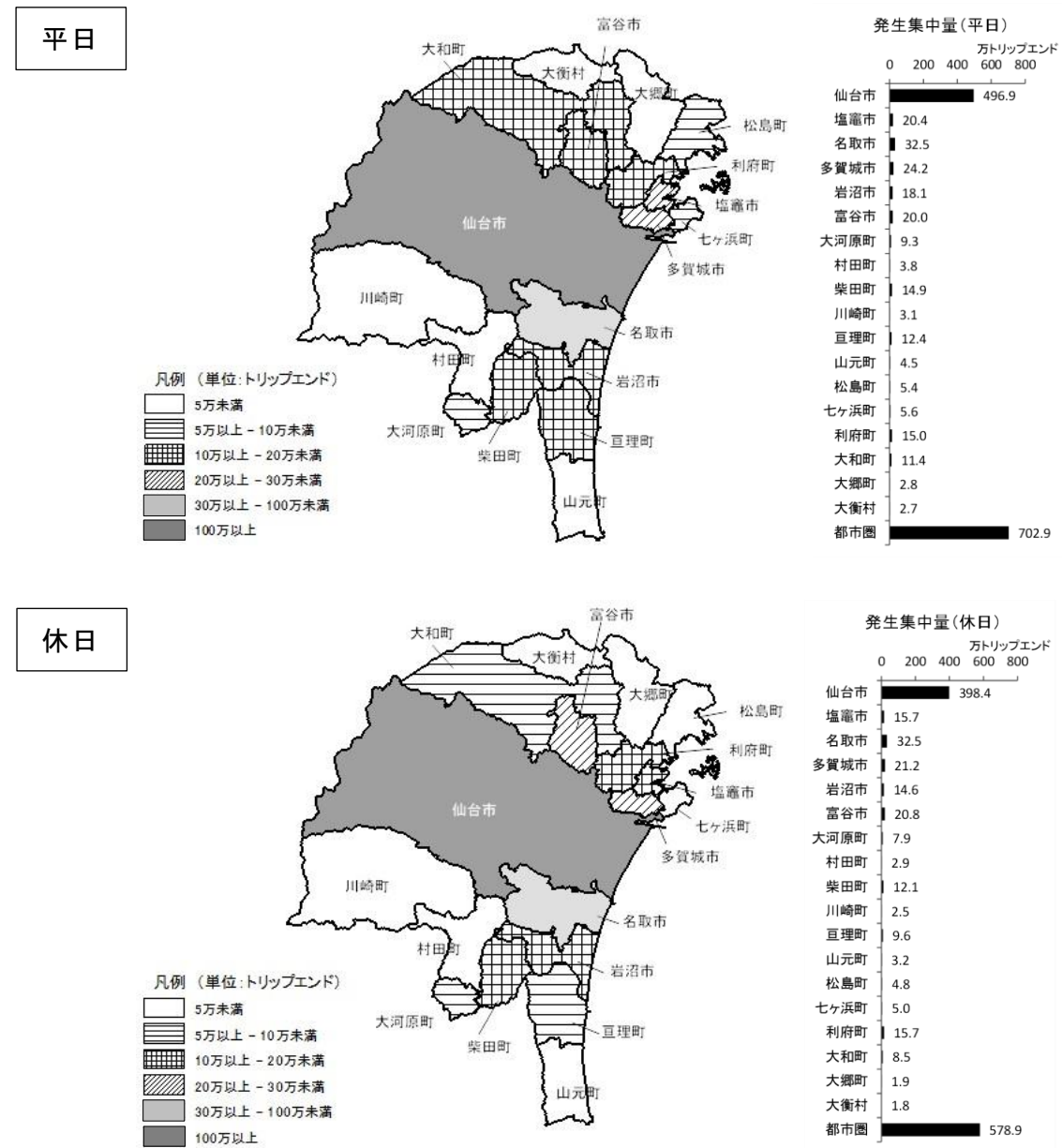


図 2-83 市町村別発生集中量

※トリップエンドは、トリップの起点と終点のこと

- この15年間における発生集中量は、都市圏全体で2%増加している。特に、名取市・富谷市・利府町・大和町・大衡村では5%以上増加している。

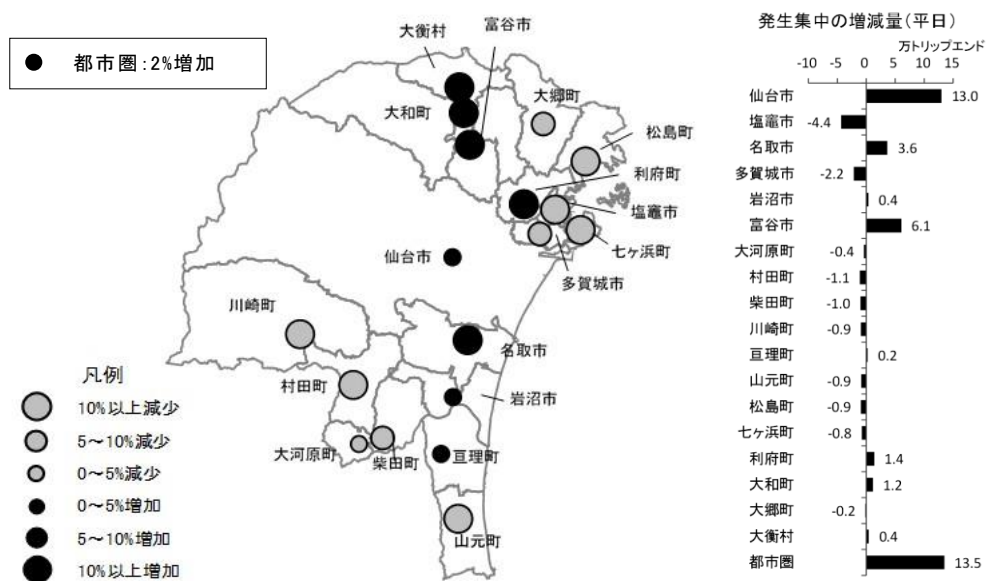


図 2-84 平日の市町村別発生集中量の第4回に対する増減

(2) 目的種別・市町村別集中量

1) 通勤目的集中量

- ・ 通勤目的の集中量は、都市圏全体で 51.4 万トリップであり、そのうち仙台市のみで 37.1 万トリップ（都市圏全体の約 7 割）を占めている。
- ・ 都市圏全体の通勤目的の集中量は、この 15 年間で 2.5 万トリップ(15 年前に対し 5%) 減少しており、特に仙台市においては 3.0 万トリップ減少している。

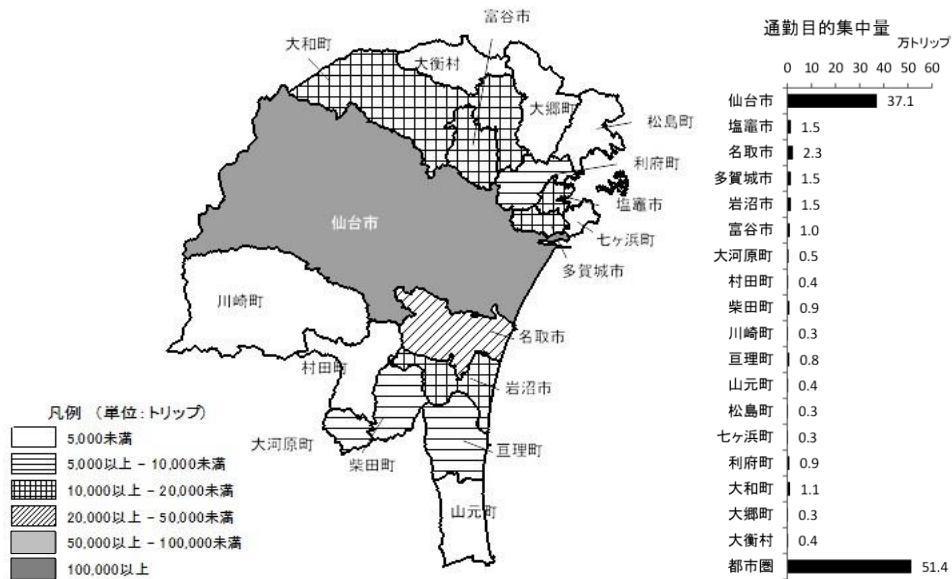


図 2-85 平日の通勤目的集中量

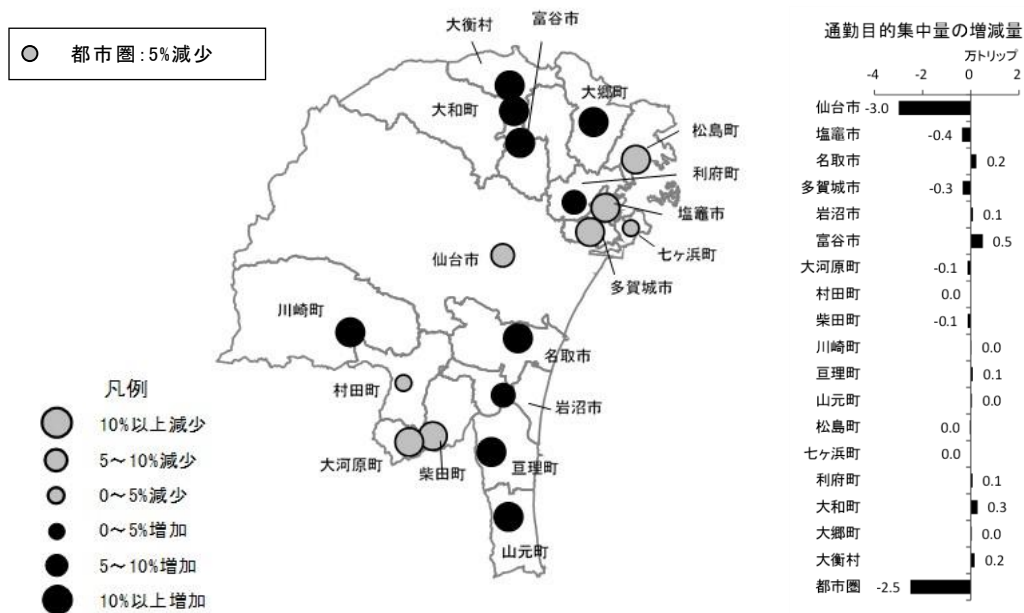


図 2-86 平日の通勤目的集中量の第 4 回に対する増減

2) 通学目的集中量

- ・ 通学目的の集中量は、都市圏全体で 23.8 万トリップであり、そのうち仙台市のみで 16.9 万トリップ（都市圏全体の約 7 割）を占めている。
- ・ 都市圏全体の通学目的の集中量は、この 15 年間で 2 万トリップ（15 年前に対し 8%）減少しており、特に仙台市においては 1.3 万トリップ減少している。

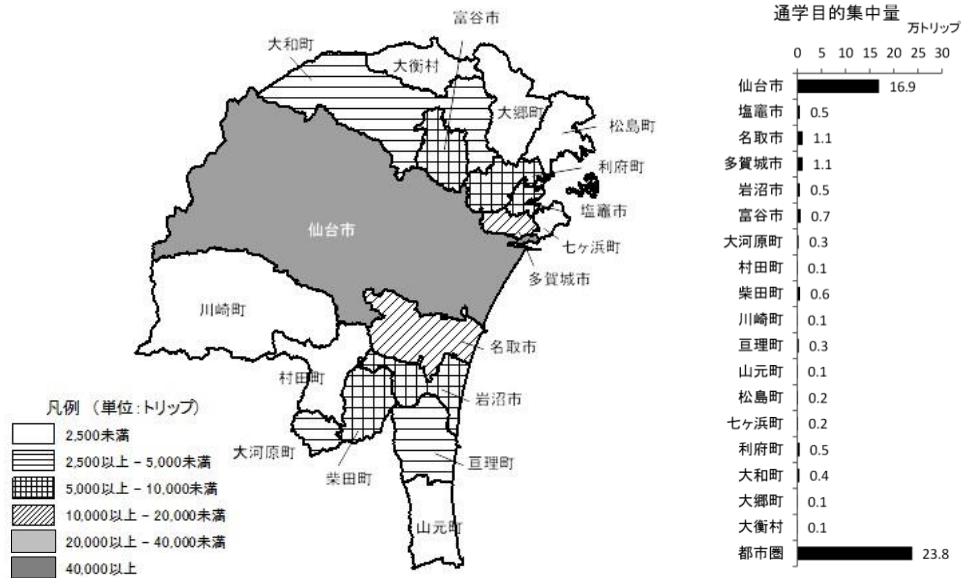


図 2-87 平日の通学目的集中量

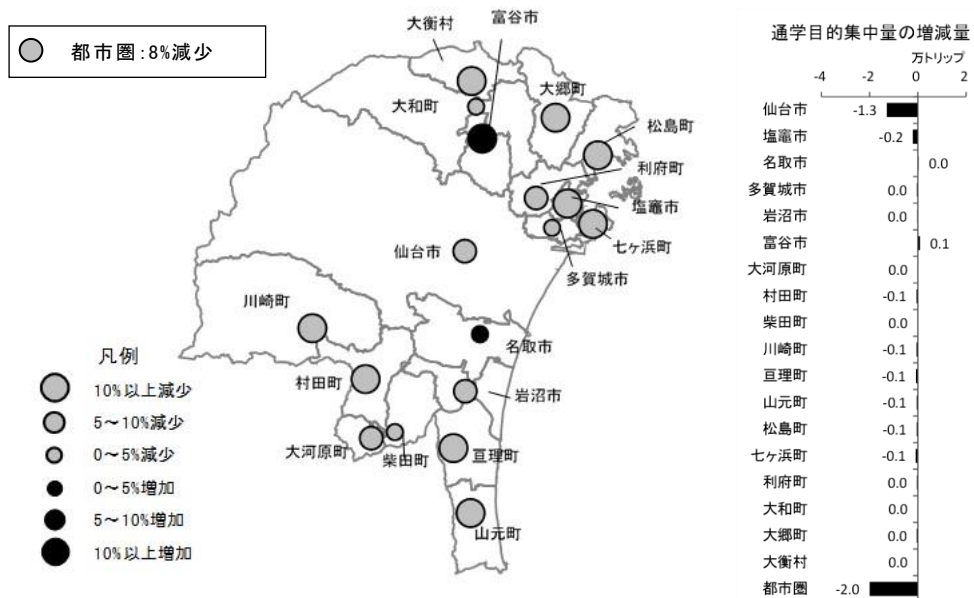


図 2-88 平日の通学目的集中量の第 4 回に対する増減

3) 買物目的集中量

- ・ 平日の買物目的の集中量は、都市圏全体で 42.5 万トリップであり、そのうち仙台市のみで 30.8 万トリップ（都市圏全体の約 7 割）を占めている。
- ・ 休日の買物目的の集中量は、都市圏全体で 76.1 万トリップであり、そのうち仙台市のみで 52.5 万トリップ（都市圏全体の約 7 割）を占めている。

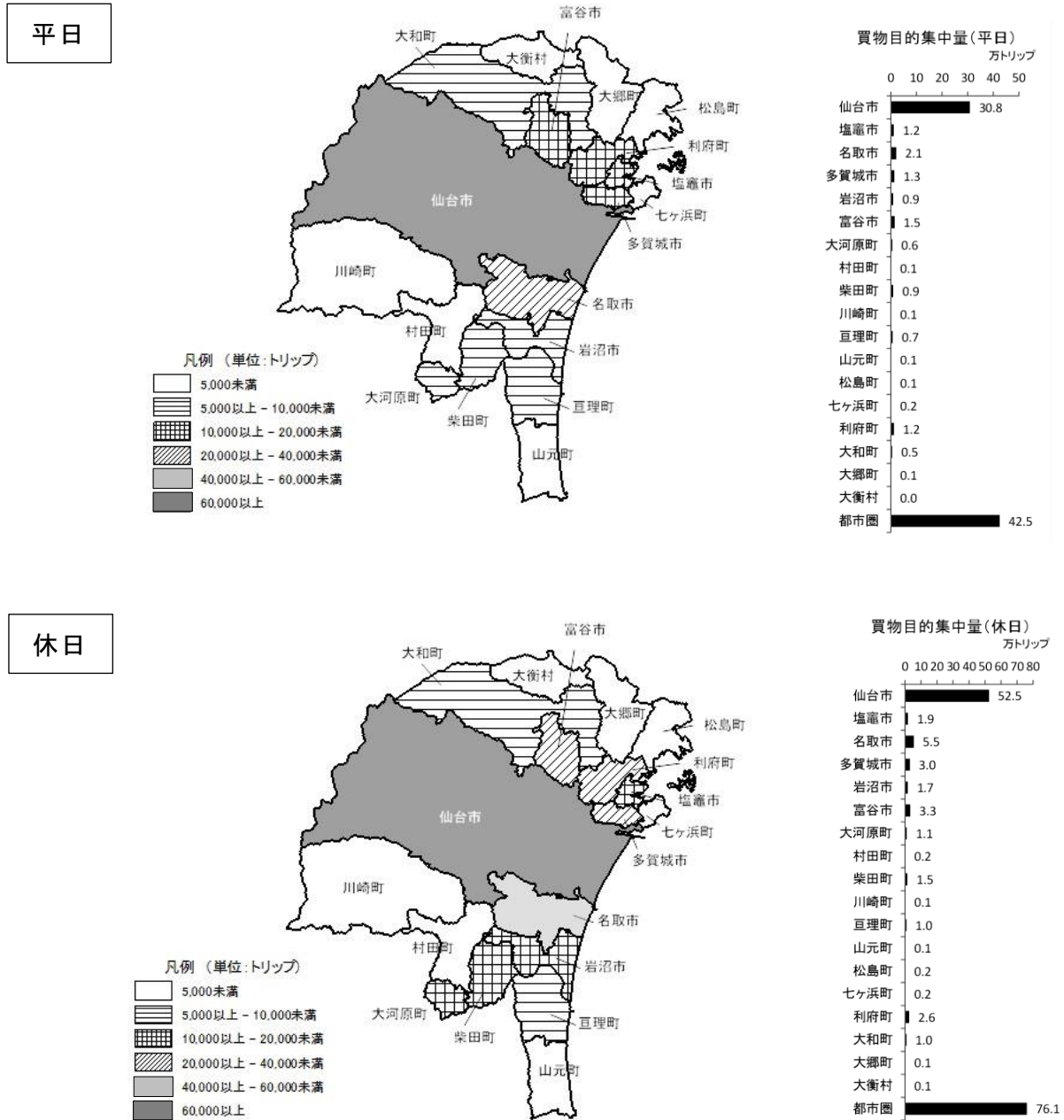


図 2-89 買物目的集中量

- 都市圏全体の買物目的の集中量は、この15年間で10.0万トリップ(15年前に対し31%)増加しており、特に仙台市においては7.4万トリップ増加している。

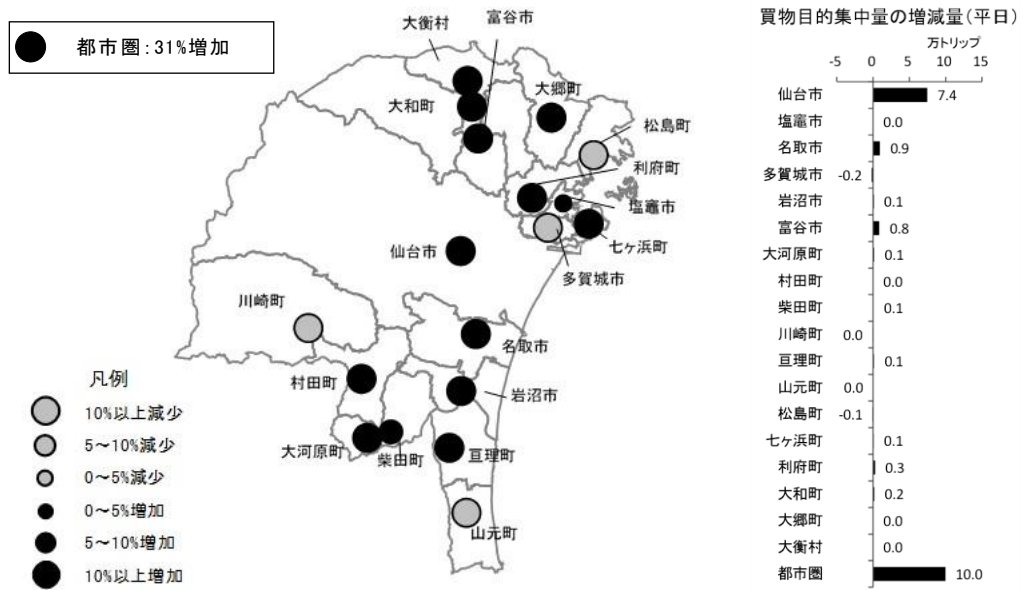


図 2-90 平日の買物目的集中量の第4回に対する増減

4) 私事目的集中量

- ・ 平日の私事目的の集中量は、都市圏全体で 64.7 万トリップであり、そのうち仙台市のみで 47.6 万トリップ（都市圏全体の約 7 割）を占めている。
- ・ 休日の私事目的の集中量は、都市圏全体で 73.0 万トリップであり、そのうち仙台市のみで 50.7 万トリップ（都市圏全体の約 7 割）を占めている。

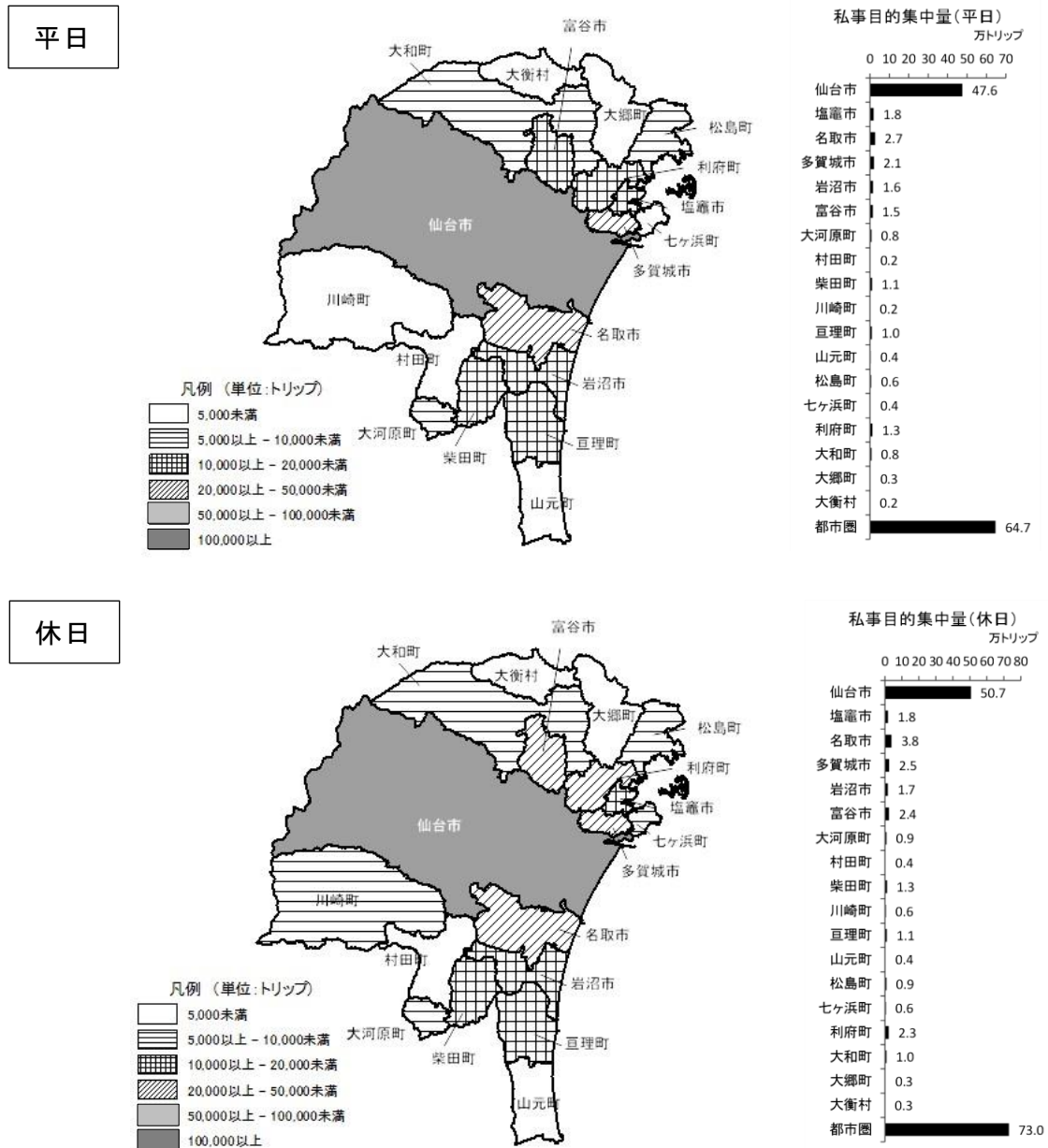


図 2-91 私事目的集中量

※私事には、買物を含まない

- 都市圏全体の私事目的の集中量は、この15年間で8.5万トリップ(15年前に対し15%)増加しており、特に仙台市においては7.2万トリップ増加している。

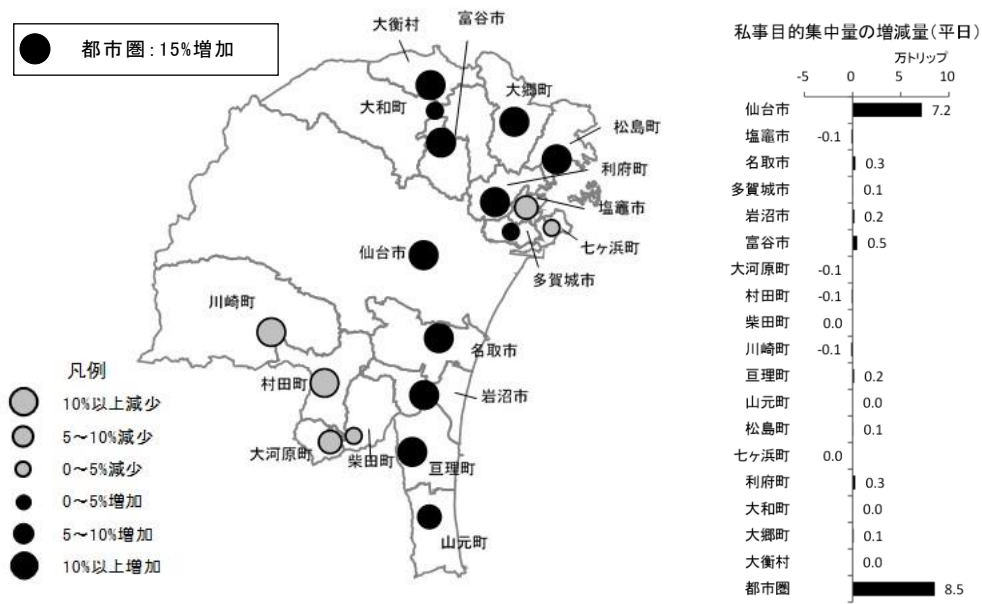


図 2-92 平日の私事目的集中量の第4回に対する増減

5) 業務目的集中量

- ・ 業務目的の集中量は、都市圏全体で 22.8 万トリップであり、そのうち仙台市のみで 16.6 万トリップ（都市圏全体の約 7 割）を占めている。
- ・ 都市圏全体の業務目的の集中量は、この 15 年間で 8.9 万トリップ（15 年前に対し 28%）減少しており、特に仙台市においては 7.1 万トリップ減少している。

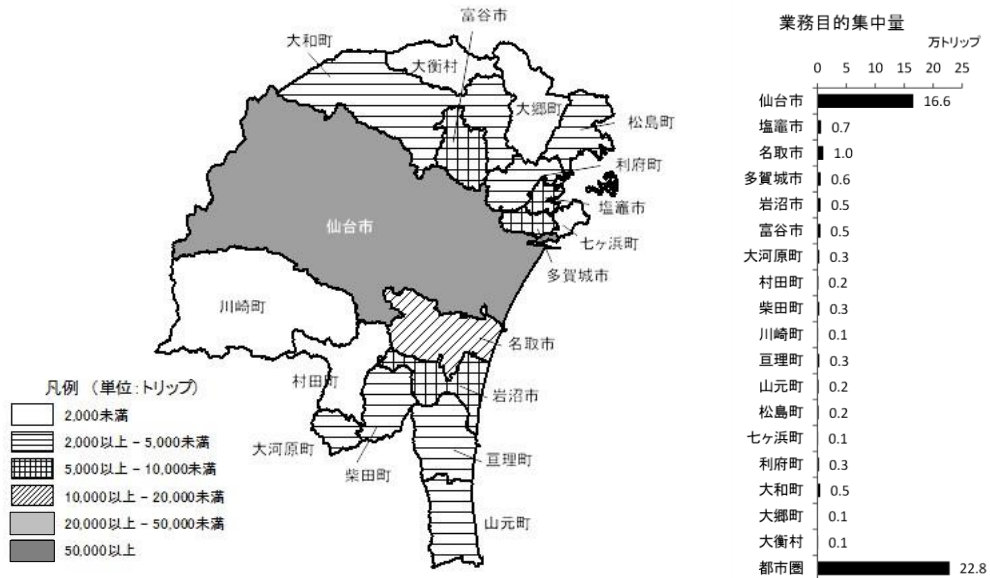


図 2-93 業務目的集中量

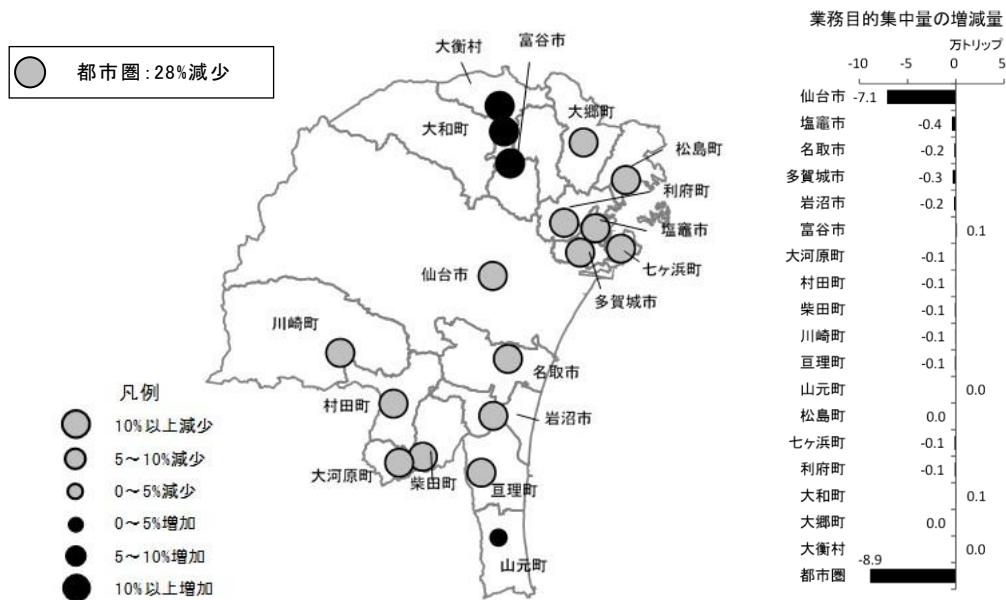


図 2-94 平日の業務目的集中量の第 4 回に対する増減